SyncMaster 400MX-3, 460MX-3, 400FP-3, 460FP-3

LCD ディスプレイ

ユーザー マニュアル

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は
性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

SAMSUNG

安全使用上の注意

本書中のマークの説明

注意

製品を正しく使用して事故および製品の損傷を防止するために、下記の指示に従ってください。

警告/注意

このマークの付いた指示に従わなかった場合には、人体への傷害または機器の損傷を招くことがあります。

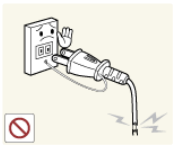
注意

禁止	指示事項
分解禁止	コンセントからプラグを抜いてください
接触禁止	感電を防ぐために、アースを行ってください

電源

長期間使用しない場合には、コンピュータを節電モード(DPM)に設定します。

スクリーン セイバーを使用している場合には、アクティブスクリーンモードに設定します。

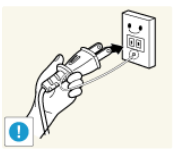


破損した電源コードまたはプラグ、破損またはがたつきのあるコンセントを使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

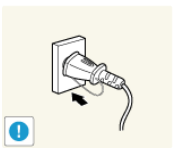
コンセントにプラグを抜き差しするときに、濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



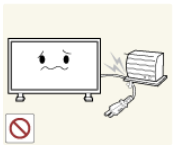
電源コードは、アースされたコンセントに接続してください。

- 漏電または傷害の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントにしっかりと正しく差し込みます。

- 火災の原因となることがあります。

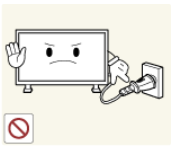


電源プラグや電源コードを無理に曲げたり引っ張らないでください。また、電源プラグや電源コードに重い物を乗せないでください。

- 火災の原因となることがあります。

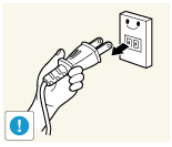
同じコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

- 過熱による火災の原因となることがあります。



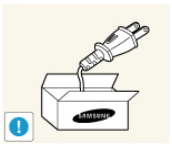
製品の使用中は電源コードを外さないでください。

- 感電によるモニターの故障の原因となることがあります。



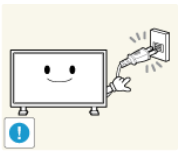
本体から電源を抜く場合や、コンセントから電源を抜く場合のことを考えて、余裕を持って抜き差しができる環境に設置をしてください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



電源プラグは、手の届きやすいコンセントに接続してください。

- 製品に問題が発生したときには、電源プラグを抜いて完全に電源をオフにする必要があります。製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。

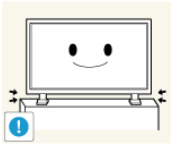
インストール方法

ほこりが多い場所、異常な高温または低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学溶媒が使用されている場所、および空港や駅など 24 時間製品を使用する場所に設置する場合には、お客様相談ダイヤルにご相談ください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。

製品の移動は必ず 2 人以上で行ってください。

- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。

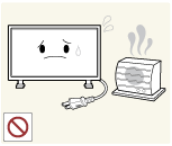


キャビネットやラックなど高いところに製品を設置するときには、製品がはみ出たりしないようしっかりと安定した状態で設置してください。

- 落下または傷害の原因になる場合があります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットまたはラックを使用してください。

▶ろうそく、蚊取り線香、タバコおよびその他の熱源を製品に近づけないでください。

- 火災の原因となることがあります。



▶電源コードまたは製品は、熱源となる機器に近づけないでください。

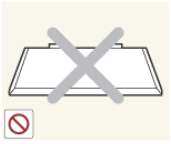
- 漏電または火災の原因となることがあります。

▶本棚やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

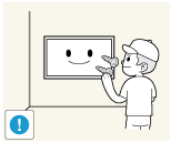
▶製品を下ろすときには、手荒に扱わないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。



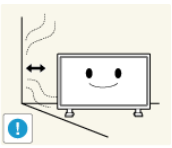
▶製品の前面を下にして床に置かないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。



▶壁掛け金具の設置は、専門の業者が行うようにしてください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 指定された壁掛け金具で設置してください。

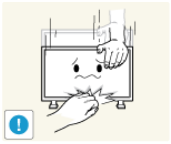


▶製品は、換気が十分に行われる場所に設置してください。壁から 4 インチ (10 cm) 以上離してください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

▶梱包材のビニールに、お子様が手を触れないようにしてください。

- お子様がビニールで遊んでいると、重大な傷害 (窒息) の原因となることがあります。



▶モニターの高さ調整の際には指や手を挟まないよう十分ご注意ください。

- 製品の損傷またはけがをする恐れがあります。

お手入れ

モニターの筐体または TFT-LCD 画面の表面を清掃するときには、少し湿らせた柔らかい布で拭き取ります。

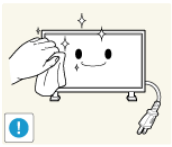
ほこりなどによりモニター背面の空気穴がつまり、故障を起こす 場合もありますので定期的な掃除及び点検が必要となります。

製品の表面にクリーナーを直接スプレーしないでください。

- 本体の脱色または歪み、画面表面のはがれが発生することがあります。

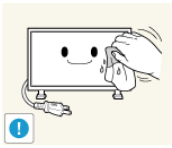
電源プラグのピンを清掃するとき、またはコンセントのほこりを取り除くときは、乾いた布を使用します。

- 火災の原因となることがあります。



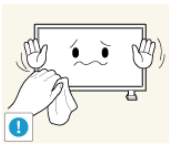
製品を清掃するときは、電源コードを切り離してください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を清掃するときには、まず電源コードを外して乾いた布でやさしく拭き取ります。

- (ワックス、ベンゼン、アルコール、シンナー、殺虫剤、潤滑剤またはクリーナーなどの化学薬品を使用しないでください)これらの薬品によって、製品表面の外観が変わったり、製品の表示ラベルがはがれることがあります。



製品の筐体にはキズが付きやすいため、液晶モニター用のクリーニングクロスを使用してください。

製品を清掃するときには、製品本体に水を直接かけないでください。

- 感電、火災または故障の原因となることがあります。

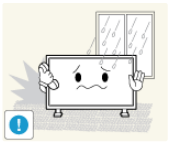
その他

この製品は、高電圧を使用しています。絶対にご自身で製品を分解、修理または改造しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

製品から異臭や異音、煙が出た場合には、直ちに電源プラグを抜いてお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

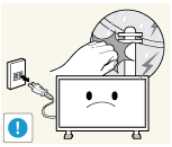


製品を湿気、ほこり、煙、水がかかる場所、または自動車の中に設置しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

製品が落下したり破損した場合には、電源をオフにして電源コードを外し、お客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

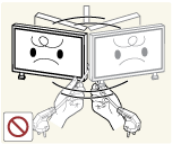


雷が発生した場合には、電源コードまたはアンテナ ケーブルに触れないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

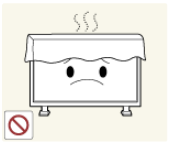
配線または信号ケーブルのみを持ってモニターを動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。



電源コードまたは信号ケーブルだけを持って、製品を持ち上げたり、前後または左右に動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。

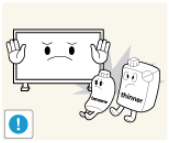


クロスやカーテンで換気口がふさがれないようにしてください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

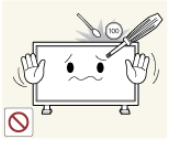
水の入った容器、花瓶、植木鉢、医薬品や、金属類を製品の上に置かないでください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを抜いてからお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災につながる恐れがあります。



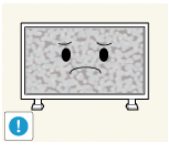
可燃性のスプレーまたは可燃物を製品に近づけないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



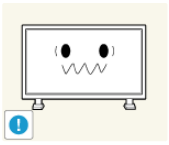
箸、コイン、ピンおよび刃物などの金属類、マッチや紙などの可燃物を（換気口、入出力端子などから）製品の中に入れないでください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを抜いてからお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 漏電または火災の原因となることがあります。



静止画面を長時間表示し続けると、残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。また、場合によっては液晶パネルが焼き付けを起こす場合があります。

- 長時間製品を試用しない場合には、スリープ モードにするか動きのあるのスクリーン セイバーを使用します。

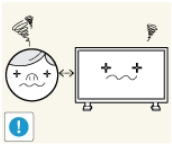


製品に適した解像度および周波数を設定します。

- 視力に影響を与えることがあります。

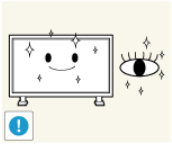
▶ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。



▶ 疲れ目を防止するために、製品に近づきすぎないでください。

- 視力低下の原因になり、場合によっては人体に影響を及ぼします。

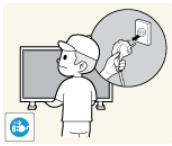


▶モニターを 1 時間使用したら、少なくとも 5 分間の休憩をとります。

疲れ目が軽減されます。

▶不安定な棚や平らでない面、または振動の多い場所に設置しないでください。

- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。

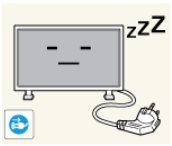


▶製品を移動するときには、電源をオフにして、電源プラグ、アンテナ ケーブル、および製品に接続されているすべてのケーブルを切り離します。

- 感電または火災の原因となることがあります。

▶お子様が製品にぶら下がったり、よじ登らないようにしてください。

- 製品が落下して傷害または死亡事故の原因になる場合があります。



▶製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

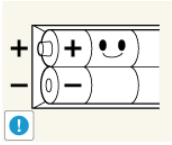
- ほこりがたまって過熱または火災の原因となったり、感電または漏電の原因となることがあります。

▶製品に重たいものを乗せたり、小さいお子様が興味を示すようなもの（おもちゃやお菓子など）を置いたりしないでください。

- お子様が製品にぶら下がって、落下により傷害または死亡事故の原因となることがあります。

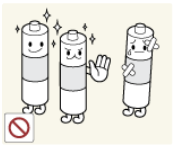
▶ リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。



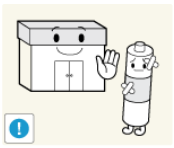
▶ 電池を交換するときには、正しい極性（+、-）の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。



▶指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。



▶バッテリ（および充電式バッテリ）は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。使用済みのバッテリをリサイクルのために返送する責任はお客様にあります。

- お客様は、使用済みの充電式バッテリを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリおよび充電式バッテリを販売している店舗に返送することができます。

▶直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

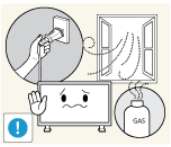
- 製品の寿命が短くなったり、火災の原因となることがあります。

▶製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

▶ 製品の近くで加湿器を使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生すると、爆発または火災が発生することがあります。

▶長時間電源をオンにしていると液晶パネルが高温になりますので触れないでください。

▶特に小さなお子様が触れないよう十分ご注意ください。

▶製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指を挟まれると、傷害の原因となることがあります。
- また、製品を傾けすぎると、転倒して傷害の原因となることがあります。

▶製品を子供の手の届く高さに設置しないでください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 製品は前の方が重たくなっているため、水平で安定した面に設置してください。

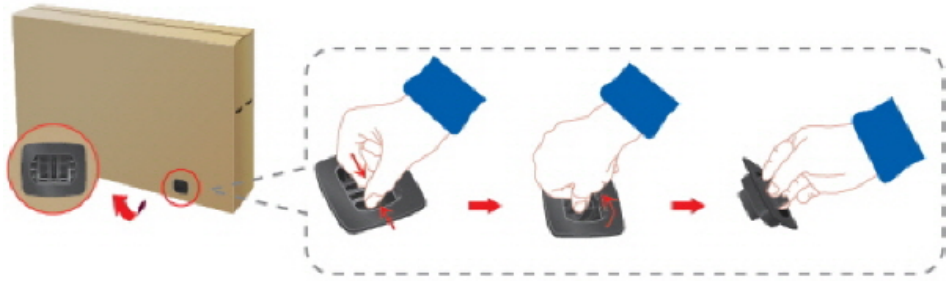
▶️製品の上に重い物を載せないでください。

・　けがや製品の破損の原因となることがあります。

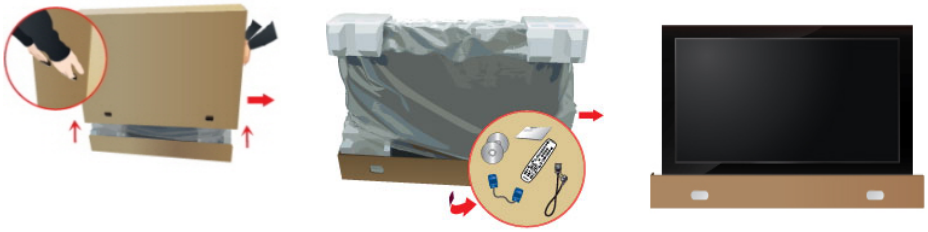
はじめに

パッケージ内容

パッケージの内容の確認



上の図に示すように、パッケージの箱からロックを取り外します。



箱の両側にある穴に手をかけて、箱を持ち上げます。

パッケージの内容を確認します。

発泡スチロールとビニール袋を取り外します。

注意

- パッケージを開いたら、内容を確認してください。
- 製品を運ぶときに必要になりますので、梱包されていた箱は保管しておいてください。
- 不足している品目がある場合には、販売店にお問い合わせください。
- オプション品の購入については、お近くの販売店にお問い合わせください。

同梱物

LCD ディスプレイ

マニュアル類

クイック セットアップ ガイド

保証書

（含まれていない地域もあります）

ユーザー ガイド

ケーブル

電源コード

D-Sub ケーブル

その他

リモートコントロール

(BP59-00138B)

バッテリ (AAA X 2)

（含まれていない地域もあります）

別売り

（別売を行わない地域もあります）

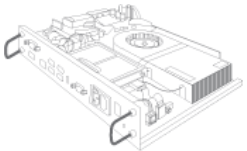
セミ スタンド キット

LAN ケーブル

USB ケーブル

RGB to BNC ケーブル

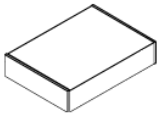
RGB to COMPONENT ケーブル



NetWork ボックス

別売り

(別売を行わない地域もあります)



ウォール マウント キット

TV チューナー ボックス (米国のみ)

RS232C ケーブル

お使いの LCD ディスプレイ

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

前面

1. *MENU ボタン [MENU]*

   オンスクリーン メニューを開いたり、メニューを終了します。OSD メニューを終了したり前のメニューに戻る場合にも使用します。

2. *ナビゲーション ボタン (上下ボタン)*

   ひとつのメニューから別のメニューに縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。

3. *調整ボタン (左右ボタン)/音量ボタン*

   ひとつのメニューから別のメニューに横方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。

4. *ENTER ボタン [ENTER]*

   ハイライトされたメニュー項目をアクティブにします。

5. *SOURCE ボタン [SOURCE]*

   PC モードからビデオモードに切り替えます。外部デバイスが接続されている入力信号を選択します。

   [PC] → [DVI] → [AV] → [**コンポーネント**] → [HDMI1] → [HDMI2] → [**ディスプレイ ポート**] → [MagicInfo] →[TV]

注意

- [RGB/COMPONENT IN] ポートは RGB (PC) およびコンポーネント信号に対応しています。

  ただし、外部入力信号が選択したビデオ信号と異なる場合には、映像が正常に表示されない場合があります。

- MagicInfo は、ネットワーク ボックスが接続されているときにのみ有効にすることができます。

- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

6 *D.MENU ボタン*

オンスクリーン D.MENU を開きます。

注意

D.MENU ボタンは、TV チューナーが接続されているときに有効になります。TV チューナーが接続されていない場合は、PIP ボタンが有効になります。

PIP ボタン

PIP ボタンを押して PIP 画面のオン/オフを切り替えます。

7 *電源ボタン [⏻]*

このボタンで、LCD ディスプレイの電源のオン/オフを切り替えます。

8 *電源インジケーター*

緑色に点滅して PowerSaver モードであることを示します

注意

省電力機能の詳細については、このマニュアルの「PowerSaver」を参照してください。消費電力を押さえるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。

9 *リモートカラーセンサー*

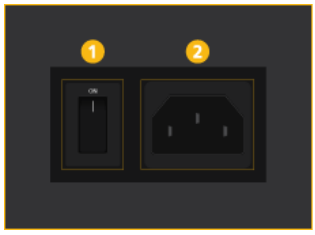
リモコンを LCD ディスプレイのこの部分に向けます。

背面

注意

ケーブル接続の詳細については、「接続」のセクションを参照してください。LCD ディスプレイの背面の構成は、モデルによって若干異なる場合があります。

A



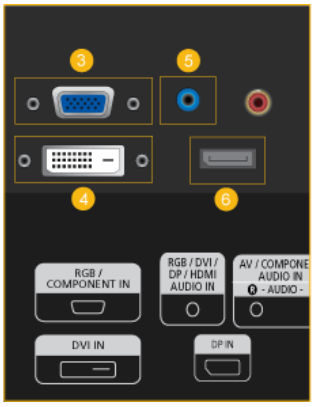
1 *POWER S/W ON [|] / OFF*

LCD ディスプレイのオン/オフを切り替えます。

2 *POWER*

LCD ディスプレイと壁のコンセントに電源コードを接続します。

B



3 *RGB/COMPONENT IN (PC/COMPONENT 接続端子 (入力))*

- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを PC の RGB ポートに D-SUB ケーブルを使用して接続します。
- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを外部デバイスの COMPONENT ポートに RGB to COMPONENT ケーブルを使用して接続します。
- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを PC の BNC ポートに RGB to BNC ケーブルを使用して接続します。

4 *DVI IN (PC 映像接続端子)*

モニターの *[DVI IN]* ポートを PC の DVI ポートに DVI ケーブルを使用して接続します。

5 *RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN (PC/DVI/DP/HDMI 音声接続端子 (入力))*

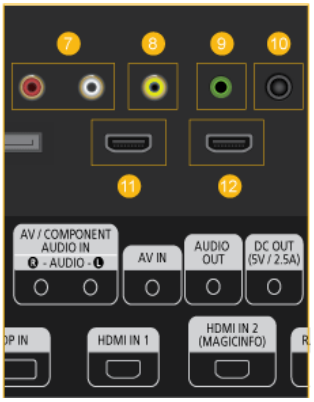
別売りのステレオ ケーブルを使用して、モニターの *[RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN]* 端子とお使いのコンピュータのサウンド カードのスピーカー出力端子を接続します。

6 *DP IN*

ディスプレイ ポートからの信号を受信します。

DP ケーブルを製品の *[DP IN]* と別のディスプレイの DP IN に接続します。

C



7 *AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]*

モニターの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* ポートを PC または外部デバイスの音声出力ポートにオーディオ ケーブルを使用して接続します。

8 *AV IN*

ビデオ ケーブルを使用して、モニターの *[AV IN]* 端子を外部デバイスのビデオ出力端子に接続します。

9 *AUDIO OUT*

ヘッドフォンまたは外部スピーカーを接続します。

10 *DC OUT*

[DC OUT] 端子が承認済みの TV チューナー ボックス (米国のみ) に接続されていることを確認します。

製品が損傷する場合があります。

11 *HDMI IN 1*

- HDMI ケーブルを使用して、LCD ディスプレイ背面の *[HDMI IN 1]* 端子をお使いのデジタル出力デバイスの HDMI 端子に接続します。
- HDMI 1.3 までをサポートしています。

注意

- 通常の外部デバイス (DVD プレーヤーやレコーダーなど) や TV チューナー ボックスを *[HDMI IN 1]* 端子に接続できます。
- TV チューナー ボックス (米国のみ) を使用する場合は、*[HDMI IN 1]* 端子に接続してください。

12 *HDMI IN 2 (MAGICINFO)*

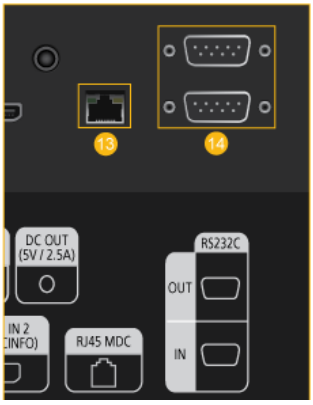
- HDMI ケーブルを使用して、LCD ディスプレイ背面の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* 端子をお使いのデジタル出力デバイスの HDMI 端子に接続します。
- HDMI 1.3 までをサポートしています。

注意

MagicInfo を使用するには、別途当社の指定するネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックスの **MagicInfo** 出力を *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* 端子に接続する必要があります。

ネットワーク ボックスの購入およびインストールについて詳しくは、Samsung Electronics にお問い合わせください。

D



13 *RJ 45 MDC (MDC PORT)*

MDC (マルチディスプレイ コントロール) プログラム ポート

LAN ケーブルを製品の *[RJ45 MDC]* と PC の LAN に接続します。MDC を使用するには、PC に MDC プログラムがインストールされている必要があります。

注意

マルチコントロール に移動して、**MDC 接続** として **RJ45 MDC** を選択します。

14 *RS232C OUT/IN (RS232C シリアル ポート)*

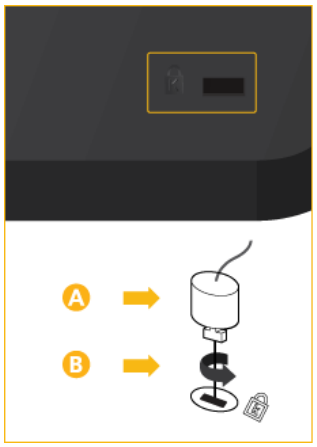
MDC (マルチディスプレイ コントロール) プログラム ポート

シリアル ケーブル (クロス タイプ) を製品の *[RS232C]* と PC の RS232C に接続します。MDC を使用するには、PC に MDC プログラムがインストールされている必要があります。

注意

マルチコントロール に移動して、**MDC 接続** として **RS232C MDC** を選択します。

E



Kensington Lock slot

Kensington ロックは、公共の場所で製品を安全に使用できるようにロックすることができる盗難防止用の装置です。固定装置の形状と使用方法はモデルおよびメーカーによって異なるため、詳細については固定装置に付属するユーザー マニュアルを参照してください。

注意

Kensington ロックを別途購入する必要があります。

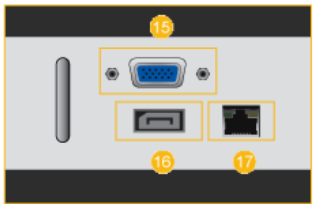
製品をロックするには以下の手順に従います。

1. Kensington ロック ケーブルを、デスクや椅子など大きくて動かない物体にかけます。
2. ロックのついたケーブルの端を Kensington ロック ケーブルの端の輪に通します。
3. ケンジントン ロックをディスプレイ背面にあるセキュリティ スロット (B) に挿入します。
4. ロックします (A)。

注意

- これは一般的な説明です。詳細については、ロック装置に付属するユーザー マニュアルを参照してください。
- 固定装置の購入につきましてはお買い上げいただいたお店にご確認ください。

F ネットワーク ボックス (別売り) の接続



15 *RGB OUT*

MagicInfo ビデオ出力ポート

16 *MAGICINFO OUT*

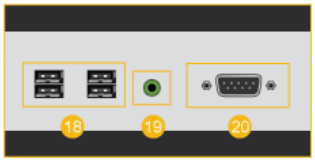
これは、ビデオ、オーディオおよび、**MagicInfo** 制御信号用の出力端子です。

使用するには、**DP - HDMI** ケーブルを使用して *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* 端子に接続します。

17 *LAN (LAN 接続端子)*

LAN ケーブルに接続して、**MagicInfo** モードでのインターネットまたはネットワーク アクセスを可能にします。

Ⓖ ネットワーク ボックス（別売り）の接続



⑱ *USB(USB 接続端子)*

キーボード/マウス、マス ストレージ機器対応。

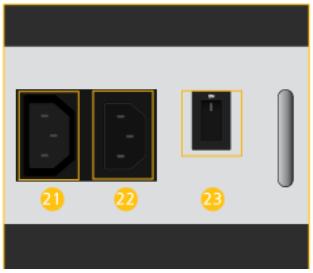
⑲ *AUDIO OUT*

ヘッドフォンまたは外部スピーカーを接続します。

⑳ *RS232C (RS232C シリアル ポート)*

シリアル ポート

Ⓗ ネットワーク ボックス（別売り）の接続



㉑ *電源*

電源延長コードを使用して、製品の *[POWER]* 端子とモニターの *[POWER]* 端子を接続します。

㉒ *電源*

電源コードを使用してコンセントに接続します。

㉓ *POWER S/W ON [I] / OFF*

ネットワーク ボックスのオン/オフを切り替えます。

注意

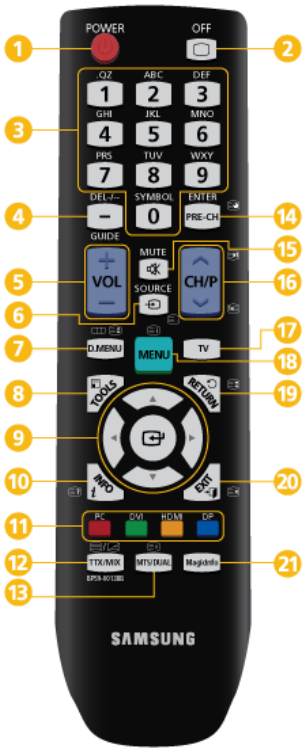
- ケーブル接続の詳細については、「接続」のセクションを参照してください。
- ネットワーク ボックスが正常に動作するには、モニターとネットワーク ボックスの両方で電源スイッチをオンにする必要があります。

リモートコントロール

注意

リモコンの動作は TV またはその他 LCD ディスプレイ付近で動作している電子機器の影響を受ける場合があり、周波数の干渉によって誤作動することがあります。

TV を使用するには、TV チューナー ボックス（別売り）を接続する必要があります。(米国のみ)



1. POWER
2. OFF
3. ダイヤルパッド
4. -/-- / GUIDE ボタン
5. + VOL -
6. SOURCE
7. D.MENU
8. TOOLS
9. 上下左右ボタン
10. INFO
11. 色ボタンと PC/DVI/HDMI/DP 選択ボタン。
12. TTX/MIX
13. MTS/DUAL
14. ENTER/PRE-CH
15. MUTE
16. CH/P
17. TV
18. MENU
19. RETURN
20. EXIT
21. MagicInfo

1 POWER

製品をオンにします。

2 OFF

製品をオフにします。

3 ダイヤルパッド

OSD の調整時、または MagicInfo を使用するときにパスワードを入力するのに使用します。

押してチャンネルを変更します。

4 -/-- / GUIDE ボタン

「-」ボタンはデジタル チャンネルの選択に使用します。

電子番組ガイド (EPG) 表示

注意

TV チューナー ボックス (別売り) がインストールされている場合は、TV モードでのみこのボタンを使用できます。

5 + VOL -

音声の音量を調整します。

6 SOURCE

接続されている外部入力信号または **MagicInfo** モードを選択します。

ボタンを押して、入力信号 SOURCE を切り換えます。

SOURCE の変更は、変更時に LCD ディスプレイに接続されている外部デバイスについてのみ行うことができます

7 D.MENU

DTV メニュー表示

注意

TV チューナー ボックス（別売り）がインストールされている場合は、TV モードでのみこのボタンを使用できます。

8 TOOLS

よく使う機能を素早く選択するのに使用します。

注意

この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。

9 上下左右ボタン

ひとつのメニューから別のメニューに横方向、縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。

10 INFO

画面左上に現在の画像情報が表示されます。

11 色ボタンと PC/DVI/HDMI/DP 選択ボタン。

TV モードでは、これらのボタンを使用してチャンネルのリストを設定することができます。

TV モード以外のモードでは、**PC**、**DVI**、**HDMI** または **DP**（**ディスプレイ ポート**）外部入力を直接選択できます。

12 TTX/MIX

TV チャンネルは、テレテキスト経由で文字情報サービスを提供します。

- テレテキスト ボタン

6, 7, 10, 12, 13, 14, 16, 18, 19, 20

注意

この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。

13 MTS/DUAL

MTS-

MTS（マルチチャンネル テレビ ステレオ）モードを選択できます。

	音声タイプ	MTS/S_Mode	デフォルト
FM ステレオ	モノラル	モノラル	手動変更
	ステレオ	モノラル ⇔ ステレオ	
	SAP	モノラル ⇔ SAP	モノラル

DUAL-

STEREO/MONO、DUAL I / DUAL II および MONO/NICAM MONO/NICAM STEREO は、放送のタイプに応じて TV の視聴中にリモコンの DUAL ボタンで操作することができます。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

14 ENTER/PRE-CH

このボタンを使用して、前のチャンネルに直ちに戻ります。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

15 MUTE

音声の出力を一時的に停止（ミュート）します。これは画面の左下隅に表示されます。消音モードで MUTE または + VOL - が押されると、音声が再度聞こえるようになります。

16 CH/P

TV モードで、TV のチャンネルを選択します。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

17 TV

アナログまたはデジタル TV を視聴することができます。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

18 MENU

オンスクリーン メニューを開いたり、メニューを終了したり、調整メニューを閉じたりします。

19 RETURN

前のメニューに戻ります。

20 EXIT

メニュー画面を終了します。

21 MagicInfo

MagicInfo クイック起動ボタン

注意

ネットワーク ボックスが接続されているときに有効になります。

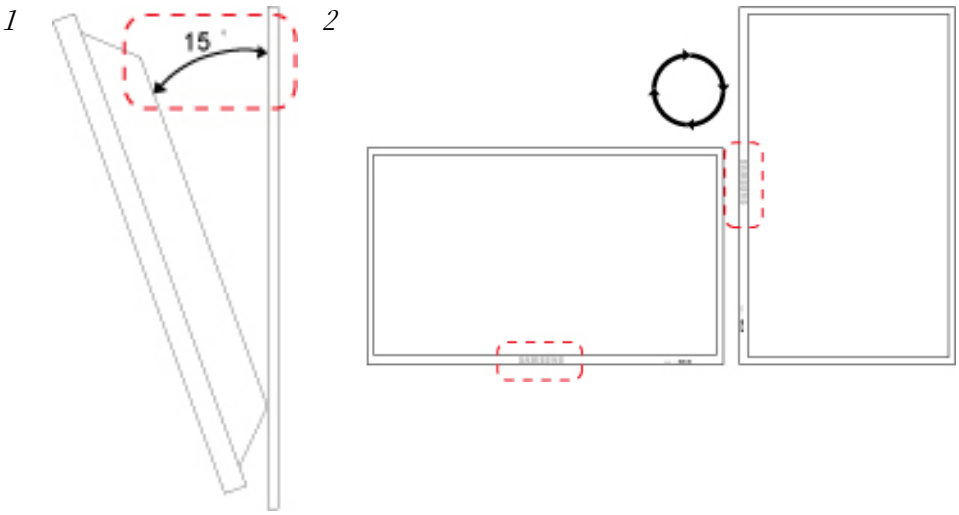
ユーザー設置ガイド

注意

- 製品の設置については、Samsung Electronics の設置専門技術者にお問い合わせください。
- Samsung Electronics が承認した専門技術者以外が製品を設置した場合には、保証が無効になります。
- 詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

傾斜角度と回転

1 *2*

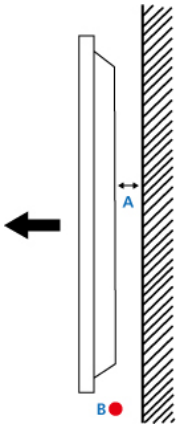


1. この製品は、垂直な壁面から最大 15 度まで傾けることができます。
2. 縦位置モードで使用するには、LED インジケータが下側にくるように時計回りに回転させます。

換気要件

1. 垂直の壁面に設置する場合

<側面図>



A :最低 40 mm

B: 測定位置での気温が <35°C

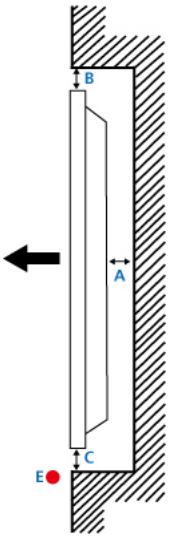
- 製品を垂直の壁面に設置する場合には、上の図に示すように製品の背面側に換気のための隙間を 40 mm 以上あけるようにして、周辺の気温が 35°C 以下になるようにします。

注意

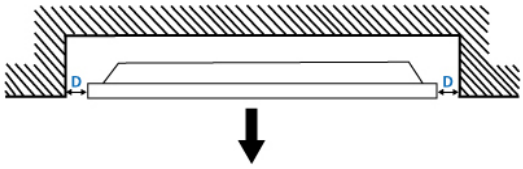
詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

2. 埋め込み設置ガイド

<側面図>



<上面図>



A :最低 40 mm

B:最低 70 mm

C :最低 50 mm

D :最低 50 mm

E : 測定位置での気温が <35°C

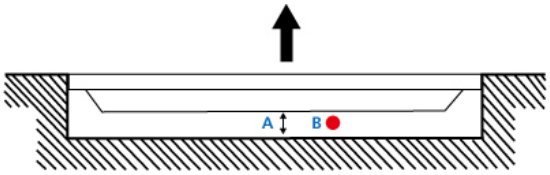
- 製品を垂直の壁面に埋め込む場合には、上の図に示すように製品の周辺に換気のための隙間をあけるようにして、周辺の気温が 35°C 以下になるようにします。

注意

詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

3. 床置き設置ガイド

<側面図>



A :最低 50 mm

B: 測定位置での気温が <20°C

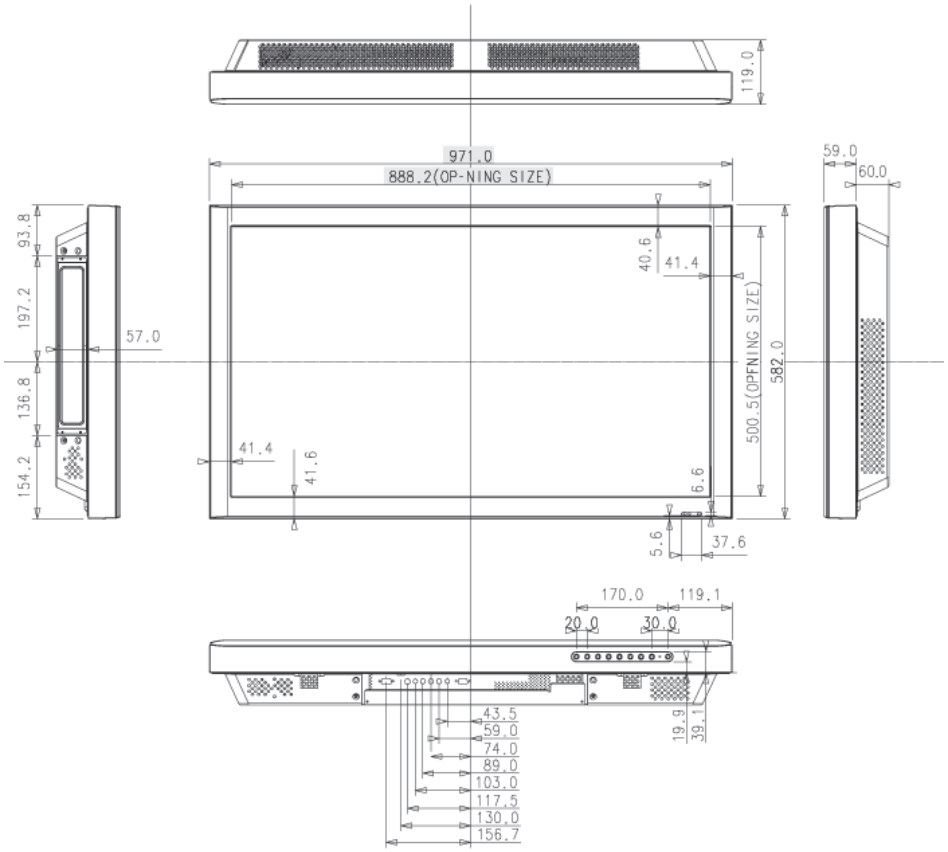
- 製品を床面に埋め込んで設置する場合には、上の図に示すように製品の背面側に換気のための隙間を 50 mm 以上あけるようにして、周辺の気温が 20°C 以下になるようにします。

注意

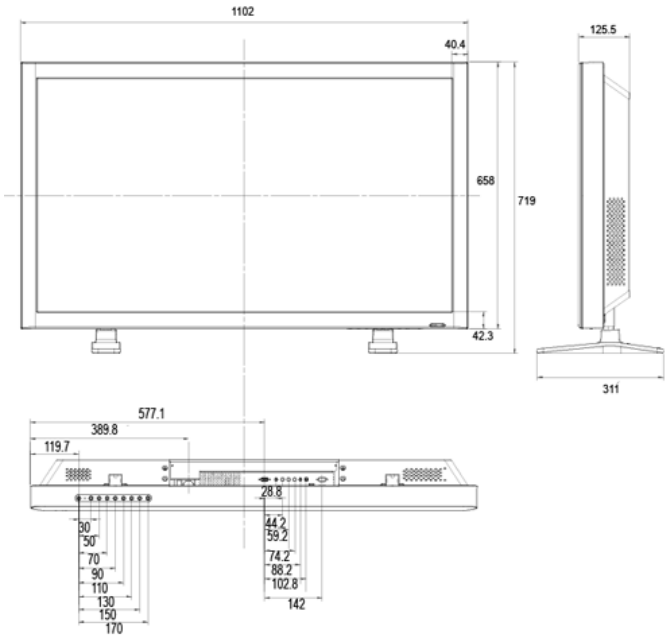
詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

物理的レイアウト

(400MX-3, 400FP-3)



(460MX-3, 460FP-3)



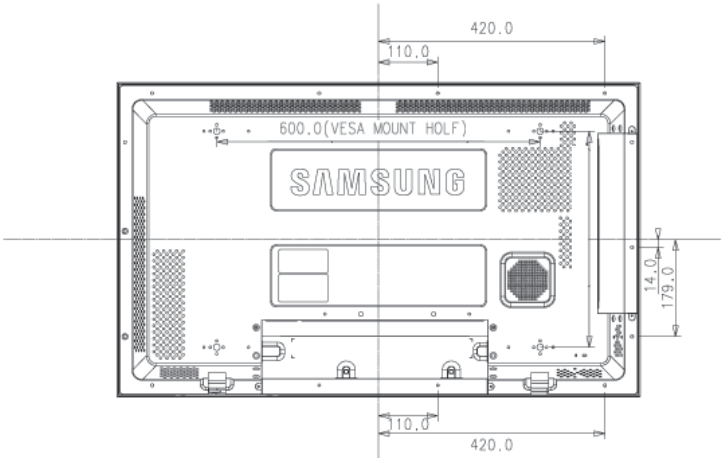
オプションスタンド（別売品）

- VESA を取り付けるときには、国際 VESA 規格に準拠してください。

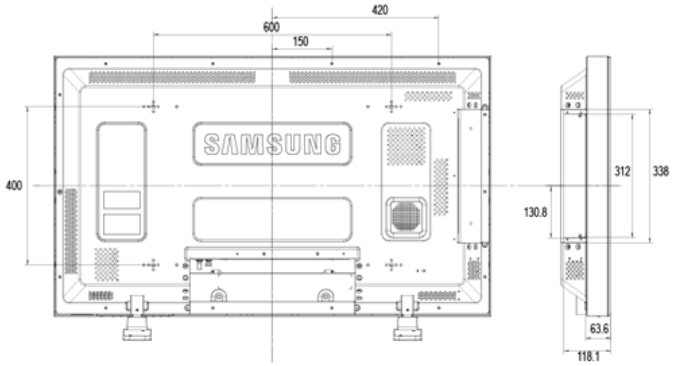
- VESA ブラケットの購入と設置についての情報:お近くの SAMSUNG 販売店にご注文ください。ご注文後、取り付け担当者がお伺いし、ブラケットの取り付けを行います。
- LCD ディスプレイを運搬するには、少なくとも 2 名の人員が必要です。
- SAMSUNG は、お客様による取り付けによって発生した損害および負傷について、責任を負うものではありません。

寸法

(400MX-3, 400FP-3)



(460MX-3, 460FP-3)



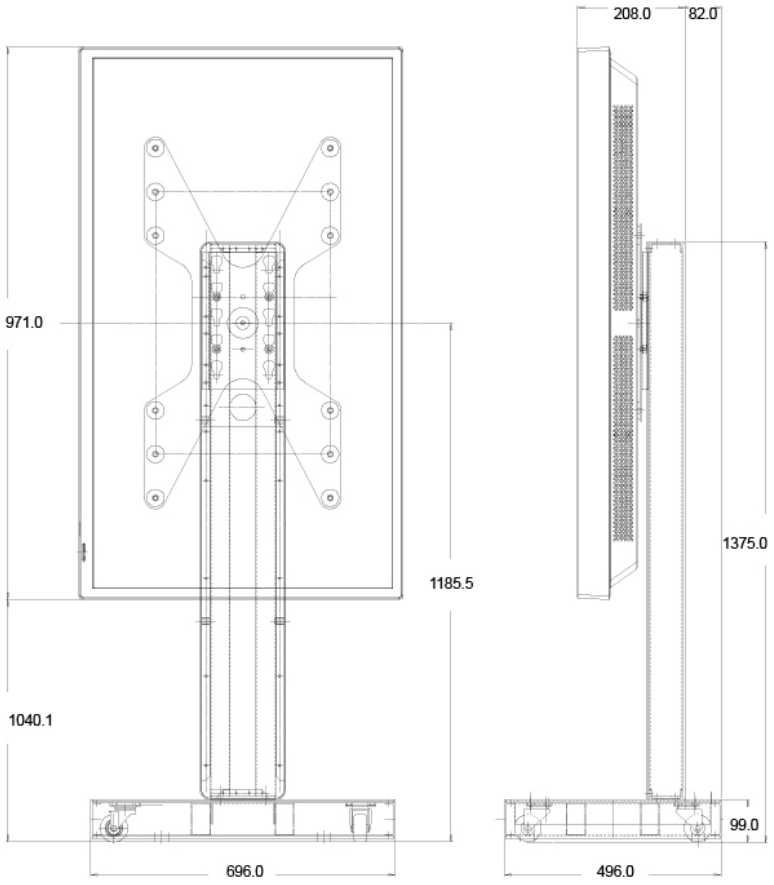
注意

ブラケットを壁に固定するには、6 mm 径で長さ 8～12 mm のネジだけを使用するようにしてください。

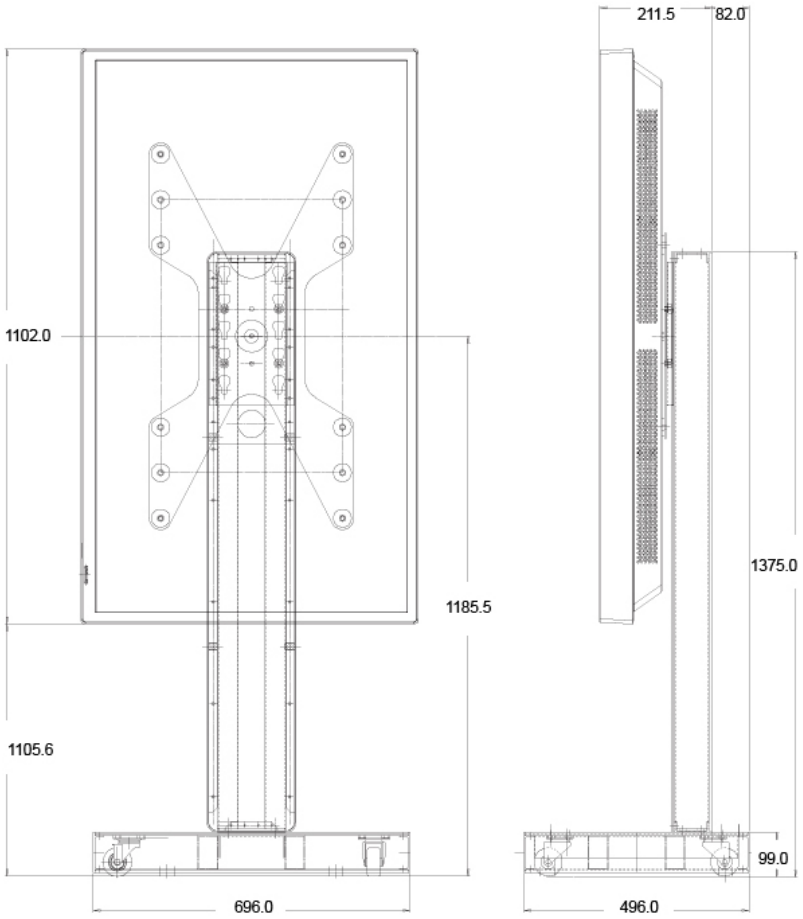
アクセサリ（別売り）:（別売を行わない地域もあります）

- Welcome Board を取り付けた場合の寸法

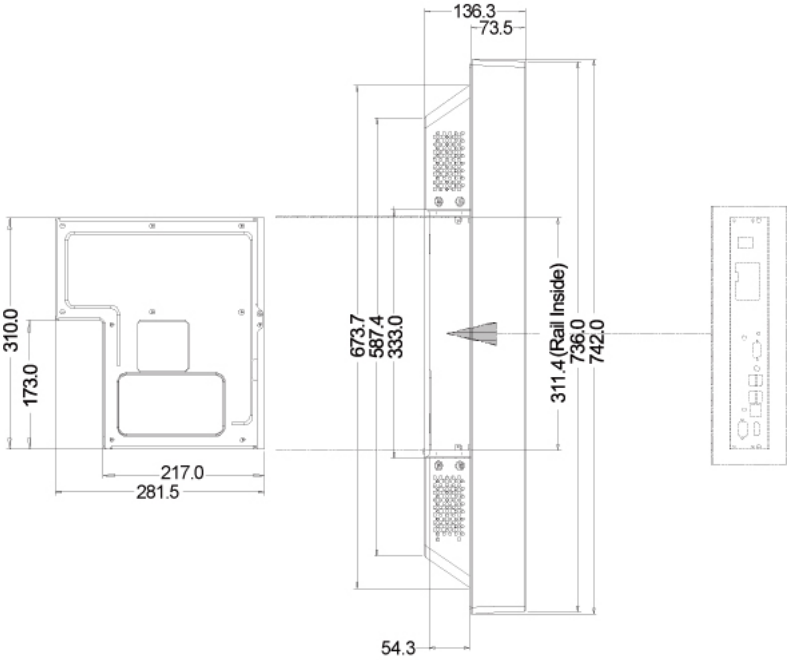
  (400MX-3, 400FP-3)



(460MX-3，460FP-3)



- 他のアクセサリを取り付けた場合の寸法



ウォールブラケットの取り付け

- ウォールブラケットの取り付けについては、技術者にご相談ください。

- お客様が自ら取り付けを行った場合には、SAMSUNG Electronics は製品の損傷およびお客様の傷害について責任を負いかねます。
- この製品は、セメント製の壁に設置するためのものです。この製品は、合板または木製の壁に取り付けることはできません。

部品

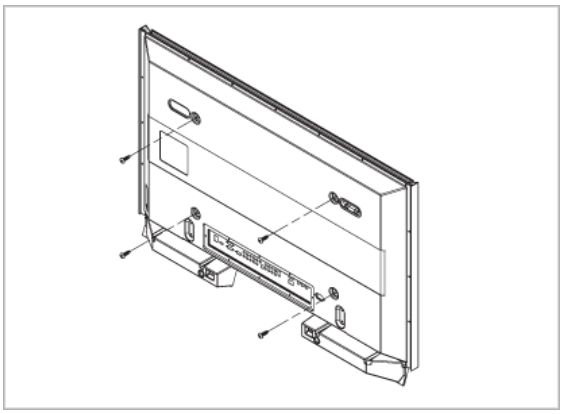
製品に付属している部品およびアクセサリのみを使用してください。

ウォール ブラケット (1) | ヒンジ (左1、右1) | プラスチック ハンガー (11) | ネジ (A) (4) | ネジ (B) (4) | アンカー (11)

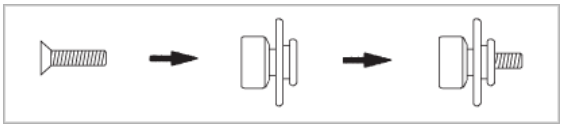
ウォール ブラケットに製品を取り付けるには

製品の形状はモデルによって異なります。(プラスティックハンガーおよびネジは同じです)

1. 製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。



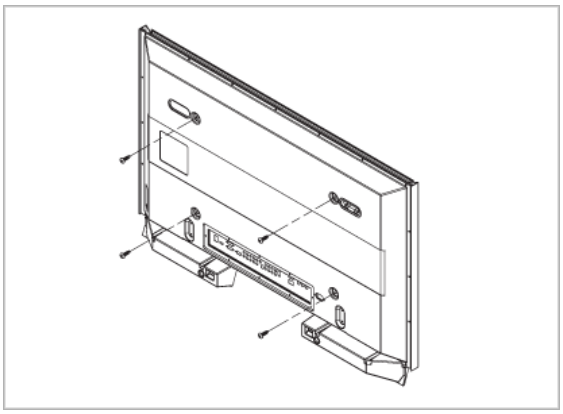
2. ネジ (B) をプラスチックハンガーに挿入します。



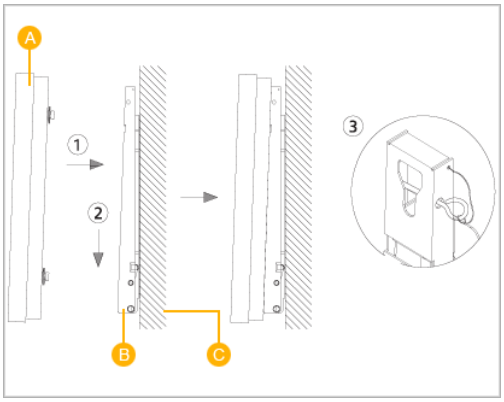
注意

- ウォールブラケットに製品を取り付けたら、左右のプラスチックハンガーに正しく固定されていることを確認してください。
- 製品をブラケットに取り付けるときには、穴に指が挟まれないように注意してください。
- ウォールブラケットが壁にしっかりと固定されていることを確認してください。取り付け後に製品が動いてしまうことがあります。

3. 手順 2 で取り付けた 4 本のネジ（プラスチック ハンガー + ネジ (B)）を、製品の背面の穴に固定します。



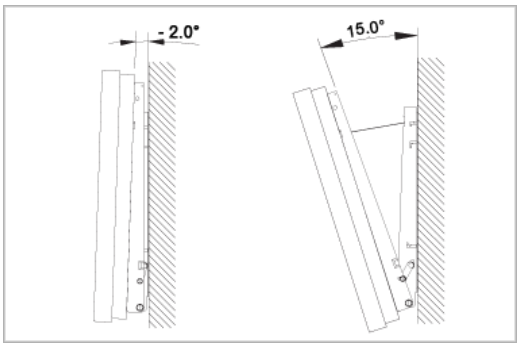
4. 安全ピン (3) を取り外して 4 個の製品ホルダーを対応するブラケット ホール (1) に挿入します。続いて、製品 (2) をブラケットにしっかりと固定されるように配置します。安全ピン (3) をしっかりと最挿入して締め付け、製品をブラケットに固定します。



A - LCD ディスプレイ
B - ウォールブラケット
C - 壁

ウォール ブラケットの角度調整

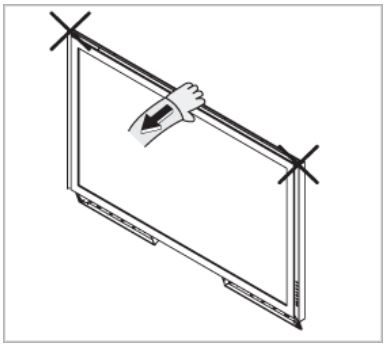
壁に取り付ける前に、ブラケットの角度を -2° に調整してください。



1. 製品をウォールブラケットに固定します。
2. 製品の上部中央を持ち、前（矢印の方向）に引っ張って角度を調整します。

注意

ブラケットの角度は -2˚～ 15˚の範囲で調整できます。



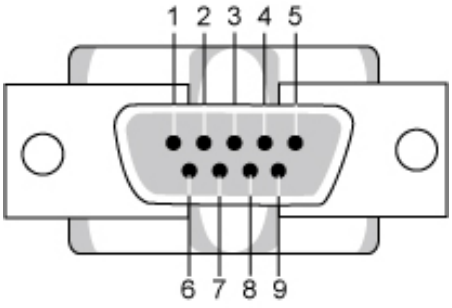
角度を調整する際に、製品の側面を持たないようにしてください。必ず製品の上部中央を持ってください。

リモコン (RS232C)

ケーブル接続

インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No.2) RxD (No.3) GND (No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

- ピン配置



ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	データ端末レディ
5	信号グラウンド
6	データ セット レディ
7	送信要求

8	受信準備完了
9	リング インジケータ

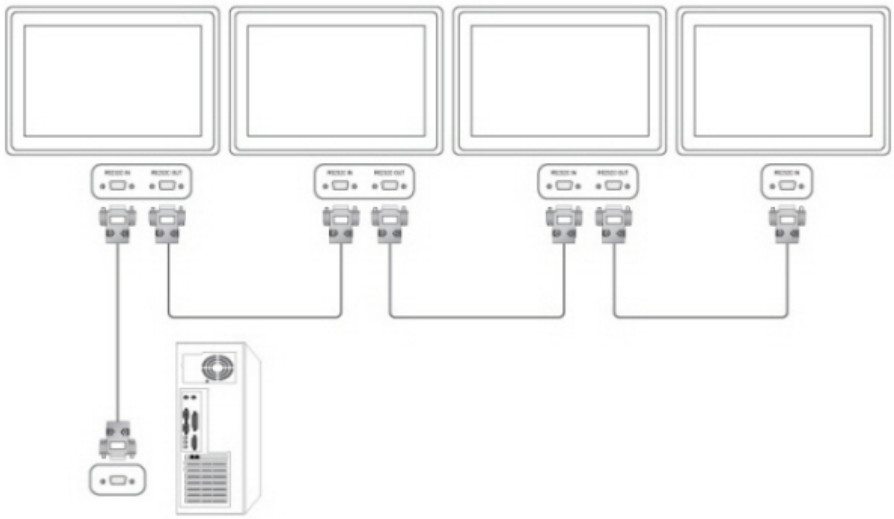
- RS232C ケーブル

  コネクタ:9 ピン D-Sub

  ケーブル:クロス (反転) ケーブル

-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	--------->	3	Rx	メス
	Tx	3	<---------	2	Tx	
	Gnd	5	----------	5	Gnd	

- 接続方法



制御コード

- Get コントロール

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

- 制御の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

- コマンド語句

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面モード制御	0x18	-
5	画面サイズ制御	0x19	0~255
6	PIP オン/オフ制御	0x3C	0~1
7	自動調整制御	0x3D	0
8	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
9	安全ロック	0x5D	0~1

- ID は割り当てられた ID の 16 進数の値を示しますが、ID 0 は 0xFF でなければなりません。

- すべての通信は 16 進数で行われ、チェックサムはすべての残りの合計です。それが 2 桁を超える数になる場合、例えば 11+FF+01+01=112 のような場合には、以下に示すように最初の 1 桁を捨てます。

例）PowerOn&ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	電源	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

シリアルケーブルに接続されているすべてのメカニズムを ID に関係なく制御したい場合は、ID 部分を「0xFE」に設定してコマンドを送信します。そのとき、各 SET にはコマンドが続きますが、ACK には反応しません。

- 電源制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニタの電源をオン/オフします。

  - 電源のオン/オフステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

  - 電源のオン/オフ設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	電源	

    電源 :TV/モニタに設定する電源コード

    1 : 電源オン

0 : 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x11	電源	

電源 :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x11	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 音量制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータがTV/モニタの音量を変更します。

  - 音量ステータスの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

  - 音量の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	音量	

音量 :TV/モニタに設定する音量値コード（0～100）

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x12	音量	

音量 :同上

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x12	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 入力信号制御

- 機能

  パーソナルコンピュータが TV/モニタの入力信号を変更します。

- 入力信号ステータスの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	入力信号	

  入力信号 :TV/モニタに設定する入力信号

0x14	PC
0x1E	BNC
0x18	DVI
0x0C	AV
0x04	S-Video
0x08	コンポーネント
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_VIDEO
0x30	RF(TV)
0x40	DTV
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	DisplayPort

  警告

  DVI_VIDEO, HDMI1_PC, HDMI2_PC → 取得のみ

  MagicInfo の場合、MagicInfo を含むモデルでのみ可能

  TV の場合、TV を含むモデルでのみ可能

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x14	入力信号	

  入力信号 :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x14	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 画面モード制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニターの画面モードを変更します。

    画面分割がオンになっているときには、制御できません。

    警告

    TV を含むモデルでのみ作動します。

  - 画面モードステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x18		0	

  - 映像サイズ設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x18		1	画面モード	

画面モード :TV/モニタに設定する画面モードコード

0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x18	画面モード	

画面モード :同上

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x18	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 画面サイズ制御

- 機能

  パーソナルコンピュータが TV/モニタの画面サイズを認識します。

- 画面サイズステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x19	画面サイズ	

  画面サイズ :TV/モニタの画面サイズ（範囲：0～255、単位：インチ）

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x19	ERR	

  ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- PIP（同時画面） オン/オフ制御

  - 機能

    PC が TV/モニタの PIP 機能をオン/オフします。

    これは MagicInfo モードでは作動しません。

  - PIP のオン/オフステータスを取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x3C		0	

  - PIP のオン/オフを設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3C		1	PIP（同時画面）	

    PIP（同時画面）:TV/モニタに設定する PIP（同時画面）オン/オフコード

    1 : PIP オン

    0 : PIP オフ

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x3C	PIP（同時画面）	

PIP（同時画面）:同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x3C	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 自動調整制御（PC、BNC のみ）

  - 機能

    パーソナルコンピュータが PC システム画面を自動的に制御します。

  - 自動調整ステータス取得

    なし

  - 自動調整設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3D		1	自動調整	

自動調整 :0x00（常時）

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x3D	自動調整	

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x3D	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- ビデオウォールモード制御

  - 機能

    ビデオウォール（画面分割）がオンのとき、パーソナルコンピュータが TV/モニタのビデオウォールモードを変換します。

    ビデオウォール（画面分割）がオンのとき TV/モニタでのみ作動します。

MagicInfo では作動しません。

- ビデオウォールモードの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- ビデオウォールモードの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	ビデオウォールモード	

ビデオウォールモード :TV/モニタに設定するビデオウォールモードコード

1 : **フルモード**

0 : **ナチュラル**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5C	ビデオウォールモード	

ビデオウォールモード :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5C	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 安全ロック

- 機能

パーソナルコンピュータが TV/モニタの安全ロック機能をオン/オフします。

電源のオン/オフにかかわらず作動できます。

- 安全ロックのステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロック有効化/無効化の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	安全ロック	

安全ロック :TV/モニタに設定するロックコード

1 : オン

0 : オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5D	安全ロック	

安全ロック :同上

- Nak

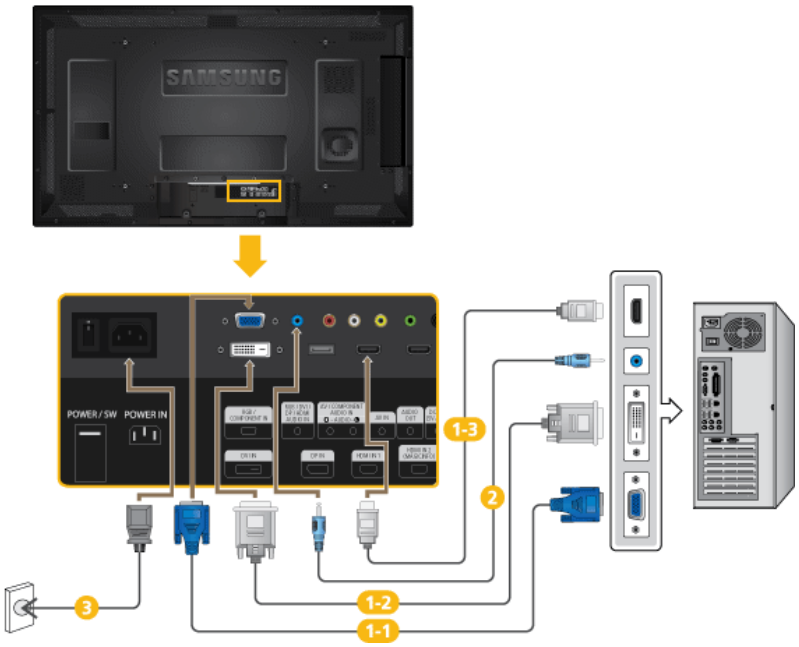
ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5D	安全ロック	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

接続

コンピュータの接続

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。



1 コンピュータをモニターに接続するにはいくつかの方法があります。以下のオプションから選択してください。

1-1 ビデオカードの D-sub（アナログ）コネクタを使用します。

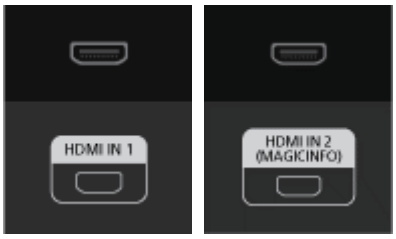
- D-sub は、LCD ディスプレイ背面の 15-pin の *[RGB/COMPONENT IN]* ポートとコンピュータの 15-pin D-sub ポートを接続します。

1-2 ビデオカードの DVI（デジタル）コネクタを使用します。

- DVI ケーブルは、LCD ディスプレイ背面の *[DVI IN]* ポートとコンピュータの DVI ポートを接続します。

1-3 ビデオカードの D-sub（デジタル）コネクタを使用します。

- LCD ディスプレイの *[HDMI IN 1]* / *[HDMI IN 2]* ポートと PC の HDMI ポートを HDMI ケーブルを使用して接続します。



注意

HDMI ケーブルで PC に接続しているときには、入力信号として **HDMI2** または **HDMI1** を選択します。

PC からの画像と音声を正常に出力するには、**外部入力名編集** で **PC** を選択する前に **HDMI2** または **HDMI1** を選択します。

DVI 装置 が選択されているときに音声を有効にするには、ステップ (2) を使用して接続されていることを確認します。

2. お使いのコンピュータのオーディオ ケーブルを、コンピュータ背面のオーディオ ポートに接続します。
3. LCD ディスプレイの電源コードを LCD ディスプレイ背面の電源ポートに接続します。電源スイッチをオンにします。

注意

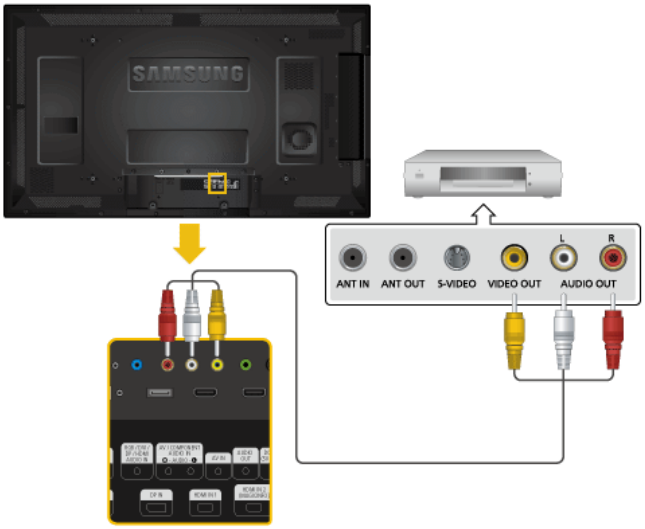
オプション品の購入については、SAMSUNG のお近くの販売店にお問い合わせください。

他のデバイスへの接続

注意

- お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。
- LCD ディスプレイの背面の構成は、LCD ディスプレイのモデルによって若干異なる場合があります。

AV デバイスの接続



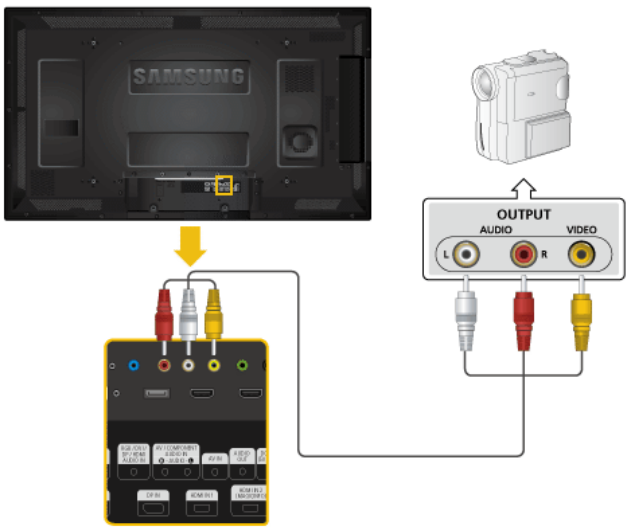
1. オーディオ ケーブルを製品の *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* と VCR や DVD プレイヤーなどの外部デバイスのオーディオ ポートに接続します。

2. ビデオ ケーブルを製品の *[AV IN]* と外部デバイスのビデオ出力ポートに接続します。

3. 次に、DVD またはテープを挿入して、DVD、VCR、またはカムコーダーをスタートさせます。

4. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**AV**」を選択します。

カムコーダーへの接続



1. カムコーダーの AV 出力ジャックの場所を確認します。通常は、カムコーダーの側面または背面にあります。カムコーダーの VIDEO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの *[AV IN]* をビデオ ケーブルで接続します。

2. オーディオ ケーブルをカムコーダーの AUDIO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの *[AV /COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* に接続します。

3. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**AV**」を選択します。

4. 続いて、テープを挿入したカムコーダーをスタートします。

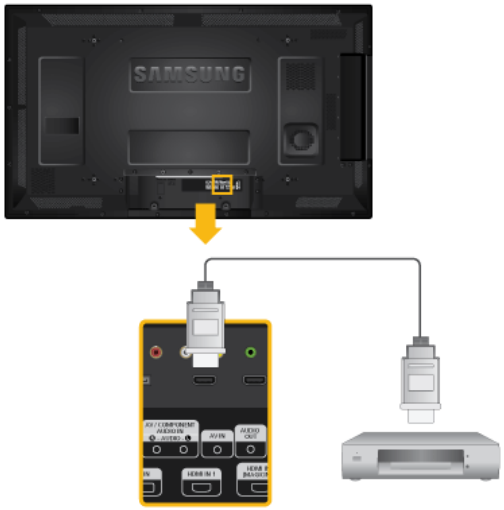
注意

ここに示した音声ビデオ ケーブルは、通常カムコーダーに付属しています。

(付属していない場合には、お近くの電器店でご購入ください)

カムコーダーがステレオの場合には、2 本のケーブルを接続する必要があります。

HDMI ケーブルを使用して接続する



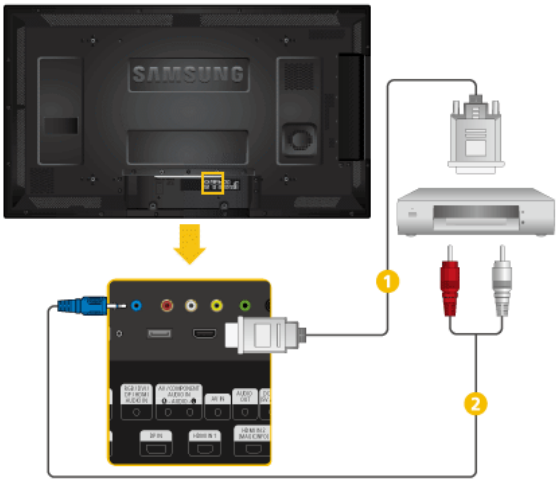
1. HDMI ケーブルを製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* または *[HDMI IN 1]* とデジタル デバイスの HDMI 出力ポートに接続します。

2. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**HDMI1 / HDMI2**」を選択します。

注意

HDMI モードでは、PCM フォーマットの音声のみサポートしています。

DVI - HDMI ケーブルを使用して接続する

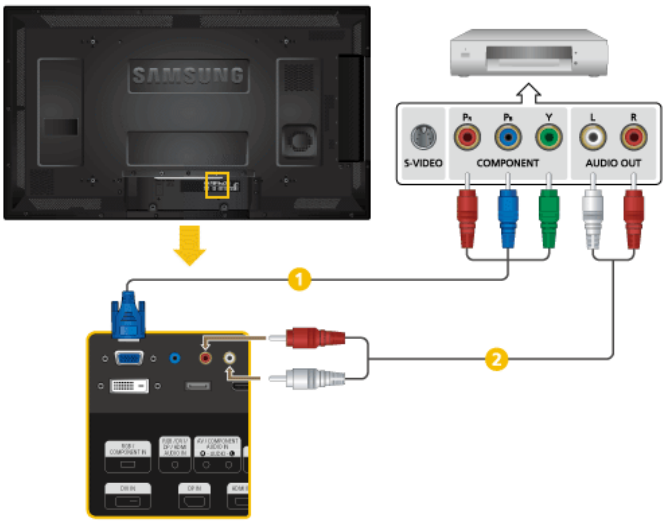


1. DVI-HDMI ケーブルを製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* または *[HDMI IN 1]* とデジタル デバイスの DVI 出力ポートに接続します。

2. RCA - ステレオ (PC 用) ケーブルの赤および白のジャックをデジタル出力デバイスの同じ色の音声出力端子に接続し、反対側のジャックを LCD ディスプレイの *[RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN]* 端子に接続します。

3. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**HDMI1 / HDMI2**」を選択します。

DVD プレイヤーの接続



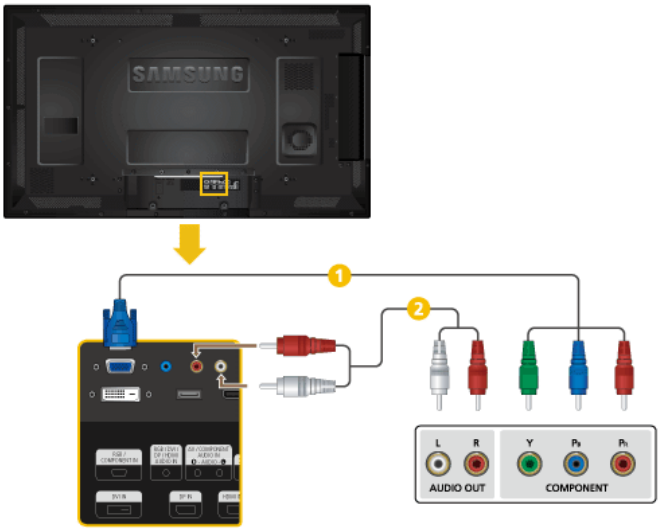
1. RGB to Component ケーブルで LCD ディスプレイの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートと DVD プレイヤーの P_R, Y, P_B ジャックを接続します。

2. オーディオ ケーブルのセットを LCD ディスプレイの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* と DVD プレイヤーの AUDIO OUT ジャックの間に接続します。

注意

- 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**コンポーネント**」を選択します。
- 次に、DVD ディスクを挿入して DVD プレイヤーをスタートさせます。
- RGB to Component ケーブルはオプションです。
- コンポーネント ビデオについては、お使いの DVD のマニュアルを参照してください。

DTV セット トップ (ケーブル/衛星) ボックスの接続



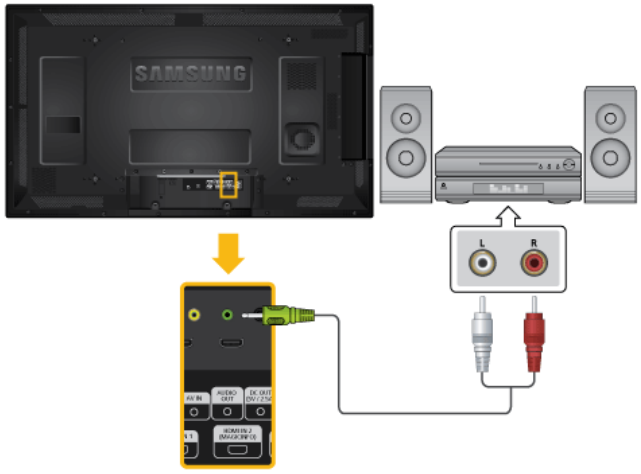
1. RGB to Component ケーブルで LCD ディスプレイの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートとセット トップ ボックスの P_R, Y, P_B ジャックを接続します。

2. オーディオ ケーブルのセットを LCD ディスプレイの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* とセット トップ ボックスの AUDIO OUT ジャックの間に接続します。

注意

- 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**コンポーネント**」を選択します。
- コンポーネント ビデオについては、お使いのセット トップ ボックスのマニュアルを参照してください。

オーディオ システムへの接続



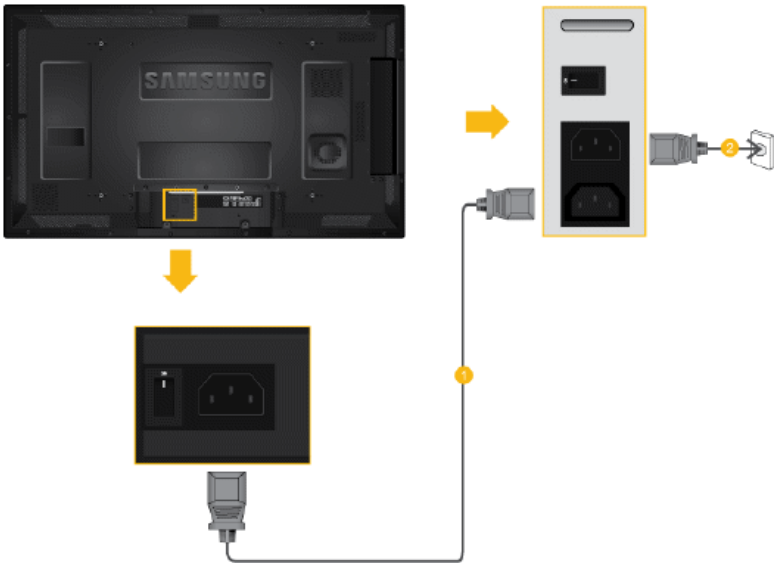
1. オーディオ システムの AUX L、R ジャックと LCD ディスプレイの *[AUDIO OUT]* をオーディオ ケーブルで接続します。

ネットワーク ボックス（別売り）の接続

注意

- ネットワーク ボックスは別売りです。
- ネットワーク ボックスの購入およびインストールについて詳しくは、Samsung Electronics にお問い合わせください。

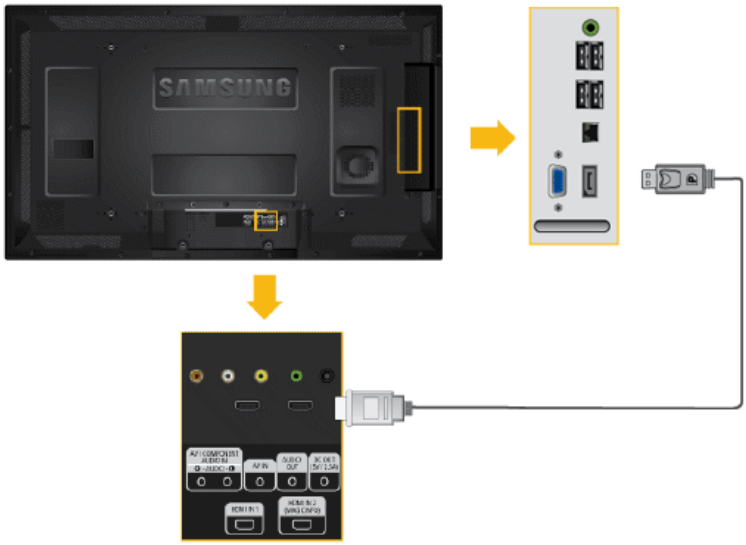
電源の接続



1. 電源延長コードを使用して、製品の [POWER] 端子とインストールしたネットワーク ボックスの [POWER] 端子を接続します。
2. 電源コードをネットワーク ボックスの [POWER] とコンセントに接続します。

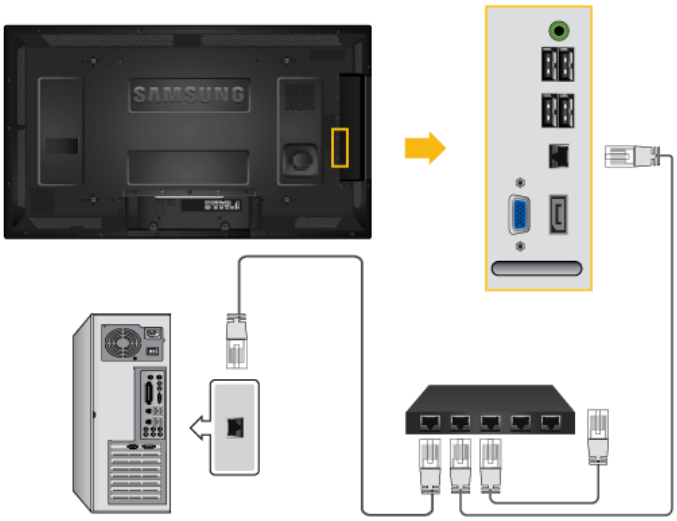
電源スイッチをオンにします。

MAGICINFO OUT への接続



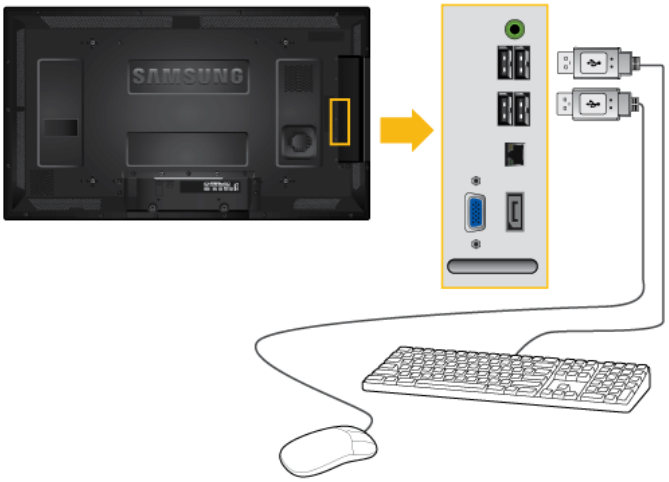
DP - HDMI ケーブルを使用して、ネットワーク ボックスの [MAGICINFO OUT] 端子とモニターの [HDMI IN 2 (MAGICINFO)] 端子を接続します。

LAN ケーブルの接続



製品の [LAN] ポートと PC の [LAN] ポートを LAN ケーブルで接続します。

USB デバイスの接続



マウスやキーボードなどの USB 機器を接続することができます。

ソフトウェアの使用

モニター ドライバ

注意

オペレーティング システム が モニタードライバを要求してきたら、このモニターに同梱されている CD-ROM を挿入して下しさい。インストール方法はオペレーティング システムによって多少異なります。お使いのオペレーティング システムに対応する指示に従ってください。

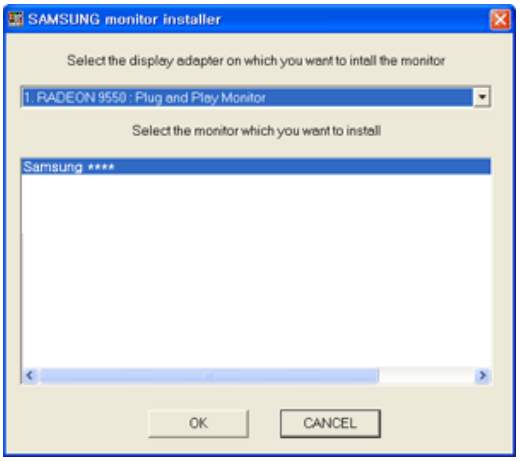
空のディスクを用意して、以下に示すインターネット Web サイトのドライバ プログラム ファイルをダウンロードします。

ハードディスクにコピーしてご利用ください。
インターネット Web サイト:

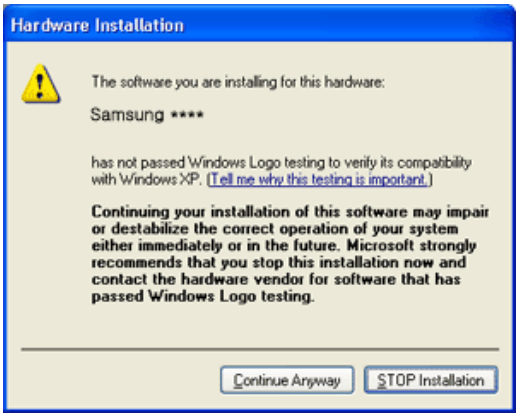
http://www.samsung.com/

モニター ドライバのインストール (自動)

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows] をクリックします。
3. モデル一覧でお使いのモニターのモデルを選択し、["OK" (OK)] をクリックします。



4. 以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK"] ボタン (Microsoft® Windows® XP/2000 オペレーティング システム) をクリックします。



注意

このモニター ドライバは Microsoft が承認したもので、インストールしてもシステムにダメージを与えることはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

http://www.samsung.com/

モニター ドライバのインストール (手動)

Microsoft® Windows Vista™, オペレーティング システム

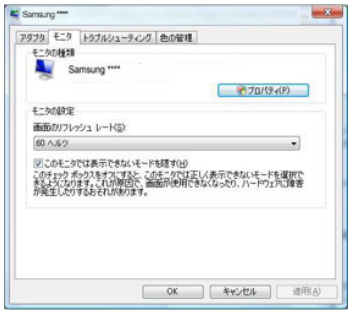
1. マニュアル CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [ ] (スタート) をクリックし、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。次に、["Appearance and Personalization" (デスクトップのカスタマイズ)] をダブルクリックします。

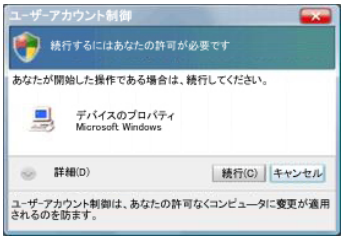
3. ["Personalization" (個人設定)]、続いて ["Display Settings" (画面の設定)] をクリックします。

4. ["Advanced Settings..." (詳細設定...)] をクリックします。

5. ["Monitor" (モニタ)] タブで ["Properties" (プロパティ)] をクリックします。["Properties" (プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、モニターの設定が完了していないことを示しています。そのままでも、モニターを使用することは可能です。

下の図に示すように ["Windows needs..." (Windows の設定が必要です...)] というメッセージが表示された場合には、["Continue" (続行)] をクリックします。



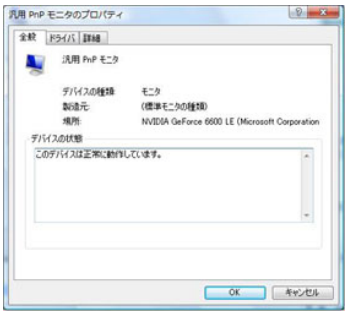


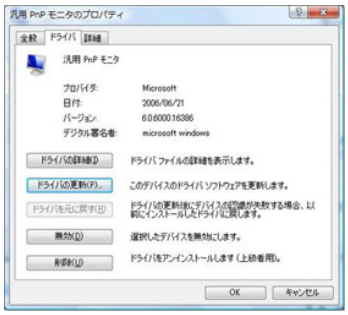
注意

このモニタードライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

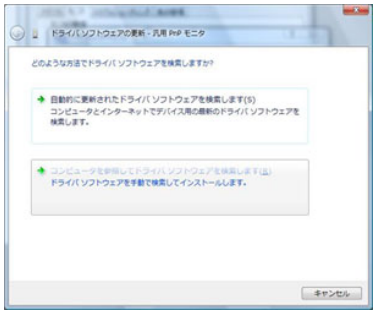
承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

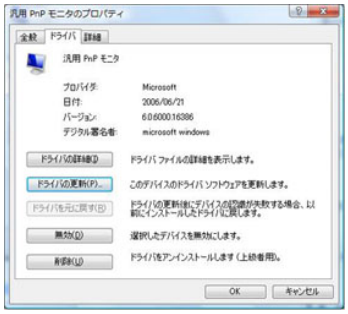
6. ["Update Driver..." (ドライバのアップデート...)] タブで ["Driver" (ドライバ)] をクリックします。



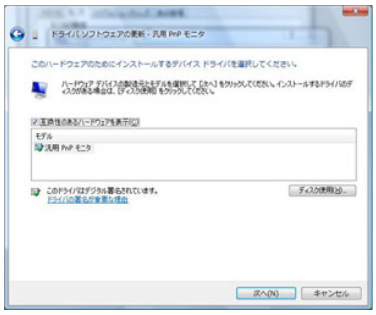


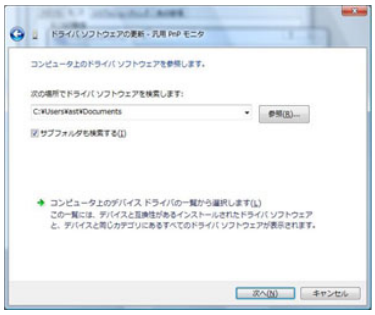
7. ["Browse my computer for driver software" (コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します)] チェックボックスをチェックして、["Let me pick from a list of device drivers on my computer" (コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します)] をクリックします。



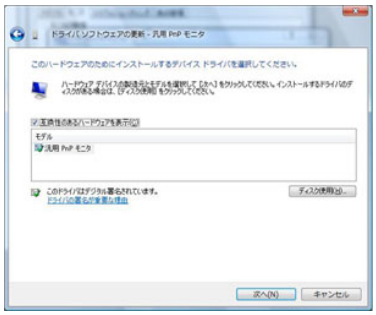


8. ["Have Disk..." (ディスク使用)] をクリックして、ドライバ セットアップファイルのあるフォルダ (たとえば D:\Drive) を選択し、[OK] をクリックします。

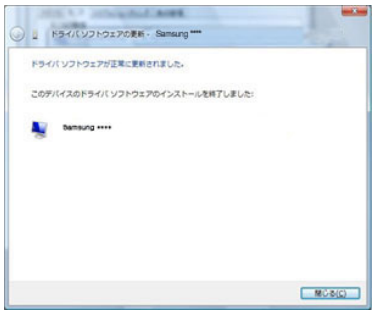


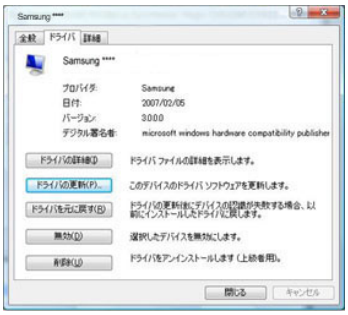


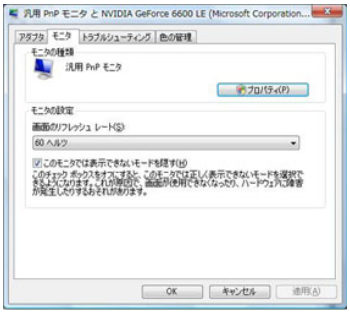
9. 画面上のリストからお使いのモニターモデルに一致するモデルを選択し、["Next" (次へ)] をクリックします。



10. 続いて表示される画面で、["Close" (閉じる)] Æ ["Close" (閉じる)] Æ ["OK" (OK)] Æ ["OK" (OK)] をクリックします。



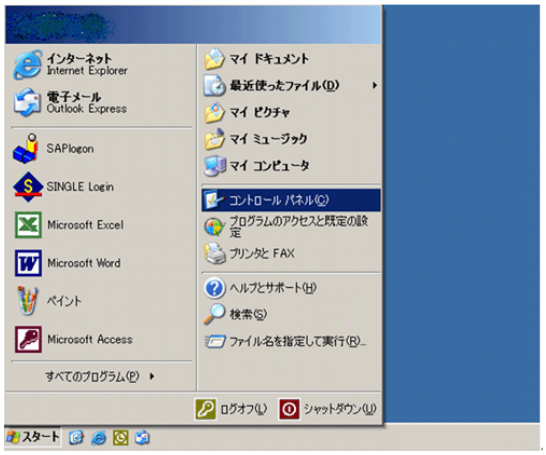




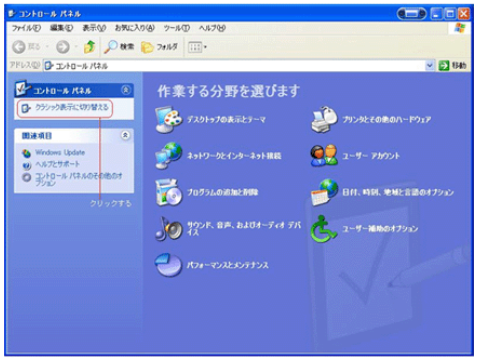
Microsoft® Windows® XP オペレーティング システム

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

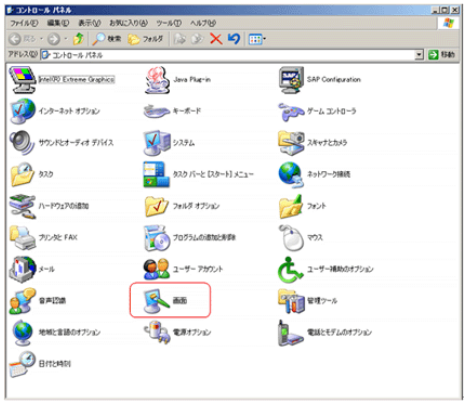
2. 〔スタート〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を選択します。



3. 〔クラシック表示に切り替える〕をクリックし、〔画面〕のアイコンをクリックします。

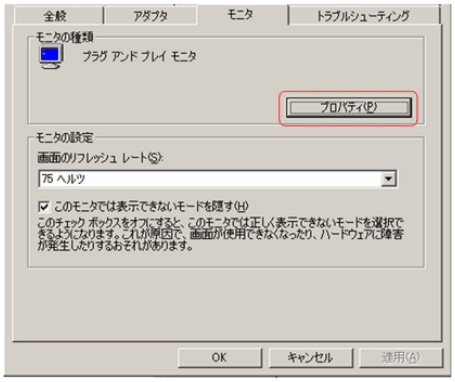


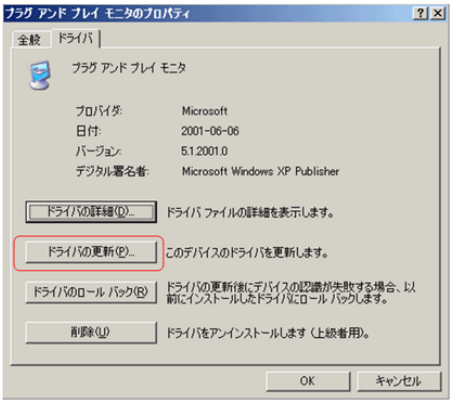
4. コントロールパネルの〔画面〕をダブルクリックします。



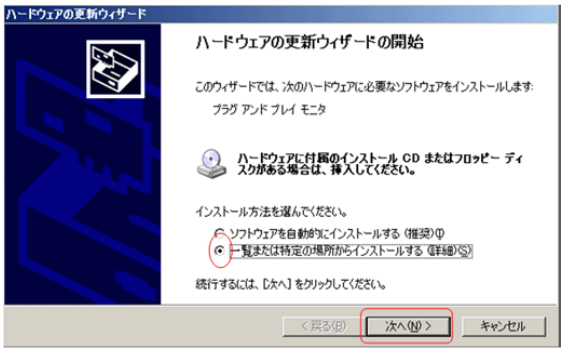
5. 〔画面のプロパティ〕から〔設定〕-〔詳細設定〕を選択します。

6. タブの中から〔モニタ〕をクリック。〔プロパティ〕ボタンをクリックし、次の画面で〔ドライバの更新〕を選択します。

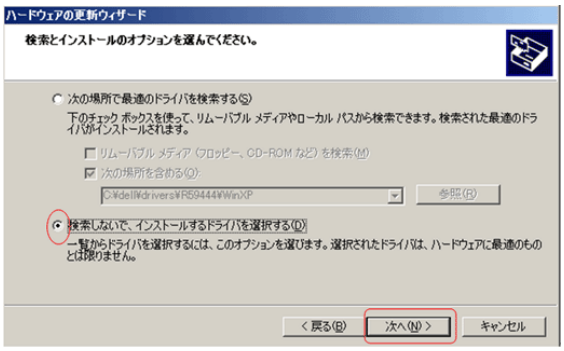




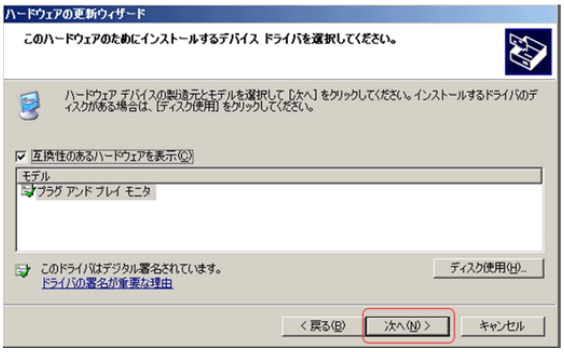
7. 〔ハードウェアの更新ウィザード〕から〔一覧または特定の…〕を選択します。



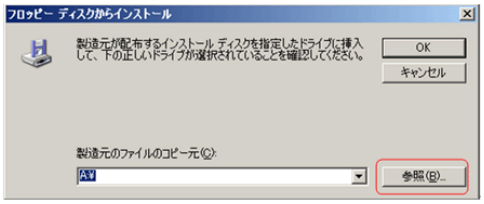
8. 次の画面で〔検索しないで、インストールするドライバを選択する〕をクリックし、〔次へ〕進みます。



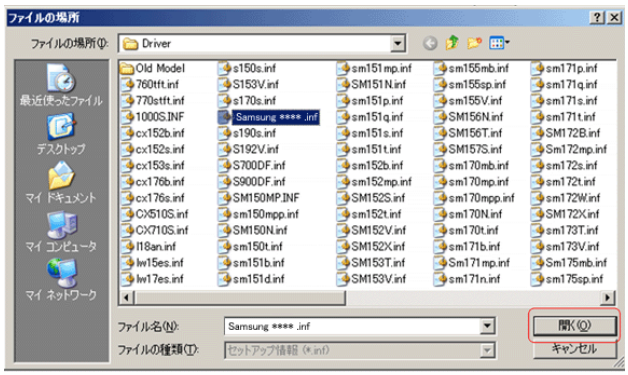
9. 〔ディスクを使用〕をクリックします。



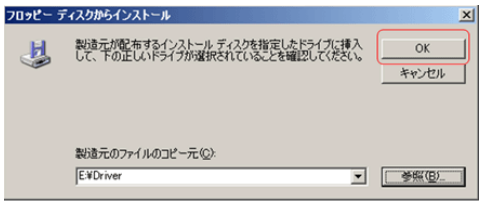
10. 〔参照〕をクリックすると〔ファイルの場所〕が表示されます。

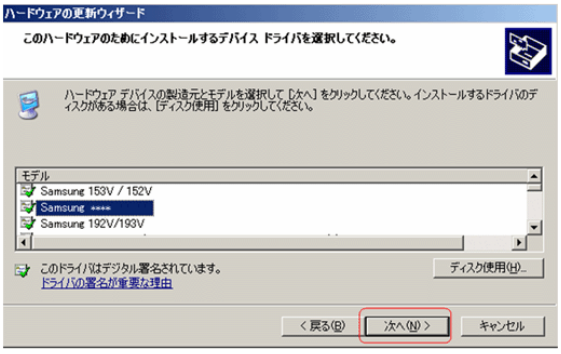


11. 〔ファイルの場所〕で CD-ROM ドライブを選択し、更に〔Driver〕フォルダをダブルクリックし、〔開く〕をクリックします。

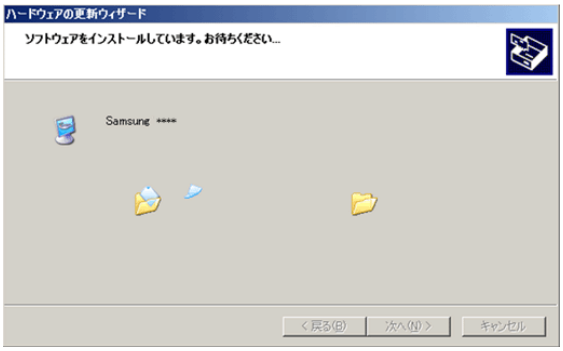


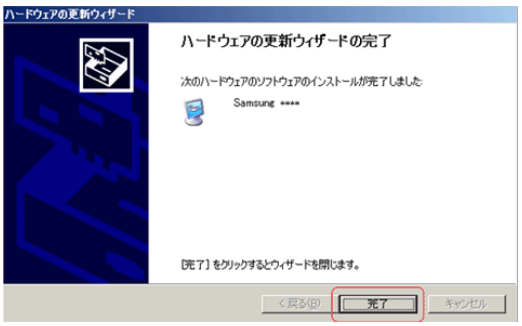
12. 「製造元のファイルのコピー元」に選択したドライブの「Driver」フォルダ名が表示されたら〔OK〕をクリックし、該当するモニターのドライバを選択します。〔次へ〕をクリックします。

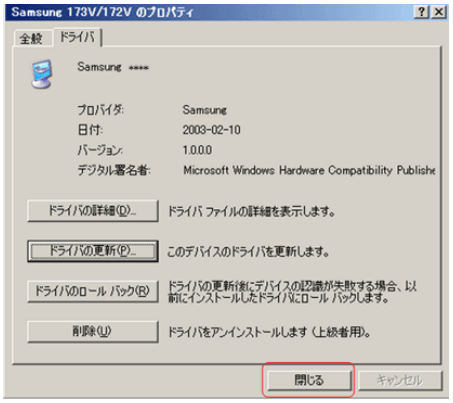




13. ソフトウェアをインストールする画 面から、完了画面に移ります。〔完了〕ボタンをクリックし、続けて〔閉じる〕をクリックします。







14. モニタードライバのインストールはこれで完了です。

注意

このモニタードライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

http://www.samsung.com/

Microsoft® Windows® 2000 オペレーティング システム

モニター上に["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] と表示された場合は、以下の手順を行います。

1. ["Insert disk" (ディスク挿入)] ウィンドウで ["OK" (OK)] ボタンを選択します。
2. ["File Needed" (必要なファイル)] ウィンドウで ["Browse" (参照)] ボタンをクリックします。
3. A:(D:\Driver) を参照してから ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続いて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。

インストール方法

1. ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] を選択します。

   ケース 1:["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効でない場合には、モニターが適切に設定されていることを意味します。インストールを中止してください。

   ケース 2:["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効になっている場合には、["Properties" (プロパティ)] ボタンをクリックして次の手順に進みます。
5. ["Driver" (ドライバ)] をクリックし、続いて ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして ["Next" (次へ)] をクリックします。
6. ["Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver" (このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する)] を選択して ["Next" (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。
7. ["Browse" (参照)] ボタンをクリックして A:(D:\Driver) を選択します。
8. ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続けて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
9. お使いのモニターのモデルを選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックして、さらに ["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
10. ["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

    ["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] というウィンドウが表示された場合には、["Yes" (はい)] ボタンをクリックします。["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

Microsoft® Windows® Millennium オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] タブを選択します。
5. ["Monitor Type" (モニタ タイプ)] 領域で、["Change" (変更)] ボタンをクリックします
6. ["Specify the location of the driver" (ドライバの場所を指定)] を選択します。
7. ["Display a list of all the driver in a specific location..." (特定の場所にあるすべてのドライバー一覧を表示し、インストールドライバを選択する)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
8. ["Have Disk" (ディスク使用)] ボタンをクリックします。
9. A:\ (D:\driver) を指定して、["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
10. ["Show all devices" (すべてのデバイスを表示)] を選択し、コンピュータに接続されているものに対応するモニターを選択して、["OK" (OK)] をクリックします。
11. [画面のプロパティ] ダイアログボックスが閉じるまで、["Close" (閉じる)] ボタンをクリックしてから ["OK" (OK)] ボタンをクリックする操作を繰り返します。

Microsoft® Windows® NT オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Settings" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックし、続いて ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
2. [登録情報の表示] ウィンドウで、[設定] タブをクリックしてから ["All Display Modes" (すべての表示モード)] をクリックします。
3. 使用したいモード (解像度、色数および垂直周波数) を選択し、OK をクリックします。
4. ["Apply" (適用)] ボタンをクリックし、["Test" (テスト)] をクリックして画面が正常に表示されるか確認します。画面が正常に表示されない場合には、別のモード (解像度、色数または周波数がより低いモード) に変更します。

注意

[すべての表示モード] にモードが表示されない場合には、ユーザー ガイドのプリセット タイミング モードを参照して、解像度と 垂直周波数 を選択します。

MDC プログラムのインストール/アンインストール

インストール方法

1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. **MDC Unified** のインストール プログラムをクリックします。

   ソフトウェアのインストール ウィンドウがメイン画面に表示されない場合には、CD の MDC フォルダにある "MDC Unified" 実行ファイルを使用してインストールします。

3. 表示されたインストール ウィザードの画面で "Next" をクリックします。
4. 表示された "License Agreement" ウィンドウで、"I accept the terms in the license agreement" を選択して、"Next" をクリックします。
5. 表示される "Customer Information" ウィンドウで、すべての情報フィールドに記入して "Next" をクリックします。
6. 表示される "Destination Folder" ウィンドウで、プログラムをインストールするディレクトリを選択して "Next" をクリックします。

   ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

7. 表示される "Ready to Install the Program" ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから "Install" をクリックします。
8. インストールの進捗状況が表示されます。
9. 表示される "InstallShield Wizard Complete" ウィンドウで "Finish" をクリックします。

   "Launch MDC Unified" を選択して "Finish" をクリックし、MDC プログラムをすぐに実行します。

10. インストール後には、デスクトップ上に **MDC Unified** ショートカット アイコンが作成されます。

    - MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。
    - 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

アンインストール

1. **スタート** メニューの **設定** > **コントロール パネル** を選択して、**プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。
2. リストから **MDC Unified** を選択して、**変更/削除R** をクリックします。

MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

Multiple Display Control
MDC System

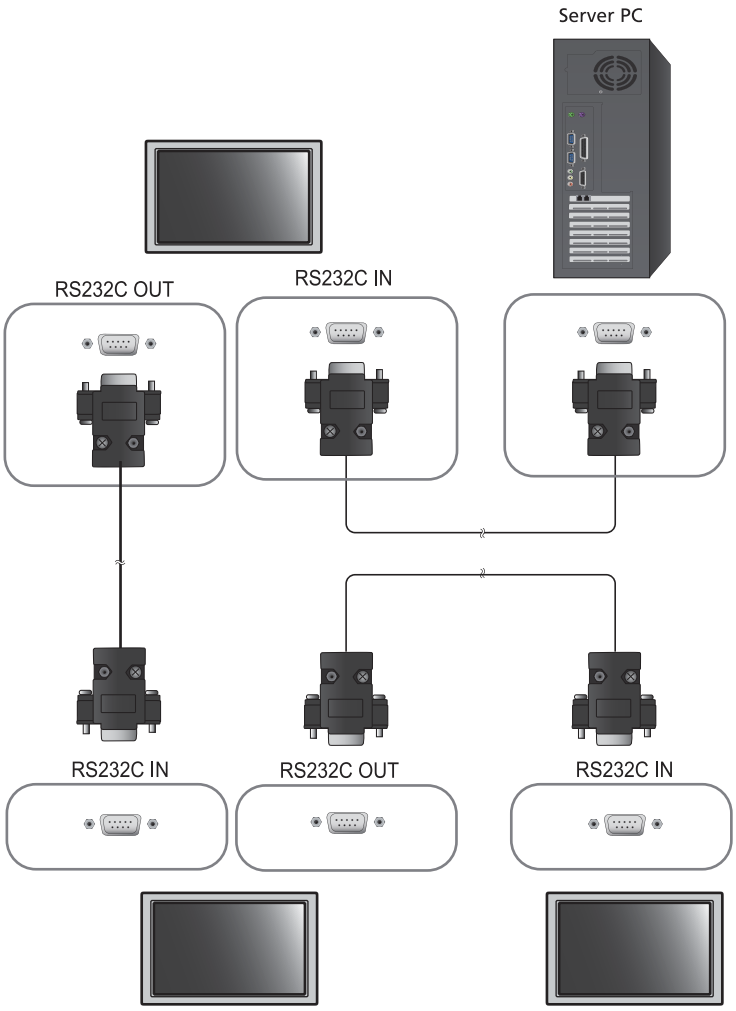
MDC とは

"MDC" (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

MDC の接続

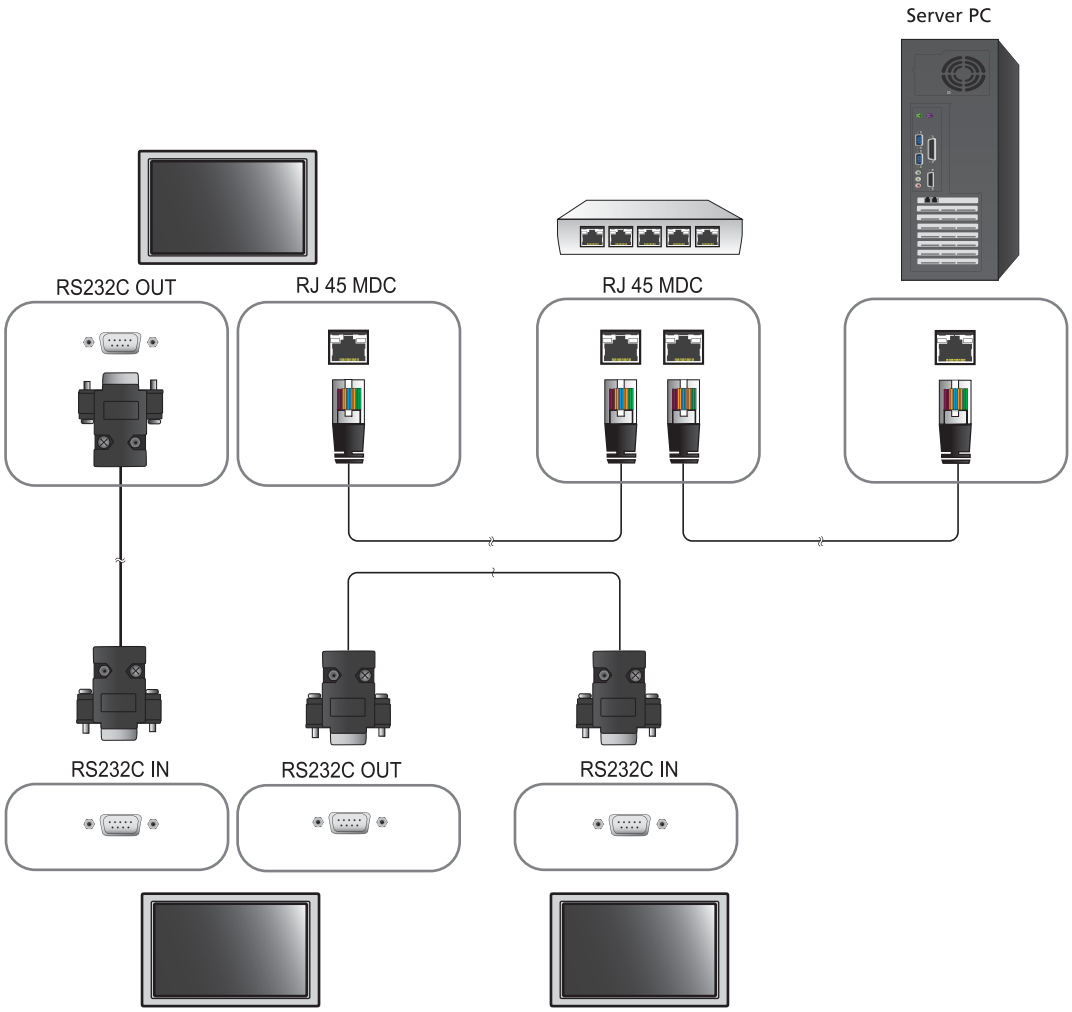
RS-232C (シリアル データ通信標準規格) による MDC の使用

RS-232C シリアル ケーブルを PC のシリアル ポートとモニターに接続します。



イーサネットによる MDC の使用

プライマリのディスプレイ装置の IP アドレスを入力して、PC にデバイスを接続します。RS-232C シリアル ケーブルを使ってディスプレイ装置をもうひとつ接続できます。

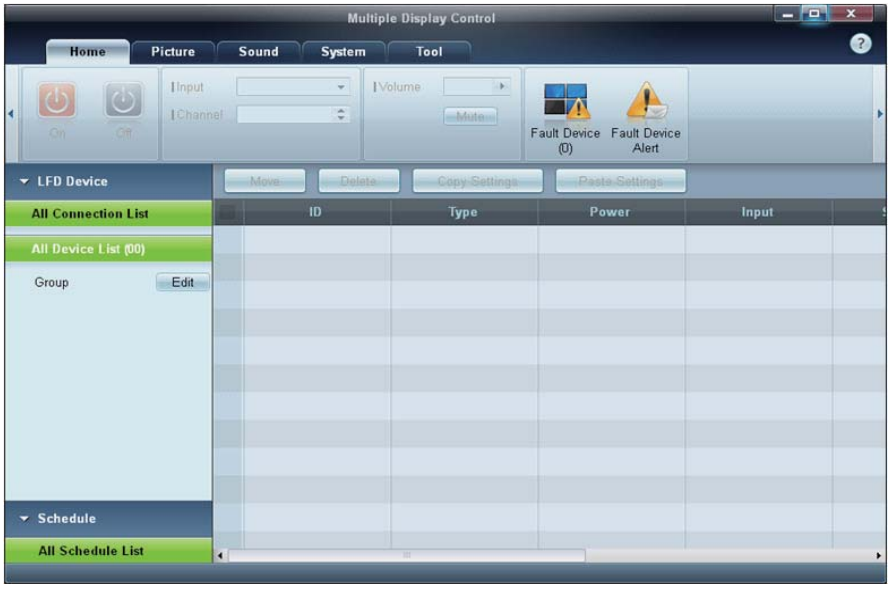


接続の管理

接続の管理には、**接続リスト**と**接続リスト変更オプション**が含まれます。

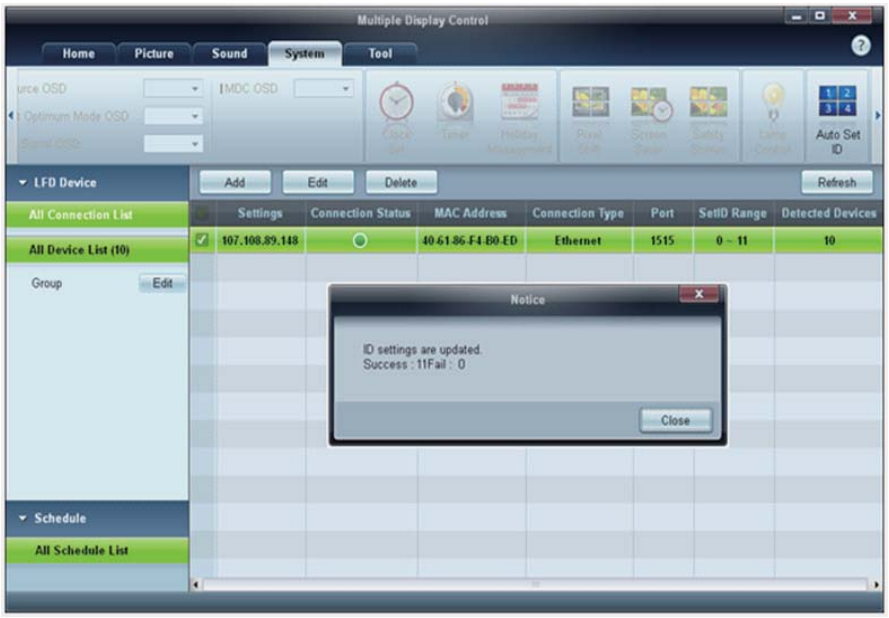
接続リスト – 接続リストには接続設定 (IP/COM、ポート番号、MAC、**Connection Type**) などの接続に関する詳細、接続状態、**Set ID Range**、および検出されたデバイスの詳細が表示されます。接続ごとに、シリアル デイジー チェーン機能で接続したデバイスを最大 100 台収容できます。接続から検出されたすべての LFD がデバイス リストに表示され、ユーザーによるグループ分けや検出されたデバイスへのコマンド送信ができます。

接続リスト変更オプション – 接続変更オプションには**Add**、**Edit**、**Delete**、および**Refresh**が含まれます。



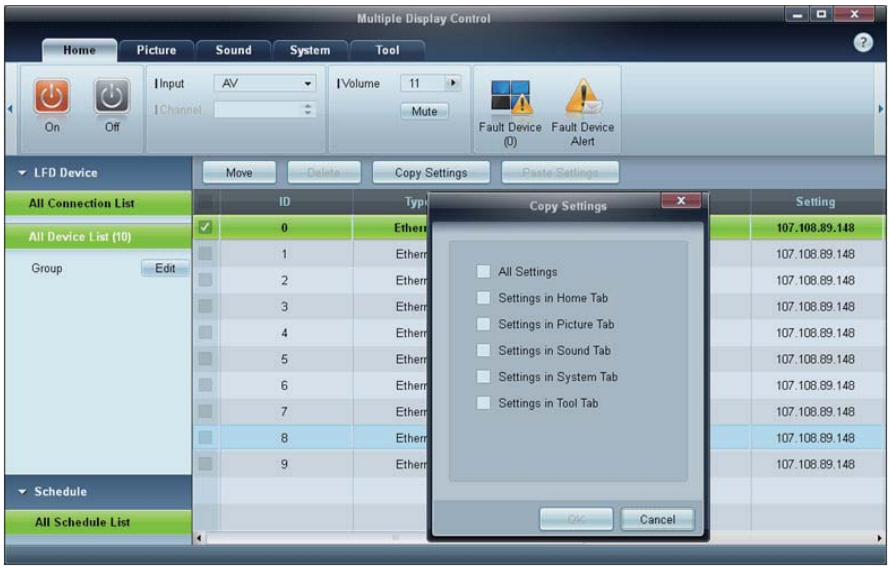
Auto Set ID

Auto Set ID機能により、選択した接続のデイジー チェーンに接続されたすべての LFD にセット ID が割り振られます。接続あたりの LFD の最大数は 100 個です。セット ID は、デイジー チェーンの並び順に 1 から 99 まで割り振られ、最後は セット ID 0 になります。



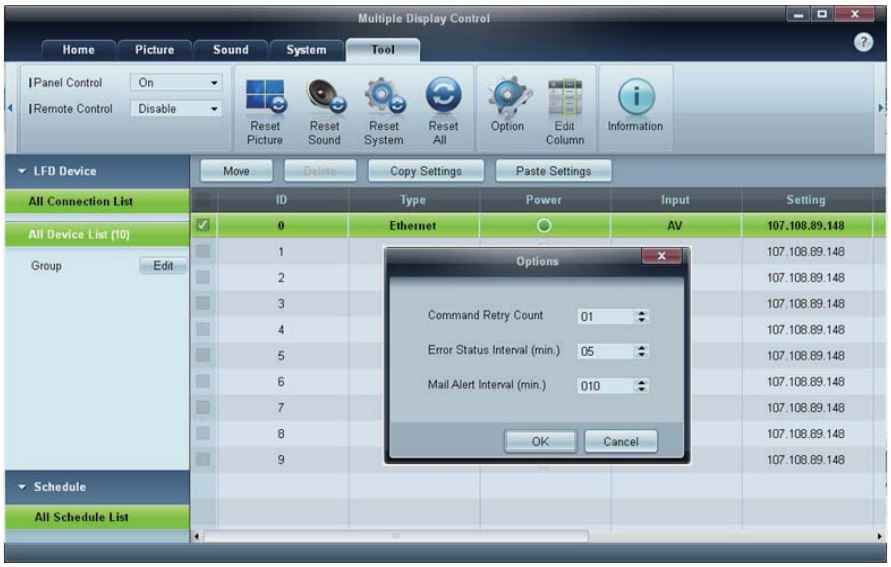
クローニング

クローニング機能を使うと、任意の LFD の設定をコピーして選択した複数の LFD に適用できます。コピー設定オプション ウィンドウを使って、クローニングする特定のタブ カテゴリまたはすべてのタブ カテゴリを選択できます。



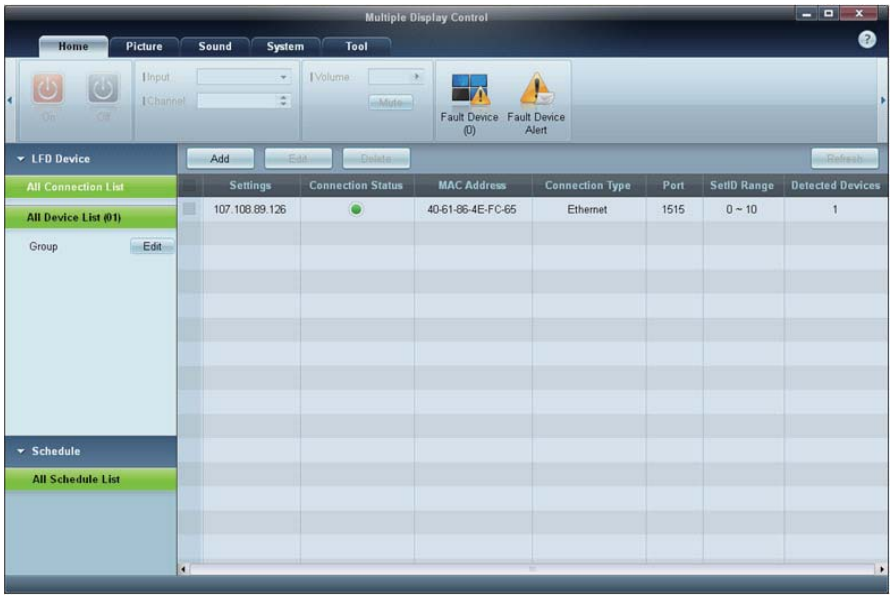
コマンドの再試行

この機能は、LFD からの応答がないか応答が破損している場合に MDC コマンドを再試行する最大数を指定するのに使用します。再試行カウント値は、MDC オプション ウィンドウから設定できます。再試行カウント値は 1～10 の間の値とし、デフォルト値は 1 になります。



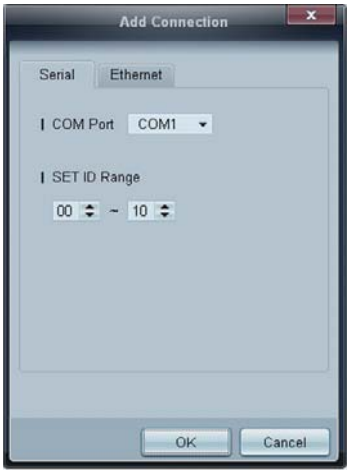
MDC を開始する

1 プログラムを起動するには、**スタート** > →プログラム > → **Samsung** → **MDC Unified** をクリックします。

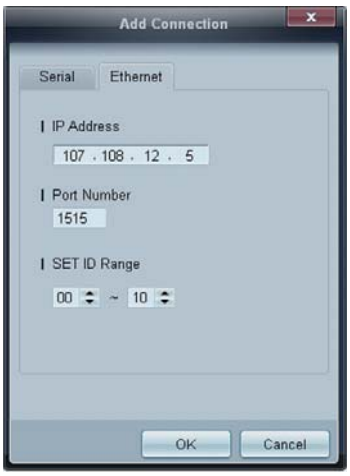


2 **Add**をクリックしてディスプレイ装置を追加します。

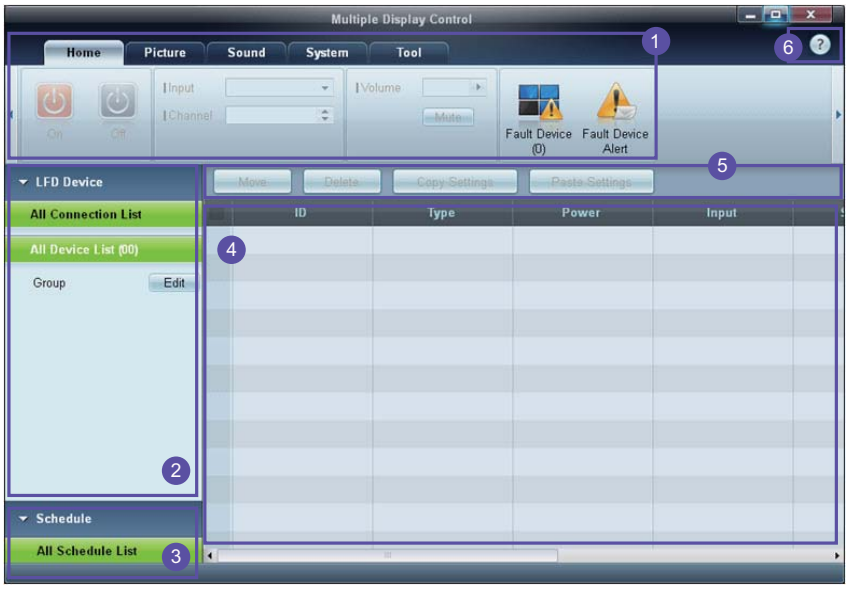
- 接続が RS232C を介して確立されている場合は、**Serial**に移動して**COM Port**を指定します。



- 接続がEthernetを介して接続されている場合は、ディスプレイ装置に関して入力した IP を入力します。



メイン画面のレイアウト



1 メニュー バー	ディスプレイ装置のステータスまたはプログラムのプロパティを変更します。
2 デバイス分類項目	接続されているデバイス装置またはデバイス グループをリスト表示します。
3 スケジュール分類項目	ディスプレイ装置のスケジュールをリスト表示します。
4 セット リスト	調整するディスプレイ装置を選択します。
5 セット リストの変更	セットを追加、編集、再グループ化、または削除します。
6 ヘルプ トピック	プログラムのヘルプ トピックを表示します。

メニュー

選択したデバイスの電源のオンまたはオフ、入力ソースまたは音量の変更ができます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Home**タブを選択します。

1 Home

項目を選択して対応する設定を変更します。

電源

- **On** : 選択したディスプレイの電源をオンにします。
- **Off** : 選択したディスプレイの電源をオフにします。

Input

- 入力ソース :入力ソースを変更します。

  - 使用できる入力ソースは接続されたディスプレイ装置のモデルによって異なります。
  - 入力ソースは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ変更できます。

- **Channel** : チャンネルを変更します。

  - TV チャンネルは上下の矢印キーで変更できます。
  - チャンネルは、入力ソースが**TV**になっている場合にのみ変更できます。
  - すでに登録されているチャンネルのみ選択できます。

2 Volume

音量の変更またはミュートは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ行えます。

Volume

- 音量はスライド バーを使って 0～100 の範囲で変更できます。
  選択したディスプレイの音量を調整します。

入力

- 選択したディスプレイの**Mute**を有効または無効にします。
  Muteがオンになっているときに**Volume**を調整すると、**Mute**は自動的に無効となります。

3 Alert

- **Fault Device**

- このメニューには、ファン エラー、温度エラー、明るさセンサー エラー、またはランプ エラーが発生しているディスプレイ装置のリストが表示されます。

  ディスプレイ装置をリストから選択します。**Repair**ボタンが有効になります。更新ボタンをクリックしてディスプレイ装置のエラー ステータスを更新します。復旧したディスプレイ装置は、**Fault Device List**から除かれます。

Fault Device Alert

- エラーが検出されたディスプレイ装置は、電子メールで報告されます。

  必要なフィールドすべてに記入します。**Test**ボタンおよび**OK**ボタンが有効になります。**Sender**情報を確認して、**Recipient**を少なくともひとつ入力してください。

画面調整

画面設定（コントラスト、明るさ等）を調整できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Picture**タブを選択します。

カスタム

項目を選択して対応する画面設定を変更します。

- 入力ソースが**PC**になっているときは、**Color**および**Tint**は使用できません。
- 入力ソースが**Video**になっているときは、**Red**、**Green**、**Blue**および**PC Screen Adjustment**は使用できません。
- **PC Source**と**Video Source**の両方が選択されているときは、**Color**、**Tint**、**Color Tone**、**Color Temp**、**Red**、**Green**、**Blue**、および**PC Screen Adjustment**は使用できません。

Contrast

- 選択したディスプレイ装置のコントラストを調整します。

Brightness

- 選択したディスプレイ装置の明るさを調整します。

Color

- 選択したディスプレイ装置の色度を調整します。

Tint (G/R)

- 選択したディスプレイ装置の色合いを調整します。

Color Tone

- 選択したディスプレイ装置の背景色を調整します。

Color Temp

- 選択したディスプレイ装置の色温度を変更します。

  Color Toneが**Off**に設定されているときには、このオプションが有効になります。

Red

- 選択したディスプレイ装置の赤色の強度をカスタマイズします。

Green

- 選択したディスプレイ装置の緑色の強度をカスタマイズします。

Blue

- 選択したディスプレイ装置の青色の強度をカスタマイズします。

オプション

Dynamic Contrast

選択したディスプレイ装置の**Dynamic Contrast**を調整します。

Gamma Control

選択したディスプレイのガンマ値を変更します。

Auto Motion Plus

このオプションは動きの多いイメージの閲覧に使用します。

- **Off** : **Auto Motion Plus**機能を無効にします。
- **Clear** : **Auto Motion Plus**のレベルを「クリア」に設定します。このモードは色彩の鮮やかなイメージの閲覧に適します。
- **Standard** : **Auto Motion Plus**のレベルを「標準」に設定します。
- **Smooth** : **Auto Motion Plus**のレベルを「スムース」に設定します。このモードはイメージのスムースな表示に適しています。
- **Custom** : 画面の残像またはちらつきのレベルをカスタマイズします。
- **Demo** : **Auto Motion Plus**の技術デモを表示します。モードを変更した場合の結果をウィンドウの左側にプレビュー表示できます。

Brightness Sensor

選択したディスプレイ装置の**Brightness Sensor**を有効または無効にします。

Brightness Sensorは、周囲の光の強さを検出して画面の明るさを自動的に調整します。

Brightness Sensorは製品のモデルによっては利用できないことがあります。

サイズ

Picture Size

選択したディスプレイ装置の画面サイズを調整します。

詳細な設定をサポートしないモードにPicture Sizeが設定されてるときは、Detail項目は無効になります。

-/+ ボタンでZoomを調整できます。

画面のポジションは、上下左右の方向ボタンで調整できます。

Detail

選択した画面サイズの詳細を確認できます。

PC Screen Adjustment

周波数調整または微調整には、CoarseまたはFineの -/+ ボタンを使用できます。

画面のポジションを調整するには、Positionの下にある 4 つのイメージのどれかをクリックします。

周波数を自動調整または微調整、もしくは画面のポジションを変更するには、Auto Adjustmentをクリックします。

音声調整

音声設定を変更できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Sound**タブを選択します。

選択したセットで**Bass**または**Treble**項目がサポートされていない場合は、その項目は無効になります。

Bass

選択したディスプレイの低音を調整します。

Treble

選択したディスプレイの高音を調整します。

Balance (L/R)

選択したディスプレイ装置の左右のスピーカーの音量を調整します。

SRS TS XT

選択したディスプレイ装置の**SRS TS XT**を有効または無効にします。

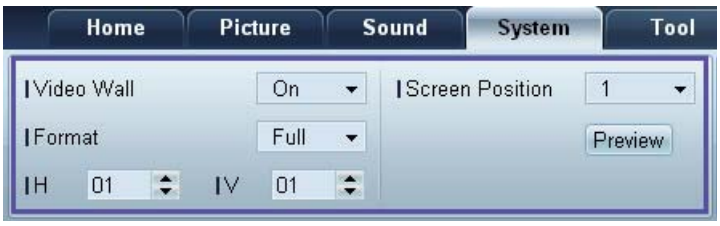
システムの設定

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**System**タブを選択します。

Video Wall

Video Wall機能は、映像全体の一部を表示するか、接続された複数のディスプレイ装置のそれぞれに同じ映像を繰り返し表示するのに使用します。

Video Wallは、各デバイスが同じグループ内にある場合にのみ有効となります。

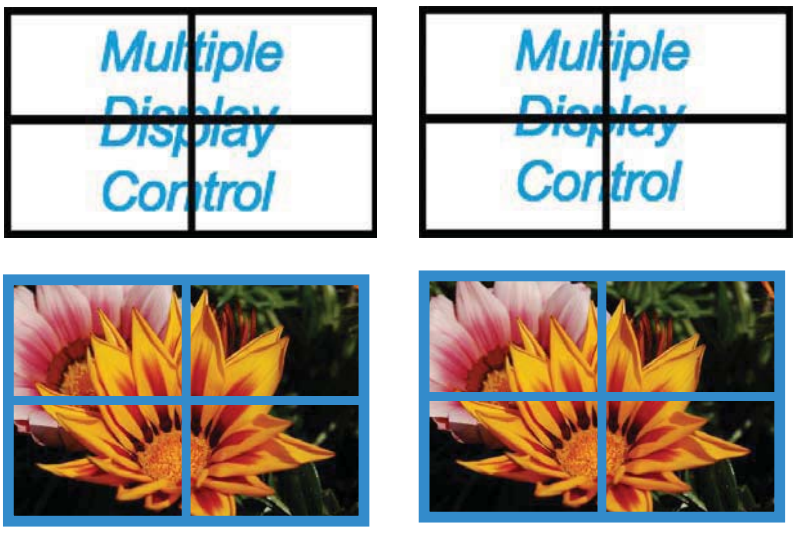


Video Wall

Video Wallを有効または無効にします。

Format

分割画面の表示方式を選択します。



Full　　Natural

H

水平方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

V

垂直方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

Screen Position

ディスプレイのレイアウトを表示 (画面ディバイダで設定) または必要に応じて変更します。

Video Wallがオンに設定されているときには、**Screen Position**と**Preview**が有効になります。

複数のセットが選択されている場合、H と V の設定が選択したセットのレイアウトに一致するときにだけ**Preview**が有効となることに注意してください。

Positionを変更するには、セットを選択して新しいポジションにドラッグします。

画面ディバイダ設定の範囲はモデルによって異なります。

PIP

PIPの調整に必要な基本情報がメニュー画面に表示されます。

- **Video Wall**が**ON**になると、**PIP**は無効となります。
- **PIP**が**ON**になると、**Picture Size**は無効となることに注意してください。

PIP Size

現在のディスプレイの**PIP Size**を表示します。

PIP Source

PIP 入力ソースを選択します。

Sound Select

プライマリまたはセカンダリ画面のどちらか一方のサウンドを選択して有効にします。

Channel

PIP Sourceが**TV**のときは、チャンネルを変更できます。

全般

User Auto Color

画面の色を自動的に調整します。

PCモードでのみ使用できます。

Auto Power

製品の電源が自動的にオンになるように設定します。

Standby Control

入力ソースが検出されなかったときは、スタンバイ モードで起動するように設定します。

ファンと温度

製品保護のためファン速度と内部温度の検出に必要な設定を行います。

Fan Control

ファン速度の設定方法を選択します。

Fan Speed

ファン速度を設定します。

Temperature

温度の範囲を指定して内部温度を検出します。

セキュリティ

Safety Lock

オンスクリーン メニューをロックします。

ロックを解除するには、**Safety Lock**を**Off**に設定します。

Button Lock

ディスプレイ装置のボタンをロックします。

ボタンのロックを解除するには、**Button Lock**を**Off**に設定します。

OSD ディスプレイ

Source OSD

Sourceが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

Not Optimum Mode OSD

非互換モードが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

No Signal OSD

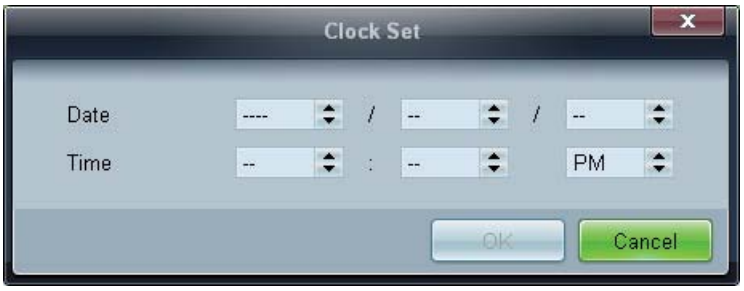
入力信号がない場合に、メッセージを表示するかどうかを選択します。

MDC OSD

MDC によって設定が変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

現在時刻

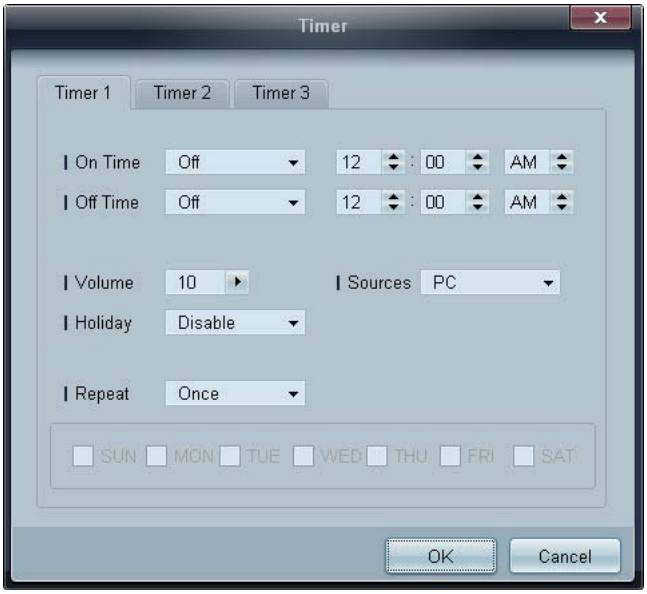
Clock Set



選択したディスプレイ装置の現在時刻を PC の設定時刻に合わせて変更します。

ディスプレイ装置に時刻が設定されていない場合は、ヌル値が表示されます。

Timer



- **On Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオンにする時刻を設定します。
- **Off Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオフにする時刻を設定します。
- **Volume** : **On Time**によりディスプレイ装置の電源がオンになったときの音量を指定します。
- **Source** : **On Time**によってディスプレイ装置の電源をオンにしたときの入力ソースを指定します。
- **Holiday** : **Holiday Management**設定を**Timer**に適用できます。
- **Repeat** : 選択した**Timer**を繰り返す周期を指定します。

- **Once** : タイマーを 1 回だけ有効にします。
- **EveryDay** : タイマーを毎日有効にします。
- **Mon~Fri** : タイマーを月～金曜日に有効にします。
- **Mon~Sat** : タイマーを土曜日と日曜日に有効にします。
- **Manual** : 曜日をカスタマイズします。

Repeatの下にある曜日を選択するためのチェックボックスは、**Manual**が選択されている場合にのみ有効となります。

Holiday Management

Holiday Managementにより、**Timer**で電源がオンになるように設定したデバイスが特定の日付にオンにならないようにできます。

Holiday Management機能は、**Timer**設定メニューで有効または無効にできます。

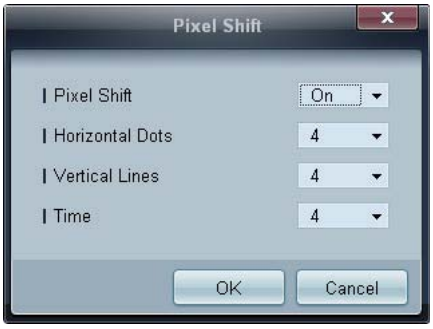
- **Add** : 祝日を指定できます:

  Holiday Managementウィンドウで**Add**ボタンをクリックします。

- **Delete** : 祝日を削除します。対応するチェックボックスにチェックマークを入れて、このボタンをクリックします。
- 祝日のリスト:これまでに追加した祝日のリストを表示します。

画面の焼き付き防止

Pixel Shift



画面の残像防止のため指定時刻にわずかに画面を動かします。

Screen Saver

この機能は選択されたディスプレイ装置の画面が長時間使われずに放置された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

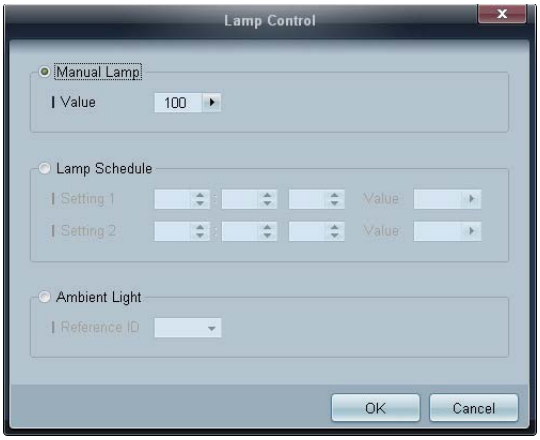
- **Interval** : **Screen Saver**を起動する間隔を指定します。
- **Mode**: **Time**設定は**Mode**ごとに変えられます。

Safety Screen

Safety Screen機能はディスプレイ装置の画面に静止画像が長時間表示された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

Lamp Control

Lamp Controlは、バックライトを調整して消費電力を抑えるのに使用されます。



選択したディスプレイ装置のバックライトを指定した時刻に自動的に調整します。

Manual Lamp Controlが調整されると、Auto Lamp Controlは自動的にOffに切り替わります。

選択したディスプレイのバックライトを手動で調整します。

Auto Lamp Controlが調整されると、Manual Lamp Controlは自動的にOffに切り替わります。

- Ambient Light : Ambient Lightは周囲の光の強さを検出して、同一のシリアル チェーンに接続されたすべての LFD について画面の明るさを自動的に調整します。

ツールの設定

1 セキュリティ

Panel Control

ディスプレイ装置の画面をオンまたはオフにします。

Remote Control

リモート コントロールを有効または無効にします。

❷ リセット

Reset Picture

画面設定をリセットします。

Reset Sound

サウンド設定をリセットします。

Reset System

システム設定をリセットします。

Reset All

画面、サウンド、およびシステム設定を同時にリセットします。

❸ Edit Column

セットのリストに表示する項目を選択します。

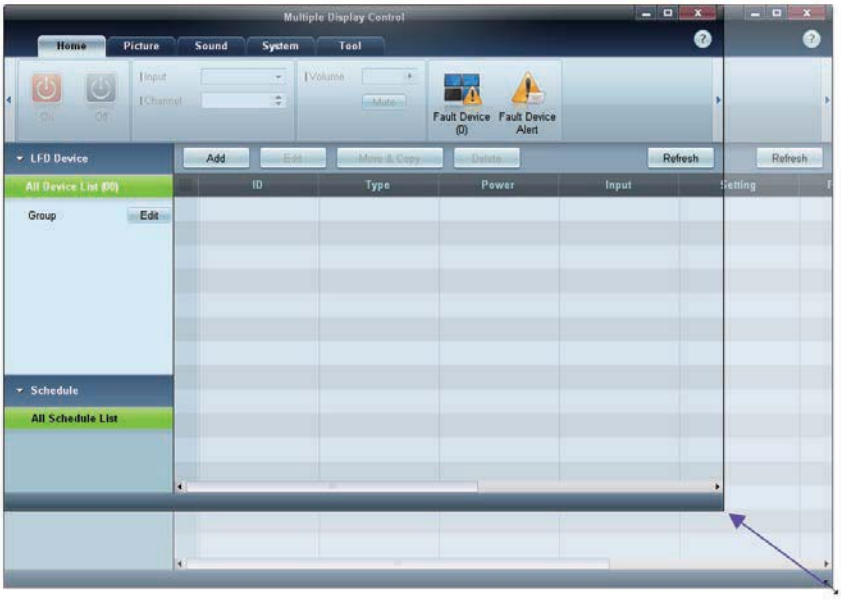
❹ Information

プログラム情報を表示します。

その他の機能

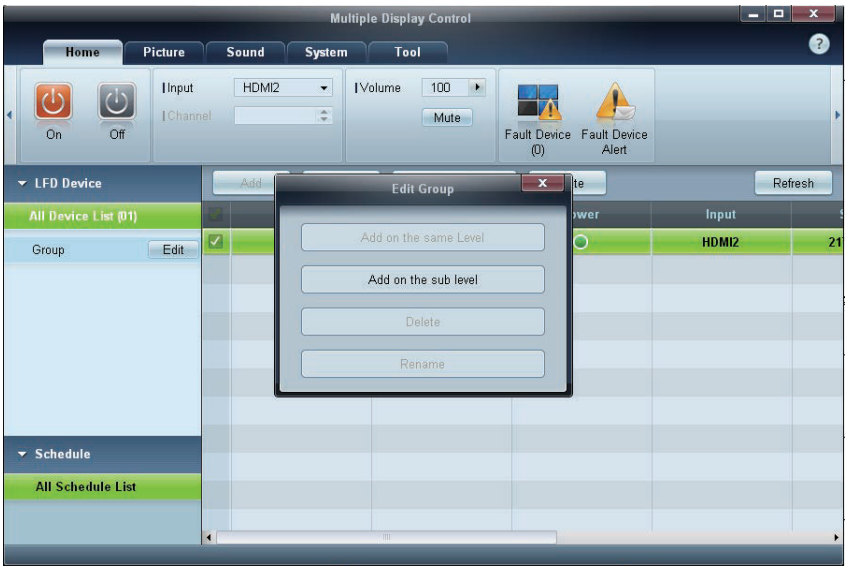
ウィンドウのリサイズ

プログラム ウィンドウの角にマウスのポインターを置きます。矢印が表示されます。矢印を動かしてプログラム ウィンドウのサイズをカスタマイズします。



グループの管理

グループの作成



グループを作成してセットのリストをグループ単位で管理します。

重複するグループ名は使用できません。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるディスプレイ装置リストのセクションを右クリックして Group>Editを選択します。

2 表示されるEdit Groupウィンドウで、Add on the sub levelまたはAdd on the same levelをクリックします。

- Add on the sub level: 選択したグループの下にサブグループを作成します。

- Add on the same level: 選択したグループと同じレベルにグループを作成します。

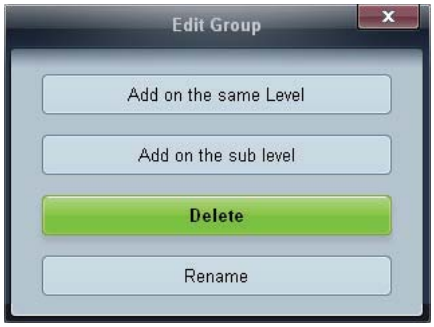
Add on the same levelボタンは、少なくとも 1 つのグループが作成されている場合に有効となります。

3 グループ名を入力します。

グループの削除

1 グループ名を選択して、Editをクリックします。

2 表示されるEdit Groupウィンドウで、Deleteをクリックします。



3 Yesをクリックします。グループが削除されます。

グループのリネーム

1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Rename**をクリックします。

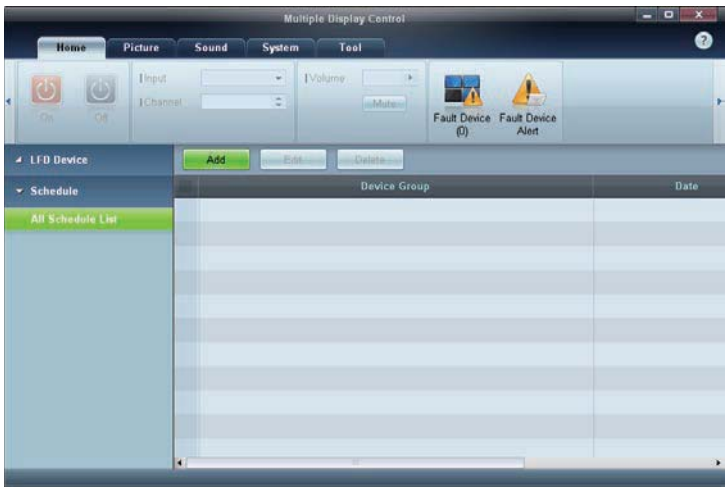
3 古いグループ名の中にカーソルが現れるので、新しいグループ名を入力します。

スケジュールの管理

スケジュールの作成

グループ単位でスケジュールを作成して登録します。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるスケジュールのセクションの**All Schedule List**をクリックします。中央の**Add**ボタンが有効になります。



2 Addボタンをクリックします。Add Scheduleウィンドウが表示されます。

3 Device Group項目の下にあるAddをクリックして、スケジュールを追加するグループを選択します。

4 Date&Time/Actionを選択してOKをクリックします。スケジュールが追加され、セット リスト ウィンドウにスケジュールのリストが表示されます。

- Device Group : グループを選択します。
- Date&Time
  - Instant Execution : 直ちにスケジュールを実行します。
  - Timer : スケジュールを実行する日付、時刻、および間隔を設定します。
- Action : 指定の時刻および間隔で起動する機能を選択します。

スケジュールの変更

スケジュールを変更するには、スケジュールを選択してEditをクリックします。

スケジュールの削除

スケジュールを削除するには、スケジュールを選択してDeleteをクリックします。

トラブルシューティング ガイド

問題		解決方法
制御したいディスプレイがシステム情報チャートに表示されません。	1.	RS232C ケーブルの接続を確認します (ケーブルが適切なシリアル ポートに正しく接続されていることを確認します)。
	2.	IDが重複する別のディスプレイが接続されていないことを確認します。IDの重複したディスプレイを接続すると、データの衝突によってディスプレイが表示されない原因となることがあります。
	3.	ディスプレイのIDが 0～99 の範囲にあることを確認します (ディスプレイのメニューで ID を変更します)。 0～99 の範囲の ID をサポートするディスプレイでは、IDは 0～99 の範囲で設定しなければなりません。
制御したいディスプレイが他の制御情報グリッドに表示されない。	ディスプレイの電源がオンになっていることを確認してください。(システム情報チャートの電源ステータスを見ます)	
	ディスプレイに接続された入力信号を選択してください。	
以下のメッセージが繰り返し表示されます。 	制御しようとするディスプレイが接続されていることを確認してください。	
On TimeまたはOff Timeが設定されているのに、別の時刻にディスプレイが交互にオンまたはオフになります。	PC の時刻を調整して、接続されたディスプレイとの間で同期してください。	
リモコンが機能しない。	リモコンは、RS-232C ケーブルが外されている場合、またはRemote Control機能がDisableのときにプログラムが正常に閉じられなかった場合に機能しなくなることがあります。これを解決するには、プログラムを再度実行してRemote ControlをEnableに設定します。	

このプログラムは、PC とディスプレイとの通信の問題、または付近にある電子機器から放出される電磁波によって誤作動する場合があります。

複数のディスプレイを使用しているときにディスプレイのプロパティを表示する方法

1. ディスプレイが選択されていないとき:デフォルト値が表示されます。
2. 1 台のディスプレイが選択されているとき:選択したディスプレイの設定が表示されます。
3. 2 台のディスプレイが (たとえばID 1、ID 3 の順で) 選択されたとき:ID 1 の設定が表示され、続いてID 3 の設定が表示されます。
4. All+Selectチェックボックスがチェックされてすべてのディスプレイが選択されたとき:デフォルトの設定が表示されます。

LCD ディスプレイの調整

入力

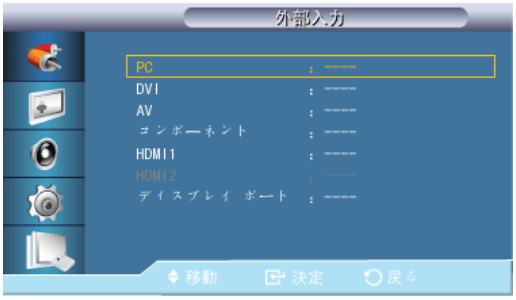
利用できるモード

- P PC / DVI / ディスプレイ ポート
- A AV
- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- MagicInfo は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス（別売り）を接続する必要があります。(米国のみ)

外部入力 P A C H M T



PC、HDMI または LCD ディスプレイに接続されているその他の外部入力信号を選択して使用します。使用する画面を選択します。

1. PC
2. DVI
3. AV
4. コンポーネント
5. HDMI1
6. HDMI2
7. ディスプレイ ポート
8. MagicInfo - ネットワーク ボックスが接続されているときに有効になります。
9. TV- TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

注意

[RGB/COMPONENT IN] ポートは、PC またはコンポーネント信号に対応しています。

ただし、実際に接続された入力信号とは異なる入力信号を選択した場合は、画面が正常に表示されない場合があります。

同時画面PAHT

注意

同時画面 機能は **画像分割** が **オン** のときには使用できません。

VCR または DVD のような外部 AV 装置を LCD ディスプレイに接続するときには、**同時画面** によってこれらの装置からのビデオを PC ビデオ信号にスーパーインポーズされる小さなウィンドウで観ることができます。(**オフ**/**オン**

注意

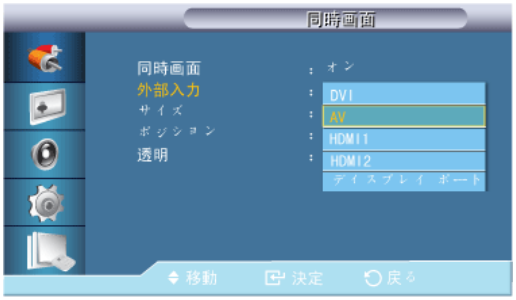
- モニターが外部ソースに切り替わると、PIP はオフになります。
- **サイズ** で 、 、 を選択した場合は、**ポジション** および **透明** は無効になります。

同時画面

同時画面 画面の**オフ**/**オン**を切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

外部入力



PIP の入力ソースを選択します。

注意

- プライマリ画面で信号が受信されないときには、PIP が無効になります。

- TV を使用するには、TV チューナー ボックス（別売り）を接続する必要があります。(米国のみ)

- PCDVI, AV, HDMI1, HDMI2, ディスプレイ ポート
- DVI :PC
- AV :PC
- HDMI :PC
- ディスプレイ ポート :PC

サイズ

PIP ウィンドウの Size（サイズ）を変更します。

ポジション

PIP ウィンドウの Position（位置）を変更します。

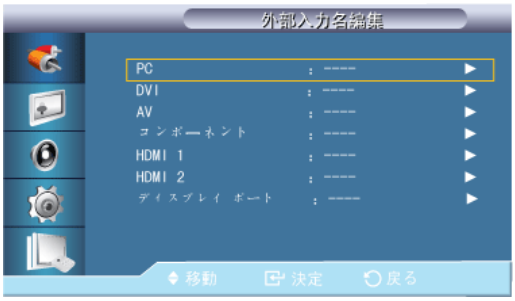
透明

PIP ウィンドウの透明度を調整します。

- 高
- 中
- 低

- **不透明**

外部入力名編集PACHMT



入力信号の選択を簡単にするために、入力ジャックに接続されている入力機器に名前を付けます。

VTR / **DVD** / **ケーブル STB** / **デジタル STB** / **衛星放送チューナー** / **AV レシーバー** / **DVD プレーヤー** / **ゲーム** /DVC / **DVD コンボ** / DVD+HDD / **PC** / **DVI PC** / **DVI 装置**

注意

- ディスプレイ デバイスは外部入力モードによって異なります。
- PC を HDMI 端子に接続しているときは、**外部入力名編集** を **PC** に設定します。その他の場合には、**外部入力名編集** を **AV** に設定します。ただし、640 x 480、720p (1280 x 720)および 1080p (1920 x 1080) は **AV** と **PC** に共通する信号であるため、**外部入力名編集** を入力信号に合わせて設定するようにしてください。
- PC が接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI PC** に設定して、接続された PC からのビデオとオーディオを楽しむことができます。
- AV 機器が接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI 装置** に設定して、接続された AV 機器からのビデオとオーディオを楽しむことができます。

ソース自動切り替え設定PACHMT

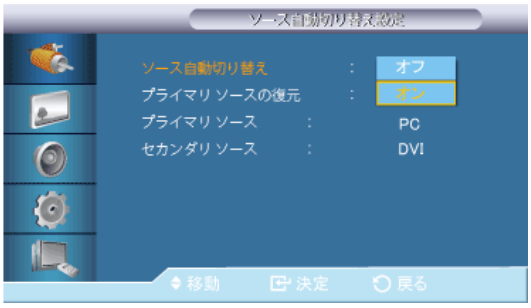
ソース自動切り替え が **オン** の状態でディスプレイをオンにしたとき、前に選択していたビデオ入力信号がない場合には、ディスプレイは自動的に別のアクティブなビデオ入力信号を探します。

注意

- TV 信号がアクティブ（TV チューナーがディスプレイに接続されている）な場合、**ソース自動切り替え** 検索機能は無効になります。ディスプレイは TV 信号のままになります。
- **ソース自動切り替え** の選択と **同時画面** 機能:**ソース自動切り替え** 選択が **オン** に設定されている場合、**同時画面** 機能は動作しません。**同時画面** 機能を動作させるには、**ソース自動切り替え** 選択を **オフ** にする必要があります。
- **ソース自動切り替え** 選択が **オン** のとき、または **プライマリ ソースの復元** が **オン** のときには、ディスプレイの省電力モードは無効になります。
- **プライマリ ソースの復元** が **オン** のときには、**プライマリ ソース** および **セカンダリ ソース** 選択のみが利用でき、お好みに応じて入れ換えて選択することができます。

  それぞれのプライマリ入力信号に対応する信号については **同時画面** > **外部入力** を参照してください。

ソース自動切り替え



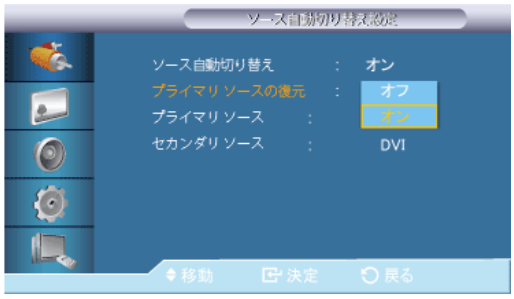
ソース自動切り替え が **オン** のときには、ディスプレイのビデオ信号が自動的にアクティブなビデオを検索します。

現在の入力信号が認識できない場合には、**プライマリ ソース** 選択が有効になります。**セカンダリ ソース** 選択は、使用できるプライマリのビデオ信号がない場合に有効になります。プライマリまたはセカンダリの信号が認識できない場合には、ディスプレイは再度検索を行い、有効なビデオ信号が見つからなければディスプレイは入力信号がないことを示すメッセージを表示します。

プライマリ ソース 選択が **すべて** に設定されているときは、ディスプレイはすべてのビデオ入力信号を 2 回連続して検索してアクティブなビデオ信号を探し、ビデオが見つからない場合には最初のビデオ信号に戻ります。

1. **オフ**
2. **オン**

プライマリ ソースの復元

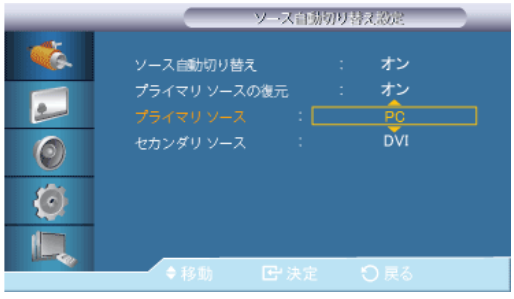


プライマリ ソースの復元 が **オン** のときには、**プライマリ ソース** および **セカンダリ ソース** のビデオ信号選択を検索してアクティブなビデオ信号を探します。

アクティブなビデオが見つかった場合には **プライマリ ソース** が選択され、ビデオが見つからない場合には **セカンダリ ソース** が選択されます。**セカンダリ ソース** にもビデオが見つからない場合には、入力信号がないことを示すメッセージが表示されます。

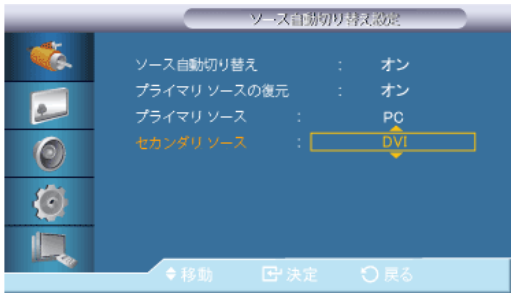
1. **オフ**
2. **オン**

プライマリ ソース



自動入力信号に **プライマリ ソース** を指定します。

セカンダリ ソース



自動入力信号に **セカンダリ ソース** を指定します。

映像 [PC / DVI / ディスプレイ ポート / MagicInfo モード]

- PC に接続されている場合は、外部入力名編集 を **DVI PC** に設定して、PC に保存されたビデオまたはオーディオ コンテンツを楽しむことができます。
- AV 機器に接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI 装置** に設定して、AV 機器に保存されたビデオまたはオーディオ コンテンツを楽しむことができます。

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

注意

- **MagicInfo** は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

モード PM

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **情報**

   正確な情報の伝達用に推奨されます（公開情報など）。

2. **広告**

   広告の表示用に推奨されます（ビデオ、屋内または屋外広告など）。

3. **ユーザー調整**

ユーザー調整PM

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

注意

- **ユーザー調整** 機能を使用して画像を調整すると、MagicBright は **ユーザー調整** モードに変わります。
- **ダイナミックコントラスト** が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **コントラスト**

   コントラストを調整します。

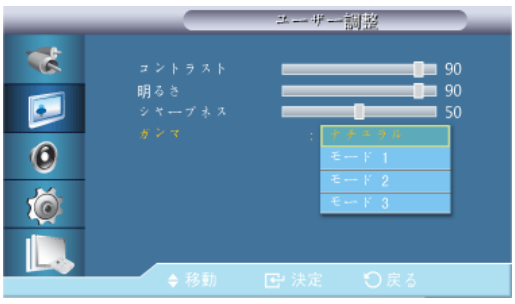
2. **明るさ**

   輝度を調整します。

3. **シャープネス**

   シャープネスを調整します。

4. **ガンマ**



   映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

   - **ナチュラル**

- **モード 1** - 映像を **ナチュラル** よりも明るく設定します。
- **モード 2** - 映像を **モード 1** よりも暗く設定します。
- **モード 3** - 明るい色と暗い色の間のコントラストを強くします。

色温度PM

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

色温度を変更できます。

1. **オフ**
2. **青色系**
3. **標準**
4. **赤色系**
5. **ユーザー調整**

注意

- [**色温度**] を [**青色系**]、[**標準**]、[**赤色系**] または [**ユーザー調整**] に設定すると、Color Temp. 機能が無効になります。
- **色温度** を **オフ** に設定している場合は、**カラー調整** 機能は無効になります。
- **色温度** 機能を使用して画像を調整すると、**モード** は **ユーザー調整** モードに変わります。

カラー調整PM

赤、緑、青のそれぞれの色バランスを調整します。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **赤**

2. **緑**

3. **青**

Color Temp. PM

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

注意

この機能は、**モード** が **ユーザー調整** に設定され、**ダイナミックコントラスト** と **色温度** が **オフ** の場合に有効になります。

画面調整P

画面調整 は、ゆらぎやちらつきのある不安定な映像の原因となるノイズを取り除くことにより、最適な映像を得るための微調整に使用します。細密調整を使用して満足な結果が得られない場合には、粗調整による調整を行ってから再度細密調整を行ってください。

注意

PC モードでのみ使用可。

粗調整

縦縞などのノイズを除去します。粗調整では、画面イメージ領域が移動する場合があります。水平コントロール メニューを使用して、中央に位置を合わせることができます。

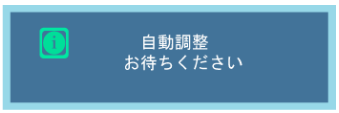
微調整

横縞などのノイズを除去します。細密調整後もノイズが残る場合は、周波数（クロック速度）の調整を行ってから、調整し直してください。

ポジション

画面の水平および垂直位置を調整します。

自動調整P



微調整、**粗調整**、**ポジション** の値は自動的に調整されます。コントロールパネルで解像度を変更すると、自動機能が実行されます。

注意

PC モードでのみ使用可。

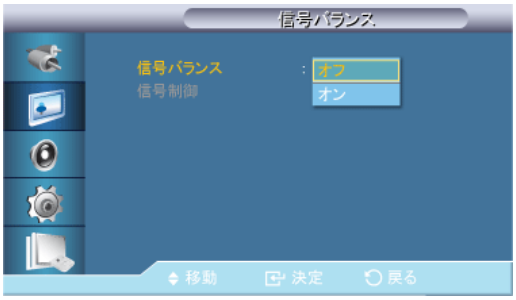
信号バランス

信号ケーブルが長いため弱くなっている RGB 信号を補強します。

注意

- **ダイナミックコントラスト** が **オン** に設定されているときには使用できません。
- PC モードでのみ使用可。

信号バランス



信号バランスは **オン** または **オフ** のいずれかを選択します。

信号制御

注意

信号バランス が **オン** になっているときに使用できます。

1. **R ゲイン**

2. **G ゲイン**

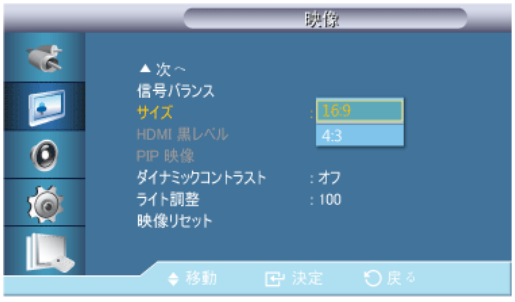
3. **B ゲイン**

4. **R オフセット**

5. **G オフセット**

6. **B オフセット**

サイズ



サイズ は切り替えられます。

1. **16:9**
2. **4:3**

PIP 映像

PIP 画面設定を調整します。

注意

- 利用できるモード:**同時画面 オン**

1. **コントラスト**

画面上の PIP ウィンドウのコントラストを調整します。

2. **明るさ**

画面上の PIP ウィンドウの明るさを調整します。

3. **シャープネス**

画面の PIP ウィンドウのシャープネスを調整します。

4. **色の濃さ**

画面の PIP ウィンドウの色を調整します。

注意

同時画面 入力信号が HDMI のときにのみ有効になります。

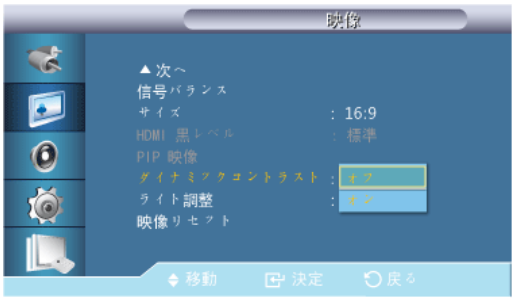
5. **色あい**

ナチュラルトーンを PIP ウィンドウに追加します。

注意

色あいスライダは、**同時画面** 入力信号が HDMI または AV の場合にのみ表示されます。

ダイナミックコントラストPM



ダイナミックコントラスト は、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

この機能は、**同時画面** または **省電力** が **オン** になっているときには無効になります。

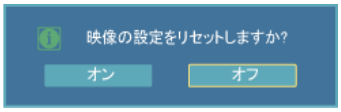
ライト調整PM

エネルギー消費を抑えるため、インバーター ランプを調整します。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

映像リセットPM



画面の設定をリセットします。

映像 [AV / HDMI /TV /コンポーネント モード]

利用できるモード

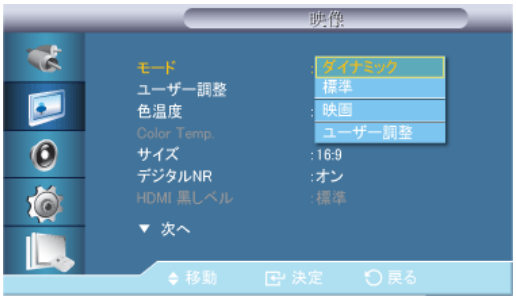
- P PC / DVI / ディスプレイ ポート
- A AV

- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- MagicInfo は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

モード A H C T



LCD ディスプレイには、(「**ダイナミック**」、「**標準**」、「**映画**」および「**ユーザー調整**」) の 4 種類の自動映像設定が工場出荷時に設定されています。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **ダイナミック**
2. **標準**
3. **映画**
4. **ユーザー調整**

ユーザー調整 A H C T

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

コントラスト

コントラストを調整します。

明るさ

輝度を調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

画像の色を調整します。

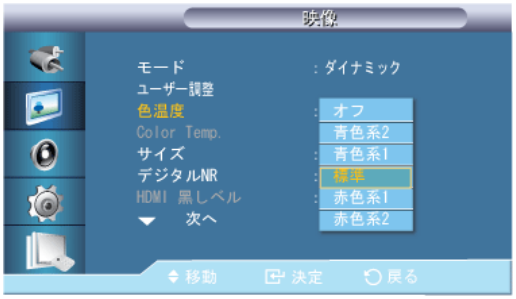
色あい

ナチュラルトーンを表示に追加します。

注意

色あいスライダは、入力信号が **HDMI** または **AV** の場合にのみ表示されます。

色温度AHCT



色温度を変更できます。個々の色成分もユーザーが調整することができます。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **オフ**
2. **青色系2**
3. **青色系1**
4. **標準**
5. **赤色系1**
6. **赤色系2**

注意

- **色温度** を **青色系2**、**青色系1**、**標準**、**赤色系1**、または **赤色系2** に設定すると、**Color Temp.** 機能が無効になります。

- **色温度** 機能を使用して画像を調整すると、**モード** は **ユーザー調整** モードに変わります。

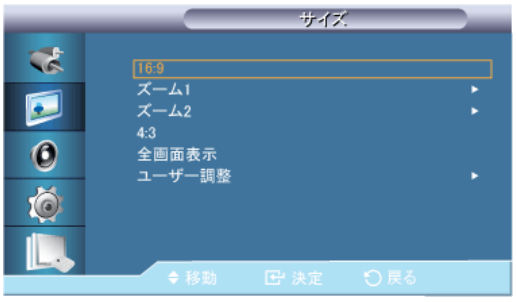
Color Temp.AHCT

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

注意

この機能は、**モード** が **ユーザー調整** に設定され、**ダイナミックコントラスト** と **色温度** が **オフ** の場合に有効になります。

サイズAHC



サイズ は切り替えられます。

PC モード (PC、HDMI [PC タイミング]): **16:9** - **4:3**

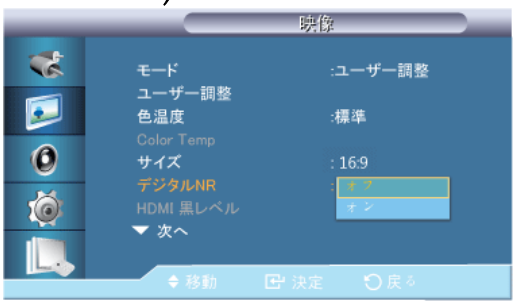
ビデオ モード (**HDMI** [ビデオ タイミング]、**AV** または **コンポーネント**):**16:9** - **ズーム 1** - **ズーム 2** - **4:3** - **全画面表示** - **ユーザー調整**

1. **16:9** - 映像を 16:9 ワイド モードに設定します。
2. **ズーム 1**- 画面上の映像のサイズを拡大します。
3. **ズーム 2**-「**ズーム 1**」を超える映像のサイズを拡大します。
4. **4:3** - 映像を 4:3 ノーマル モードに設定します。
5. **全画面表示** - HDMI 720p、1080i、1080p 信号が入力されているときは、入力される画面が中断されることなく表示されます。
6. **ユーザー調整** - 好みに合わせて解像度を変更します。

注意

- **全画面表示** 機能を使用しているときでも、仕様を外れる表示を行う一部の外部デバイスでは画面が途切れる場合があります。
- **全画面表示** は、**コンポーネント** モード では 1080i/p、**HDMI** モードでは 1080i/p または 720p の場合にのみ有効になります。
- **ズーム 1** と **ズーム 2** は、HD 信号 (1080i/p、720p または 768p) については無効になります。
- **ポジション** および **リセット** 機能は **ズーム 1** または **ズーム 2** モードでのみ使用できます。

デジタル NR (Digital Noise Reduction) AHC



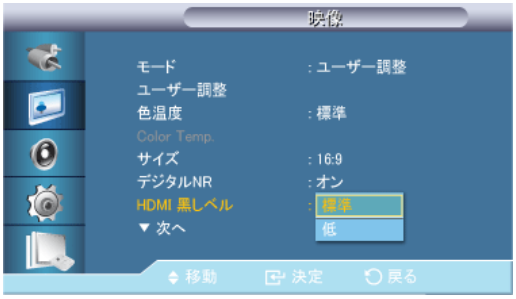
デジタル ノイズ リダクション機能の **オフ**/**オン** を切り替えます。デジタル ノイズ リダクション機能によって、よりきれいではっきりした画像をお楽しみいただけます。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

デジタル NR 機能は、解像度によっては使用できない場合があります。

HDMI 黒レベル H



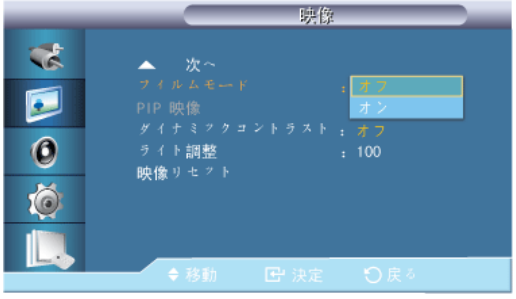
DVD またはセットトップボックスが HDMI を経由してテレビに接続されている場合、接続している外部デバイスによっては、ブラックレベルの上昇、コントラストの低下、変色などの画質の低下の原因となることがあります。この場合には、**HDMI 黒レベル** を設定してテレビの画質を調整してください。

1. **標準**
2. **低**

注意

PC と **HDMI** モードの DTV の両方で使用できるタイミングについては、**HDMI 黒レベル** が有効になります。

フィルムモード ACH



フィルムモード では、(24 フレームの) 映画で発生することのある不自然な映像のキャリブレーションを行います。

このモードを有効にすると、動く字幕が正常に表示されないことがあります。

(HDMI モードでは、入力信号がインターレース スキャンの場合にこの機能を使用できます。プログレッシブ スキャン信号では使用できません)

1. **オフ**
2. **オン**

PIP 映像AHC

同時画面 画面設定を調整します。

注意

利用できるモード:**同時画面 オン**

1. **コントラスト**

画面上の PIP ウィンドウのコントラストを調整します。

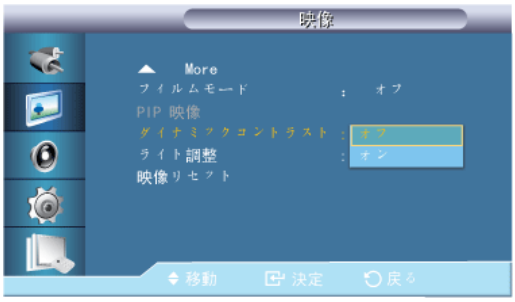
2. **明るさ**

画面上の PIP ウィンドウの明るさを調整します。

3. **シャープネス**

画面の PIP ウィンドウのシャープネスを調整します。

ダイナミックコントラストAHCT



ダイナミックコントラスト は、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

この機能は、**同時画面** または **省電力** が **オン** になっているときには無効になります。

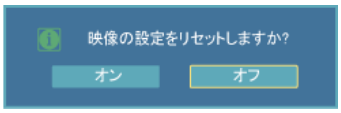
ライト調整AHCT

エネルギー消費を抑えるため、インバーター ランプを調整します。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

映像リセットAHCT



画面の設定をリセットします。

音声

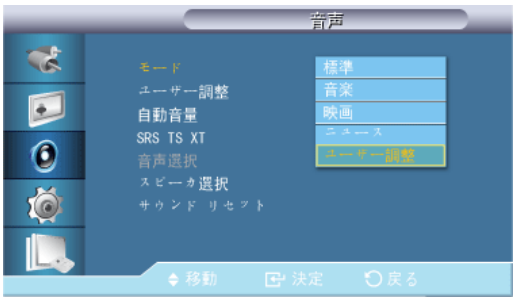
利用できるモード

- P PC / DVI / ディスプレイ ポート
- A AV
- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- MagicInfo は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

モードPACHMT



LCD ディスプレイには、Hi-Fi ステレオアンプが内蔵されています。

1. **標準**

   工場出荷時の標準設定にするには [**標準**] を選択します。

2. **音楽**

   ミュージック ビデオまたはコンサートを視聴するには［**音楽**］を選択します。

3. **映画**

   映画を観るには［**映画**］を選択します。

4. **ニュース**

   ほとんどが会話の番組（ニュースなど）を視聴するときには、**ニュース** を選択します。

5. **ユーザー調整**

   好みに合わせて設定を調整するには、**ユーザー調整** を選択します。

ユーザー調整 PACHMT

好みに合わせて音声設定を調整することができます。

注意

- 調整の際は、音量が 0 に設定されていても音声が鳴ります。
- **ユーザー調整** 機能を使用して音声の調整を行うと、**ユーザー調整** が **モード** モードになります。

低音

周波数の低い音声を強調します。

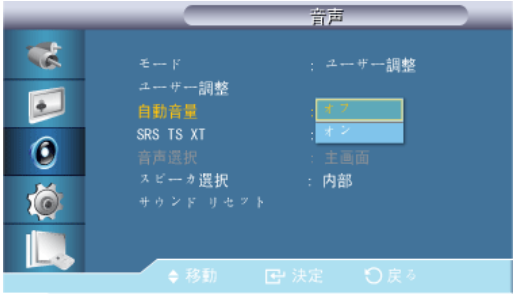
高音

周波数の高い音声を強調します。

バランス

左右のスピーカーの音声バランスを調整できます。

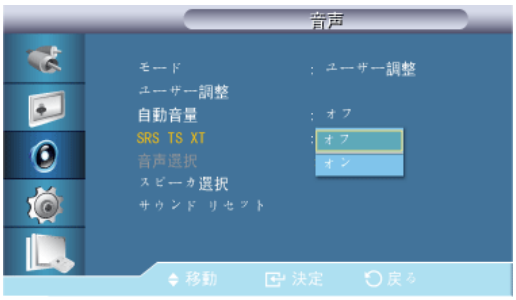
自動音量 PACHMT



放送局による音量レベルの差を小さくします。

1. **オフ**
2. **オン**

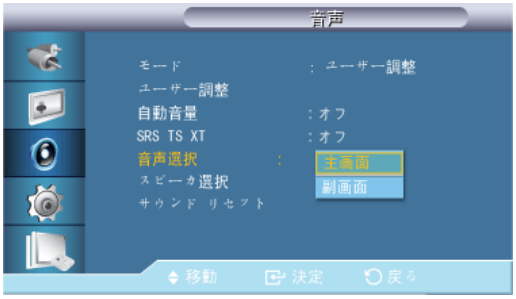
SRS TS XT PACHMT



SRS TS XT は、2 台のスピーカーで 5.1 チャンネルのコンテンツを再生するときの問題を解決する特許取得済みの SRS 技術です。TruSurround XT は、テレビの内蔵スピーカーなどのスピーカー 2 台で構成される再生システムで、素晴らしい仮想サラウンド音声環境を実現します。すべてのマルチチャンネル フォーマットと完全な互換性があります。

1. **オフ**
2. **オン**

音声選択 PAHT



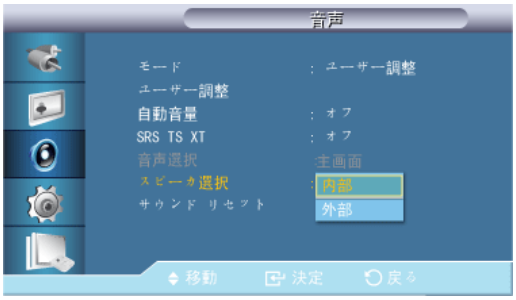
同時画面 モードで、プライマリまたはセカンダリ表示のいずれかの音声を有効にします。

注意

同時画面 が **オン** になっているときに使用できます。

1. **主画面**
2. **副画面**

スピーカ選択 PACHMT



ホーム シアターに接続してこの製品を使用する場合には、内蔵スピーカーをオフにして、ホーム シアターの（外部）スピーカーから音声が聞こえるようにします。

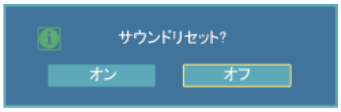
1. **内部**

   音声は **内部** スピーカと **外部** スピーカの両方から出力されますが、音量調整は **内部** スピーカからの音声に対してのみ行うことができます。

2. **外部**

   音声が **外部** スピーカからのみ出力されている場合は、音量調整は **外部** スピーカからの音声についてのみ行うことができます。

サウンド リセット P A C H M T



音声の設定をリセットします。

設定

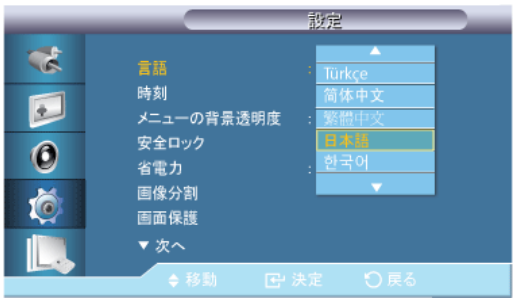
利用できるモード

- P PC / DVI / ディスプレイ ポート
- A AV
- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- MagicInfo は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

言語 P A C H M T



13 つの言語のいずれかを選択できます。

English,Deutsch,Español,Français,Italiano,Svenska,Русский
Português,Türkçe, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어

注意

言語の選択は、OSD の言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。

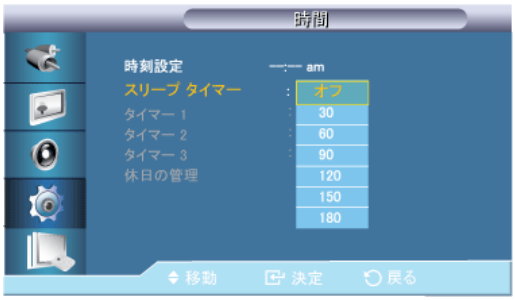
時刻 PACHMT

時刻設定、**スリープ タイマー**、**タイマー**、および **休日の管理** の 4 つの時刻設定からひとつを選択します。

時刻設定

現在の時刻を設定します。

スリープ タイマー



所定の時間が経過したら LCD ディスプレイを自動的にオフにします。

1. **オフ**
2. **30**
3. **60**
4. **90**
5. **120**
6. **150**
7. **180**

タイマー 1 / タイマー 2 / タイマー 3

LCD ディスプレイを指定した時間にオンまたはオフにするよう設定できます。

注意

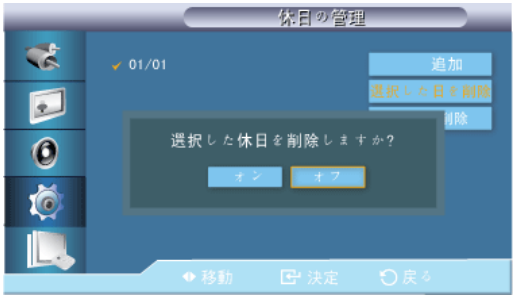
- **時刻設定** メニューを使用して時刻を設定した場合にのみ有効です。
- **手動** オプションを使用して、曜日を選択できます。
- **休日** :**適用** を選択すると、休日にはタイマーが動作しません。**適用しない** を選択すると、休日もタイマーが動作します。

休日の管理

- **追加**

休日を登録できます。

- **選択した日を削除**

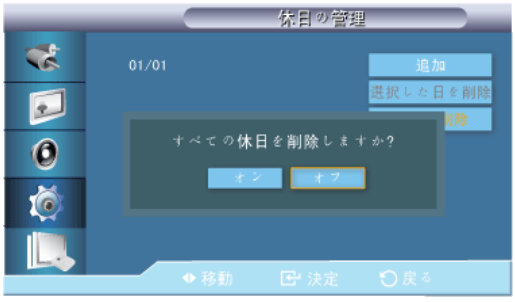


選択した休日を削除できます。

注意

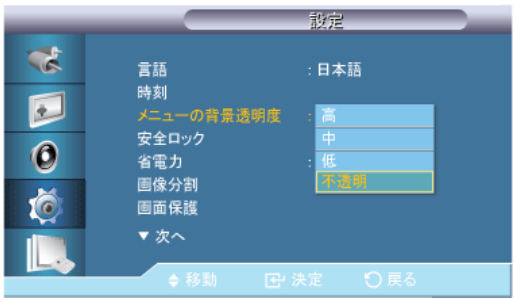
- 登録された休日が選択されている場合にのみ有効です。
- 複数の休日を選択して削除できます。

- **すべて削除**



登録された休日をすべて削除できます。

メニューの背景透明度 P A C H M T



OSD の背景の透明度を変更します。

1. **高**
2. **中**
3. **低**
4. **不透明**

安全ロック P A C H M T

PIN の変更

パスワードは変更できます。

プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「0000」です。

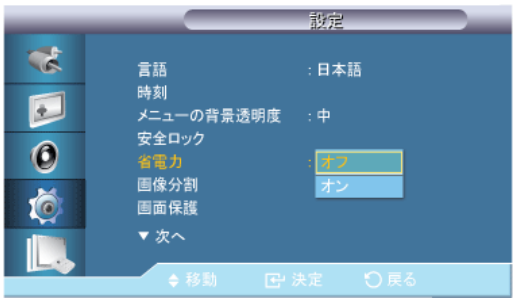
注意

パスワードを忘れた場合には、リモコンの INFO + EXIT + MUTE ボタンを押してパスワードを「0000」にリセットします。

ロック

これは、OSD をロックして設定状態を維持し、他のユーザーが現在の設定を変更できないようにする機能です。

省電力PACHMT



この機能は、省エネのためにユニットの電力消費の調整を行います。

1. **オフ**
2. **オン**

画像分割PACHMT

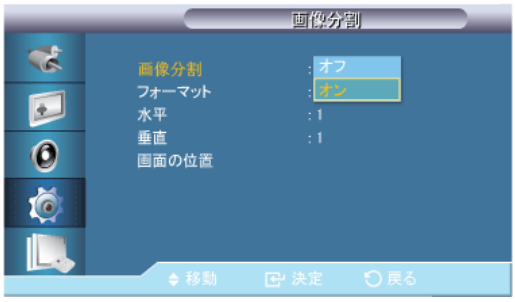
画像分割 は、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。

画像分割 がオンになっているときには、**画像分割** 画面の設定を調整することができます。

注意

- **画像分割** の実行中は、**サイズ** 機能が無効になります。
- **同時画面** が **オン** になっているときには無効になります。
- **水平** または **垂直** の分割数が 4 を超える場合には、画質の劣化を防ぐために XGA (1024 x 768) 以上の解像度を使用してください。

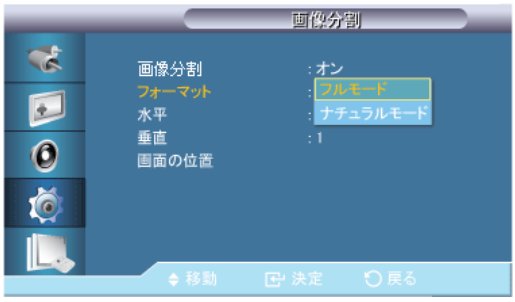
画像分割



選択したディスプレイの **画像分割** 機能のオン/オフを切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

フォーマット



分割したスクリーンを表示する **フォーマット** を選択できます。

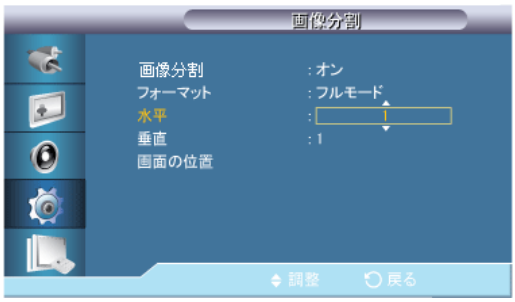
- **フルモード**

  マージン無しで全画面表示を行います。

- **ナチュラル**

  元の縦横比を維持したまま自然な映像を表示します。

水平



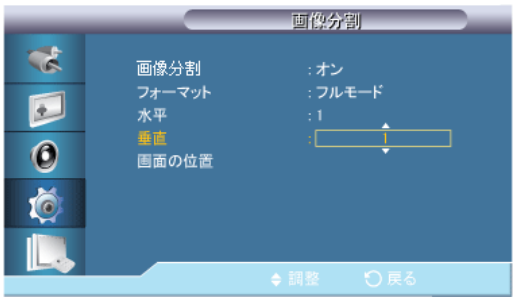
水平方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。

15 段階の調整レベル: 1~15.

注意

垂直 が **15** に設定されている場合は、**水平** の最大値は **6** になります。

垂直



垂直方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。

15 段階の調整レベル: 1~15.

注意

水平 が **15** に設定されている場合は、**垂直** の最大値は **6** になります。

画面の位置

スクリーンを複数の画像に分割できます。分割するときのレイアウトとともに、分割する画面数を選択できます。

- **画面の位置** でモードを選択します。
- ディスプレイ選択でディスプレイを選択します。
- 選択したモードの数字を押すと、配置が設定されます。
- 画面は最大 100 個の小画面に分割できます。

注意

5 台以上のディスプレイが接続されている場合には、画質の低下を防ぐために XGA (1024 x 768) 以上の解像度にすることをお勧めします。

画面保護 PACHMT

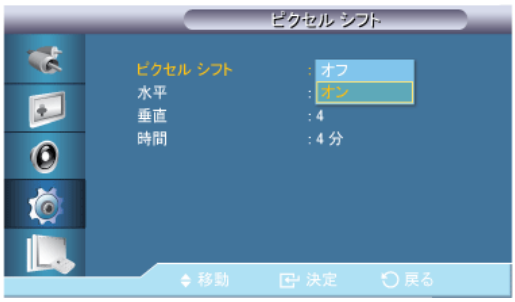
画面保護 機能は、静止画が画面上に長時間表示されたときに発生することのある残像を防止するのに使用します。

注意

この機能は、電源がオフになっているときには使用できません。

ピクセル シフト

ピクセル シフト



LCD 上のピクセルを水平または垂直方向に動かすこの機能を使用して、画面に残像が発生するのを防止することができます。

- **オフ**
- **オン**

水平

画面を水平方向に何ピクセル移動するか設定します。

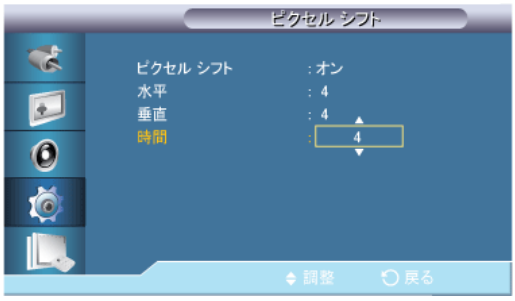
画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

垂直

画面を垂直方向に何ピクセル移動するか設定します。

画像分割は:0，1，2，3，および 4.

時間



それぞれ、水平または垂直方向の動作を実行する間隔を設定します。

タイマー

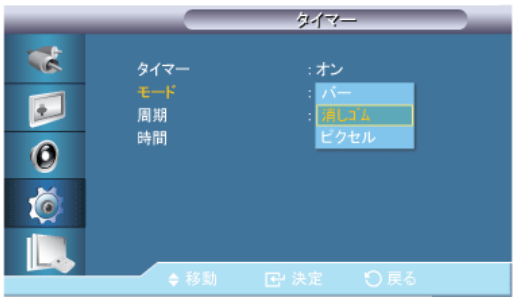
タイマー

画面焼き付き防止のタイマーを設定することができます。

残像を消去するための処理を開始する場合には、処理は設定された時間行われ、自動的に完了します。

- **オフ**
- **オン**

モード



画面保護 タイプを変更できます。

- **バー**
- **消しｺﾞﾑ**
- **ピクセル**

周期

この機能を使用して、各モード セットにおける実行間隔をタイマーに設定します。

時間

設定された間隔の範囲内で、実行する時間を指定します。

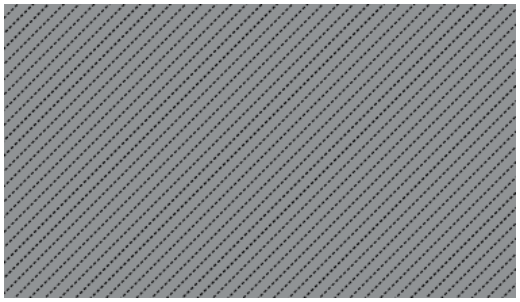
バー

この機能を使用して、長い黒白の垂直線を動かすことにより、画面上に残像が発生するのを防止します。

消しｺﾞﾑ

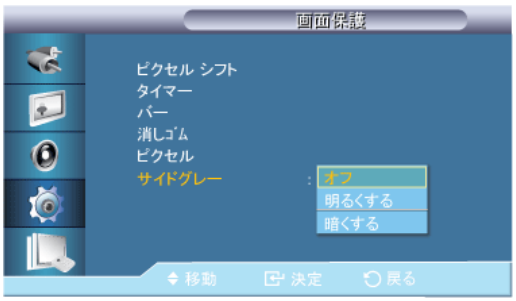
この機能は、長方形のパターンを動かすことによって画面上に残像が発生するのを防止します。

ピクセル



この機能は、画面上で多数のピクセルを動かすことによって残像を防止します。

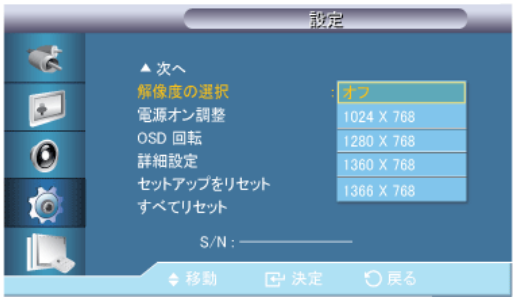
サイドグレー



画面背景のグレーの明るさを選択します。

- **オフ**
- **明るくする**
- **暗くする**

解像度の選択



コンピュータのグラフィックカードの解像度を 1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hz または 1366 x768 @ 60Hz に設定したときに画面が正常に表示されない場合は、この機能（Resolution Select）を使用して指定した解像度で画面を表示することができます。

注意

PC モードでのみ使用可。

1. **オフ**
2. **1024 x 768**
3. **1280 x 768**
4. **1360 x 768**
5. **1366 x 768**

注意

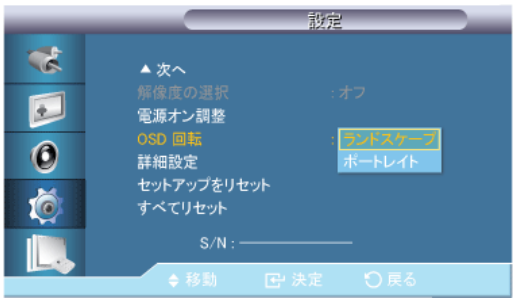
メニューの選択は、画面解像度が 1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hz または 1366 x768 @ 60Hz に設定されているときにのみ可能です。

電源オン調整 PACHMT

画面の Power On time（電源がオンになる時間）を調整します。

警告:過電圧を避けるために、Power On time（電源がオンになる時間）を長く設定します。

OSD 回転 PACHMT



OSD の回転

1. **ランドスケープ**
2. **ポートレイト**

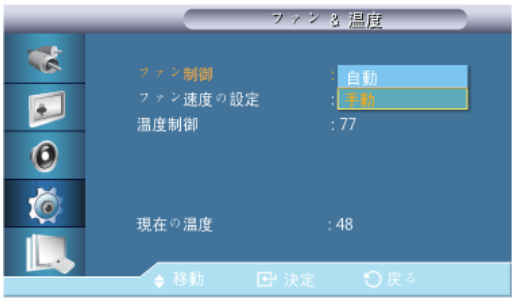
詳細設定PACHMT

さらに詳細な設定を行います。

ファン & 温度

ファンの速度と内部の温度を検知して、製品を保護します。

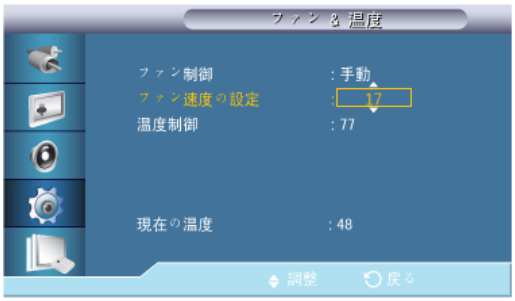
ファン制御



ファン速度設定は、自動または手動のいずれかを選択します。

- **自動**
- **手動**

ファン速度の設定

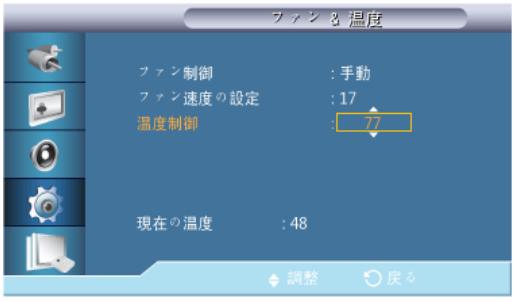


ファンの速度を 0 ～ 100 の範囲で設定します。

注意

ファン制御 が **手動** になっているときに使用できます。

温度制御



製品内部の温度を検知して、目的の温度を指定します。

製品はデフォルトでは 77°C に設定されています。

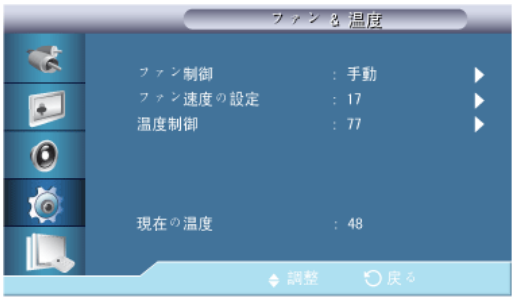
注意

- 指定した温度を超えると映像が暗くなり、温度が上がり続ける場合には製品の電源が自動的にオフになって過熱を防止します。
- この製品を使用するには、75~80°C の温度が最適です (室温 40°C の場合)。使用条件の詳細については、記載されている「仕様」を参照してください。

注意

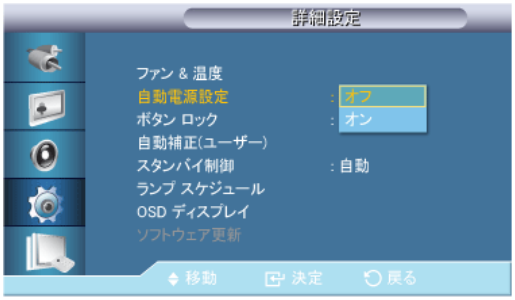
温度制御 の設定を変更するときには、**ファン制御** を **自動** に設定します。

現在の温度



製品の現在の温度を表示します。

自動電源設定



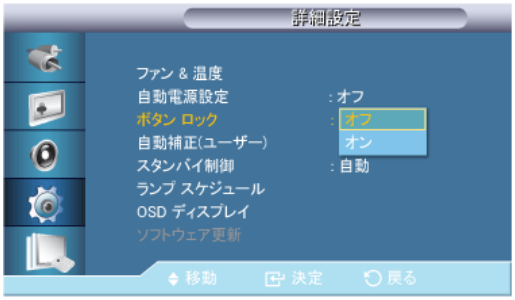
製品の **自動電源設定** の有効/無効を切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

注意

自動電源設定 が **オン** になっているときには、製品は電源に接続されると直ちにオンになります。

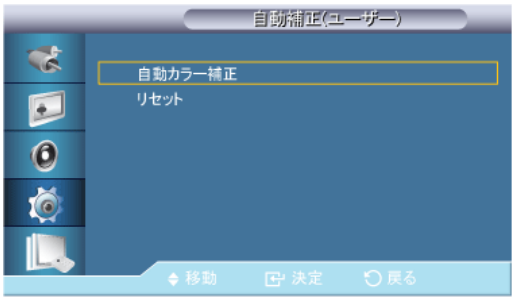
ボタン ロック



製品のモニター制御ボタンをロック/ロック解除します。

- **オフ**
- **オン**

自動補正(ユーザー)



1. **自動カラー補正**

   色を自動で調整します。

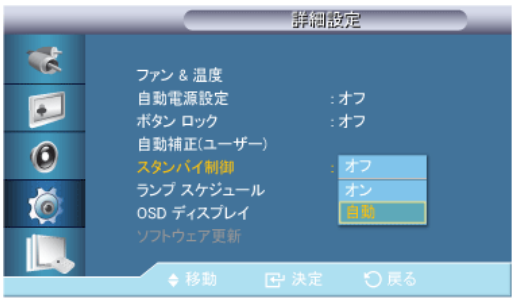
2. **リセット**

   色の設定をリセットします。

注意

PC モードでのみ有効になります。

スタンバイ制御



入力信号が検出されないときに動作するスタンバイ モードを設定します。

- **オフ**

  入力信号が検出されないときには <**信号がありません**> というメッセージが表示されます。

- **オン**

  入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。

- **自動**

  入力信号が検出されないときには、

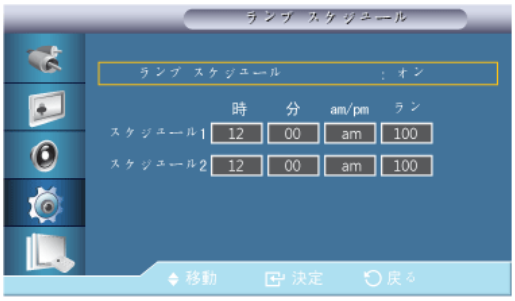
  - 外部デバイスが接続されているときには省電力モードになります。

  - 外部デバイスが接続されていないときには <**信号がありません**> というメッセージが表示されます。

注意

- PC, DVI, HDMI、または DP(ディスプレイ ポート) モードでのみ有効になります。
- **自動** は HDMI モードでは無効になります。

ランプ スケジュール



指定された時刻に、ユーザー指定の値に明るさを調整します。

OSD ディスプレイ

画面上のメニュー項目の表示/非表示を切り替えます。

ソース OSD

- **オフ**
- **オン**

非最適化 OSD モード

- **オフ**
- **オン**

OSD 信号なし

- **オフ**
- **オン**

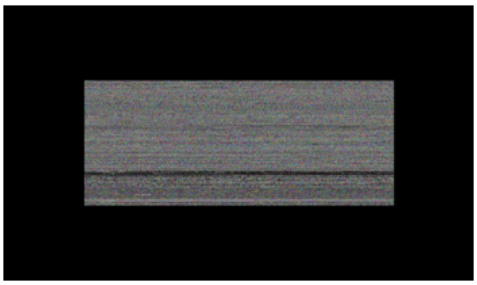
MDC OSD

- **オフ**
- **オン**

ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新を行います。

1. DVI または HDMI などのデジタル信号を使用して製品をコンピュータに接続します。SW コードから変換された BMP 画像ファイルをクリックします。製品の画面に下に示すような画像が表示されます。
2. ソフトウェア コードが変換された BMP 画像が画面に表示されている間に、[**ソフトウェア更新**] を選択します。



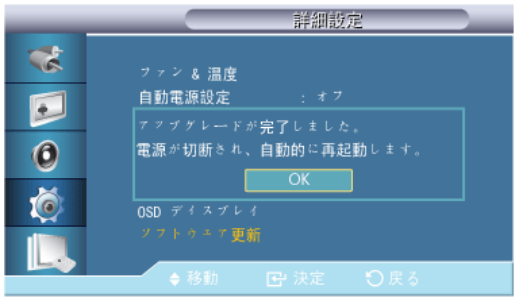
注意

複数の BMP 画像がある場合は、スライドショーを使用して画面に表示されます。

- スライドショーでの BMP 画像の再生間隔を 1 秒に設定することをお勧めします。他の再生間隔では、画像を正常に抽出できないことがあります。
- 別の画像（マウス ポインタなど）が重なっている場合は、BMP 画像を正常に抽出できないことがあります。

3. 現在のソフトウェア バージョンよりも新しいバージョンが検出された場合は、現在のソフトウェアをアップグレードするかどうか確認を求められます。<**オン**> を選択した場合は、アップグレードが実行されます。

4. ソフトウェア アップグレードの完了後、製品の電源が自動的にオフになってから、オンになります。



注意

- これは、**DVI**、**HDMI1** または **HDMI2** モードなどのデジタル信号の場合にのみ機能します。(入力解像度はパネル解像度と同じにする必要があります。)
- **HDMI1** および **HDMI2** モードでは、PC と TV の両方で使用されるタイミング値は、**外部入力名編集** が **PC** または **DVI PC** に設定されている場合にのみサポートされます。
- これは、**サイズ** が **16:9** に設定されている場合にのみサポートされます。

セットアップをリセット PACHMT

すべての設定値をリセットします。

すべてリセット PACHMT

ディスプレイのすべての設定をリセットします。

マルチコソトロール

利用できるモード

- P PC / DVI / ディスプレイ ポート
- A AV
- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- **MagicInfo** は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

マルチコントロール PACHMT

SET に個別の ID を割り当てます。

- **ID 設定**

  SET に固有の ID を割り当てます。

- **ID 入力**

  SET ごとに送信機の機能を選択します。送信機設定に対応する ID を持つ SET のみが有効になります。

- **MDC 接続**

  MDC 入力を受信するポートを選択します。

  - **RS232C MDC** :RS232C MDC ケーブルを経由して MDC と通信します。
  - **RJ45 MDC** :RJ45 MDC ケーブルを経由して MDC と通信します。

- **ネットワーク設定**

  - **IP 設定** :**手動**, **自動**
  - **IP アドレス** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**IP アドレス** を手動で入力します。
  - **サブネット マスク** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**サブネット マスク** を手動で入力します。
  - **ゲートウェイ** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**ゲートウェイ** を手動で入力します。

MagicInfo

利用できるモード

- **P** PC / DVI / ディスプレイ ポート
- **A** AV

- C コンポーネント
- H HDMI
- M MagicInfo
- T TV

注意

- MagicInfo は、ネットワーク ボックス(別売り)が接続されているときにのみ有効にすることができます。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。(米国のみ)

注意

- リモコンを使用して、MagicInfo を選択することができます。ただし MagicInfo を十分に活用するには、別売りの USB キーボードを使用することをお勧めします。
- Device モードの MagicInfo では、外部デバイスを起動中に移動するとエラーの原因となる場合があります。外部デバイスの設定は、LCD ディスプレイがオンになっているときにのみ行います。
- ネットワークに使用されている LAN ケーブル (例:ビデオ表示) を外さないでください。 外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。ケーブルを外したら、システムを再起動してください。
- USB 機器に使用されている LAN ケーブル (例: ビデオ表示) を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。
- 他の入力信号に切り替えるには、MagicInfo の SOURCE ボタンを押します。
- プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「000000」です。
- サーバー プログラムの Power-On オプションは、LCD ディスプレイの電源が完全にオフになっている場合にのみ機能します。

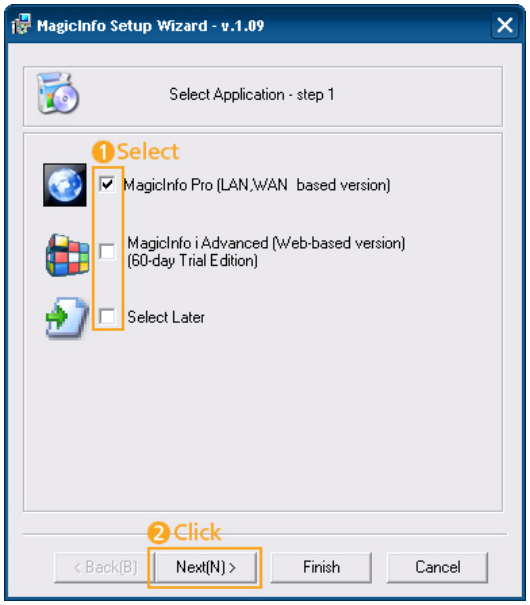
  LCD ディスプレイのシステムエラーの原因となる場合がありますので、LCD ディスプレイの終了中に Power-On オプションを使用しないようにしてください。
- MagicInfo を MagicInfo Server プログラムとともに使用するとき:Network モードを実行します。
- デバイスが LCD ディスプレイに直接接続されているときに MagicInfo を使用している場合:Device モードを実行します。
- ESC を押して、MagicInfo ウィンドウ画面に直接移動します。
- Windows の画面で MagicInfo を設定するには、キーボードとマウスが必要になります。
- Windows で MagicInfo を設定する方法については、MagicInfo Server のヘルプを参照してください。

  操作中は、AC 電源をオフにしないことを強く推奨します。
- ピボット機能のある LCD ディスプレイでは、透明チッカーはサポートされていません。

- ピボット機能のある LCD ディスプレイでは、720 x 480 (SD) までの動画の画面解像度がサポートされています。
- ドライブ D: には、**EWF** は適用されません。
- **EWF** が **Enable** 状態のときに変更された設定内容を保存するには、その内容を **Commit** する必要があります。
- **Disable**、**Enable** または **Commit** を選択すると、システムが再起動します。

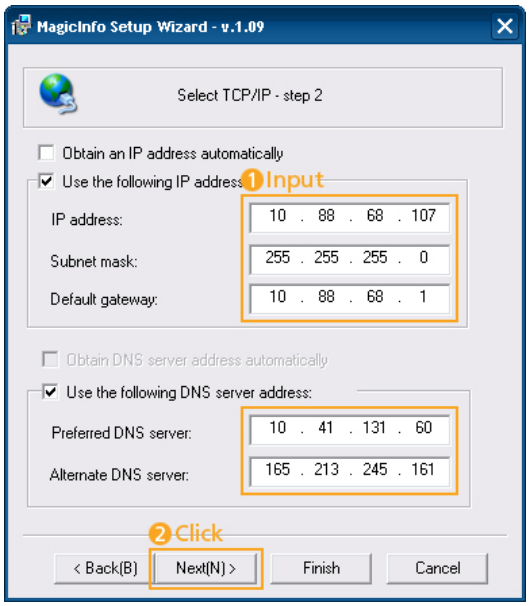
MagicInfo

1. Select Application - step 1



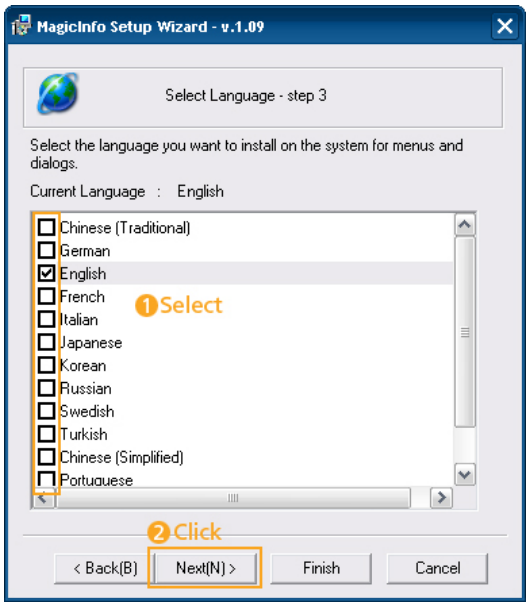
Windows を軌道したときにコンピュータで実行するアプリケーションを選択できます。

2. Select TCP/IP - step 2


MagicInfo Setup Wizard - v.1.09
Select TCP/IP - step 2
Obtain an IP address automatically
Use the following IP address:
1 Input
IP address: 10 . 88 . 68 . 107
Subnet mask: 255 . 255 . 255 . 0
Default gateway: 10 . 88 . 68 . 1
Obtain DNS server address automatically
Use the following DNS server address:
Preferred DNS server: 10 . 41 . 131 . 60
Alternate DNS server: 165 . 213 . 245 . 161
2 Click
< Back(B)
Next(N) >
Finish
Cancel

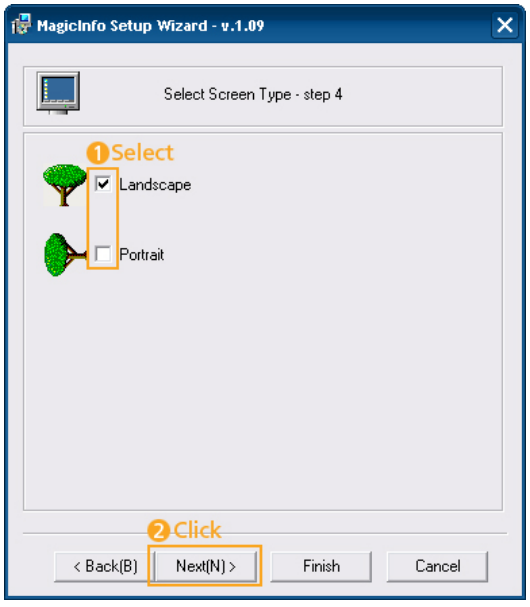
MagicInfo Setup Wizard の step 2 では、TCP/IP の設定を行うためにデスクトップのネットワーク設定に移動する必要はありません。MagicInfo のインストールの step 2 のみを行います。

3. Select Language - step 3



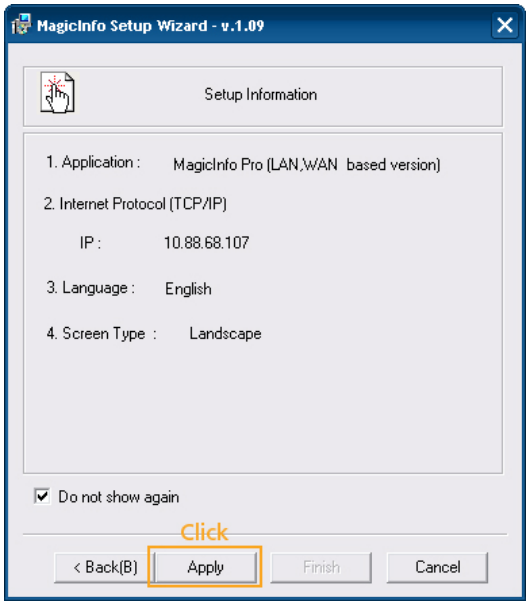
複数の言語を使用するときには、使用する言語を選択することができます。

4. Select Screen Type - step 4



デバイスに適用する回転のタイプを選択できます。

5. Setup Information



ユーザーが選択した設定を表示します。

注意

Magicinfo アイコンが通知領域に表示されない場合には、Windows デスクトップで **Magicinfo** アイコンをダブルクリックしてください。アイコンが表示されます。

トラブルシューティング

セルフテスト機能チェック

注意

お問い合わせの前に、以下の項目についてチェックしてください。問題が解決しない場合には、お客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

セルフテスト機能チェック

1. コンピュータと LCD ディスプレイの両方をオフにします。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを取り外します。
3. LCD ディスプレイをオンにします。

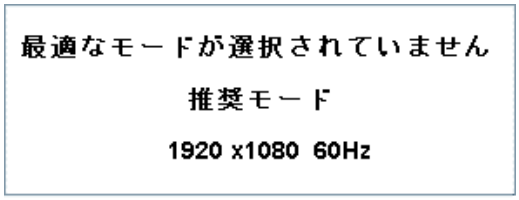
   ビデオ信号が検出されない場合でも LCD ディスプレイが正常に動作しているときには、下記の図（「**信号がありません**」）が黒色の背景で表示されます。自己テスト モードでは、LED 電源インジケータは緑色のままで、画像が画面内を動き回ります。

4. LCD ディスプレイをオフにして、ビデオ ケーブルを接続しなおします。次にコンピュータと LCD ディスプレイの両方をオンにします。

前の手順を行った後でも LCD ディスプレイ画面に何も映らない場合は、ビデオ コントローラおよびコンピュータ システムをチェックしてください。LCD ディスプレイは正常に動作しています。

警告メッセージ

画面は 1920 x 1080 の解像度でも表示することができます。 ただし、「画面の解像度を変更するか、現在のモードのままにすることができます」というメッセージが短時間表示されます。周波数が 85Hz を越える場合には、LCD ディスプレイでは 85Hz を越える周波数をサポートしていないため、黒色の画面が表示されます。



注意

LCD ディスプレイがサポートしている解像度または周波数については、仕様 > プリセット タイミング モードを参照してください。

メンテナンスと清掃

1) LCD ディスプレイ筐体のメンテナンス

電源コードを抜いてから、柔らかい布で拭き取ります。

- ベンゼン、シンナーまたはその他の引火性物質を使用しないでください。

2) フラットパネルディスプレイ画面のメンテナンス

柔らかい布（綿ネル）で拭き取ります。

- アセトン、ベンゼンまたはシンナーは使用してはなりません。

  (スクリーン表面の傷または劣化の原因となることがあります)

- これらの物質を使用したことによって発生した損害は、すべてユーザーの責任となります。

症状と推奨される措置

注意

LCD ディスプレイは、コンピュータから受信した視覚信号を再生します。したがって、コンピュータまたはビデオカードに問題がある場合には、色彩の異常、ノイズなどのトラブルが発生することがあります。この場合には、まず問題の原因をチェックしてから、お客様相談ダイヤルまたは販売店にお問い合わせください。

1. 電源コードおよびビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されているかどうかをチェックします。

2. 起動時にコンピュータからビープ音が 3 回聞こえるかチェックします。

   (この場合にはお問い合わせください)

3. ビデオカードを自分でインストールするか PC を組み立てた場合には、アダプタ（ビデオ）がインストールされているかどうか確認します。

4. ビデオ画面のスキャン速度が 50～ 85Hz の範囲内にあるかどうかチェックします。

   (最大解像度を使用しているときは、60 Hz を超えてはなりません)

5. アダプタ（ビデオ）ドライバのインストールに問題がある場合には、コンピュータをセーフ モードで起動して、[Control Panel（コントロール パネル)] -> [System（システム)] -> [Device Manger（デバイス マネージャ)] でディスプレイ アダプタを削除して、コンピュータを再起動してアダプタ（ビデオ）ドライバを再インストールします。

チェックリスト

注意

- 以下の表は、発生する可能性のある問題とその解決方法を示しています。お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、お客様相談窓口にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。

- ネットワークについての詳しい情報は、MagicInfo のトラブルシューティングのセクションを参照してください。

インストールに関する問題

注意

LCD ディスプレイのインストールに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: LCD ディスプレイの画面がちらつく。

A: コンピュータと LCD ディスプレイとの間を接続している信号ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。

(コンピュータの接続を参照)

画面に関する問題

注意

LCD ディスプレイの画面に関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: 画面が空白になり、電源インジケータがオフになる。

A: 電源コードをしっかりと接続してから LCD ディスプレイをオンにします。

(コンピュータの接続を参照)

Q: "**信号がありません**」というメッセージ。

A: PC またはビデオ ソースに信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。

(コンピュータの接続を参照)

A: PC またはビデオ ソースがオンになっていることを確認します。

Q: "**最適なモードが選択されていません**」というメッセージ。

A: ビデオ アダプタの最大解像度と周波数を確認します。

A: プリセット タイミング モードのチャートに記載されているデータとこれらの値を比較します。

Q: 映像が縦に流れる。

A: 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。必要に応じて再度接続します。

(コンピュータの接続を参照)

Q: 画像がはっきりしない。画像がぼやける。

A: 微調整 の **粗調整** および **微調整** 調整を実行します。

A: すべてのアクセサリ（ビデオ拡張ケーブルなど）を取り外してから再度オンにします。

A: 解像度と周波数を推奨の範囲に設定します。

Q: 画像が安定せず、揺れる。

A: コンピュータのビデオ カードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合に

は、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。

Q: 映像にゴーストが発生する。

A: コンピュータのビデオ カードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合には、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。

Q: 映像が明るすぎる、または暗すぎる。

A: **明るさ** と **コントラスト** を調整します。

(**明るさ、コントラスト** を参照してください)

Q: 画面の色が正しくない。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 暗い影によってカラー画像が歪む。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 白色が正しく表示されません。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 電源インジケータが点滅する。

A: LCD ディスプレイが OSD メモリに変更された設定を保存しています。

Q: 画面が点滅し、電源インジケータが 0.5 ～ 1 秒間隔で点滅します。

A: LCD ディスプレイが電源管理システムを使用しています。キーボードのいずれかのキーを押します。

音声に関する問題

注意

音声信号に関する問題とその解決方法を以下に示します。

Q: 音声が聞こえない。

A: LCD ディスプレイの音声入力ポートとサウンドカードの音声出力ポートにオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

(コンピュータの接続を参照)

A: 音量レベルをチェックします。

Q: 音量が低すぎる。

A: 音量レベルをチェックします。

A: 音量を最大に調整しても音が小さすぎる場合には、コンピュータのサウンドカードまたはソフトウェアプログラムの音量コントロールをチェックします。

Q: 音量が大きすぎるか小さすぎる。

A: **高音** および **低音** を適切なレベルに調整します。

リモコンに関する問題

注意

リモコンに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: リモコンのボタンが応答しない。

A: バッテリの極性 (+/-) を確認します。

A: バッテリが消耗していないかチェックします。

A: 電源がオンになっているかどうかをチェックします。

A: 電源コードがしっかりと接続されているか確認します。

A: 付近に特殊な蛍光灯またはネオン ランプがないかチェックします。

Q & A

Q: 周波数の変更方法は?

A: 周波数は、ビデオ カードの再設定によって変更することができます。

注意

ビデオ カードでサポートされている周波数は、使用しているドライバのバージョンによって異なることにご注意ください。（詳細はコンピュータまたはビデオカードのマニュアルを参照してください）

Q: 解像度の変更方法は?

A: Windows XP:

[Control Panel (コントロール パネル)] → [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] で解像度を設定します。

A: Windows ME/2000:

[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] で解像度を設定します。

* 詳細についてはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。

Q: 省電力機能の設定方法は?

A: Windows XP:

[コントロール パネル] → [デスクトップの表示とテーマ] → [画面] → [スクリーン セーバー] で、省電力機能を有効にします。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

A: Windows ME/2000:

コントロール パネル → 画面 → スクリーンセイバー。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

Q: 筐体/LCD パネルをきれいにしたいのですが?

A: 電源コードを抜き、LCD ディスプレイを柔らかい布で洗剤また真水を使って清掃します。

洗剤が残ったままにしたり、筐体を傷つけないようにしてください。水が LCD ディスプレイの中に入らないようにしてください。

注意

お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、お客様相談窓口にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。

仕様

一般情報

一般情報

モデル名	400MX-3 , 460MX-3, 400FP-3, 460FP-3

LCD パネル

サイズ	400MX-3, 400FP-3	40.0 インチ / 101 cm
	460MX-3, 460FP-3	46.0 インチ / 116 cm
表示範囲	400MX-3, 400FP-3	885.6 mm (H) x 498.15 mm (V)
	460MX-3, 460FP-3	1018.08 mm (H) x 572.67 mm (V)

同期

水平	30～ 81 kHz
垂直	56~85 Hz

表示色

1670万色

解像度

最適解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz

最大ピクセル クロック

148.5MHz （アナログ、デジタル）

電源

この製品は 100～ 240 V の電源に対応しています。

標準電圧は国によって異なる場合があるため、製品背面のラベルを確認してください。

信号コネクタ

D-sub(Component), DVI-D In, VCR, HDMI 1/2, RS232C In/Out, DP, DC Out, Stereo Audio In/Out, Audio In(L/R), RJ45, (RS232C, USB, LAN, D-sub out, HDMI out, Audio out → ネットワーク ボックスにスライド)

寸法 (W x H x D) / 重量

400MX-3, 400FP-3	971.0 mm x 641.5 mm x 311.0 mm (スタンドを含む)
	971.0 mm x 582.0 mm x 119.0 mm (スタンドを除く)

寸法 (W x H x D) / 重量

	21.6 Kg (ネットワーク ボックスあり)
	19.3 Kg (ネットワーク ボックスなし)
460MX-3, 460FP-3	1102.0 mm x 719.0 mm x 311.0 mm (スタンドを含む)
	1102.0 mm x 658.0 mm x 125.5 mm (スタンドを除く)
	25.1 Kg (ネットワーク ボックスあり)
	22.8 Kg (ネットワーク ボックスなし)

VESA 取り付けインターフェイス

600.0 mm x 400.0 mm

環境条件

動作時 (ネットワーク ボックスあり)	温度:10˚～40˚C (50˚～104˚F)
	湿度:10～80 %、結露しないこと
動作時 (ネットワーク ボックスなし)	温度:0˚～40˚C (32˚～104˚F)
	湿度:10～80 %、結露しないこと
記録装置(梱包保存時)	温度:-20˚～45˚C (-4˚～113˚F)
	湿度:5～95 %、結露しないこと

プラグ アンド プレイ機能

この LCD ディスプレイは、プラグ & プレイ互換システムにインストールすることができます。LCD ディスプレイとコンピュータ システムとのインタラクションによって、最適な操作環境と LCD ディスプレイの設定が行われます。ほとんどの場合、ユーザーが設定の変更を必要としない限り、LCD ディスプレイのインストールは自動的に行うことができます。

ドット欠けについて

この製品には、1 ppm (百万分の 1) 精度の高度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 6,220,800 です。

注意

設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

VCCI-A

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-B

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

PowerSaver

この LCD ディスプレイには、PowerSaver と呼ばれる消費電力管理システムが内蔵されています。このシステムは、LCD ディスプレイが一定時間使用されなかった場合に低消費電力モードに切り替え、エネルギー消費を節約します。LCD ディスプレイは、キーボードのキーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。消費電力を押さえるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。PowerSaver システムは、コンピュータにインストールされた VESA DPM 互換のビデオ カードで動作します。お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェア ユーティリティを使用して、この機能を設定してください。

PowerSaver

モード		通常動作	省電力モード	電源オフ	電源オフ (電源スイッチ)
電源インジケーター		オン	点滅	黄色	オフ
消費電力(一般)	400MX-3, 400FP-3 (ネットワーク ボックスあり)	250 ワット	5 ワット	5 ワット	0 ワット
	400MX-3, 400FP-3 (ネットワーク ボックスなし)	193 ワット	2 ワット	1 ワット	0 ワット
	460MX-3, 460FP-3 (ネットワーク ボックスあり)	313 ワット	5 ワット	5 ワット	0 ワット
	460MX-3, 460FP-3 (ネットワーク ボックスなし)	233 ワット	2 ワット	1 ワット	0 ワット

注意

- システムの状態または設定が変更された場合は、実際の消費電力が上記の消費電力と異なる場合があります。
- 電力消費を止めるには、スイッチをオフにするか、背面の電源ケーブルを抜きます。長時間外出する場合は、電源ケーブルを抜いてください。
- ネットワーク ボックス (別売り) を接続した場合、製品は Energy Star 5.0 仕様準拠ではなくなります。

プリセット タイミング モード

コンピュータから送られてきた信号が以下のプリセット タイミング モードと同じ場合には、画面は自動的に調整されます。しかし、信号が異なる場合には、電源 LED が点灯していても画面に何も映らなくなる場合があります。ビデオ カードのマニュアルを参照して、以下のように画面を調整してください。

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 768	47.776	59.870	79.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA、1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA,1920 x 1080	66.587	59.934	138.500	+/-
VESA,1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

水平周波数

画面の右端から左端を水平につなぐ 1 本の直線をスキャンするのにかかる時間を水平サイクルと言い、水平サイクルの逆数を水平周波数と言います。単位: kHz

垂直周波数

蛍光灯と同じように、画面は同じ画像を 1 秒間に何回も繰り返し表示して、ユーザーに対して映像を表示しています。この繰り返しの周波数を、垂直周波数またはリフレッシュ レートと言います。単位: Hz

情報

より良い画質でご覧いただくために

コンピュータの解像度と画面の描画頻度（リフレッシュ レート）を以下の説明に従ってコンピュータ上で調整し、最適な表示をお楽しみください。TFT-LCD に最適な画質でない場合には、画面の画質が不均一になる場合があります。

- 解像度:1920 x 1080
- 垂直周波数（リフレッシュ レート）: 60 Hz

この製品には、1 ppm（百万分の 1）以上の高精度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

- たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 6,220,800 です。

モニターとパネルの外側を清掃するときには、柔らかい布に少量の水を付けて拭き取ってください。LCD 部分を清掃するときには、力を入れずに拭き取ってください。過剰な力がかかると、キズがつく場合があります。

画質に不満がある場合には、Auto ボタンを押したときに表示される表示画面の「**自動調整** 機能」を行って画質を改善できる場合があります。自動調整後もノイズが発生する場合には、**微調整**/**粗調整** 調整機能を使用します。

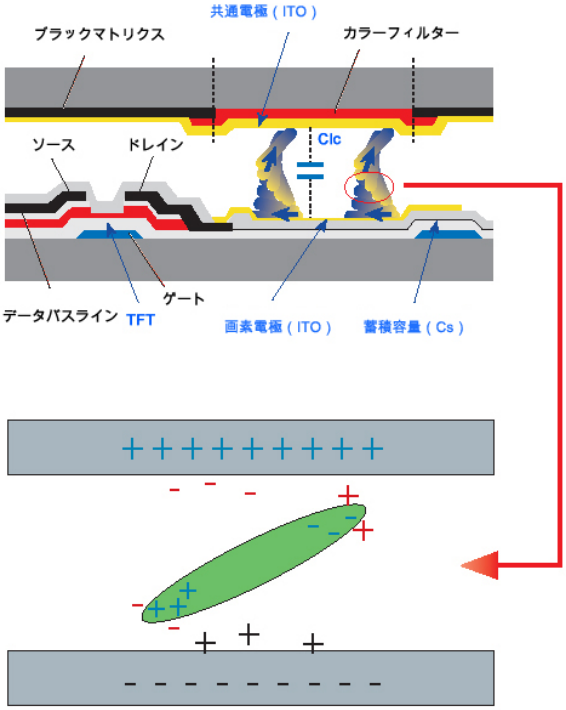
静止画面を長時間表示し続けると、画像が残ったり画面がぼやけたりする場合があります。長時間モニターの前から離れるときには、省電力モードにするか、動画のスクリーンセーバーを設定してください。

製品情報（残像について）

残像とは?

LCD パネルは、通常の使用（下記参照）において、残像は発生しません。

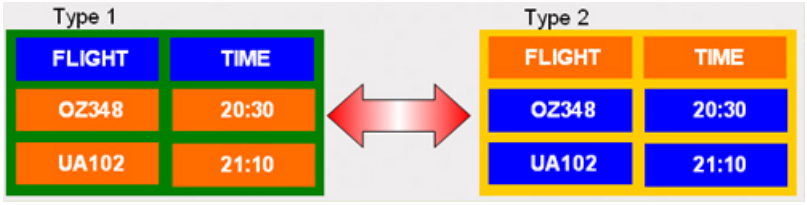
通常の条件とは、連続的に変化するビデオパターンとして定義されます。LCD パネルが固定されたパターンの状態で、長時間（12時間以上）使用されると、ピクセル内の液晶を動作させる電極の間で若干の電圧の差が生じる場合があります。電極間の電圧の差が時間とともに増大すると、液晶が曲げられてしまいます。このような現象が発生すると、パターンが変化したときに以前のイメージが見える場合があります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。



電源オフ、スクリーンセイバー、または省電力モード

- 12 時間使用: 電源を 2 時間オフ
- PC の表示プロパティの電源管理機能で、モニターの電源をオフにするよう設定します。
- 可能な場合にはスクリーンセイバーを使用します - スクリーンセイバーは、単色または動く映像のものをお勧めします。
- 残像防止機能を使用することをお勧めします。

定期的に色の組み合わせを変更する



注意

2 つの異なる色の使用

2 つの色情報を 30 分ごとに切り替えます。

- 明るさが極端に異なる文字色と背景色の組み合わせは避けてください。

  また、残像が発生する原因となりますのでグレーは使用しないでください。

  避けること:明るさが大きく異なる色（白と黒、灰色）の使用。

定期的に文字色を変更する

- 明るさの差が少ない明るい色を使用します。

  - 周期:文字色と背景色を 30 分間隔で変更

- 30 分ごとに、文字を動かして変更します。

- 画像やロゴを定期的に表示します。

  - 周期:ロゴとともに移動するイメージを 4 時間使用するごとに 60 秒表示します。

- 残像を抑えるのにもっとも効果的な方法は PC を使用していないときにスクリーンセイバーが 起動するように設定することです。これらのガイドラインに従わない場合には、保証内容に影響を与える場合があります。

製品に画面ピクセル機能を使用する

- 画面ピクセル機能を使用する

  - 症状:黒色の点が上下に移動します。

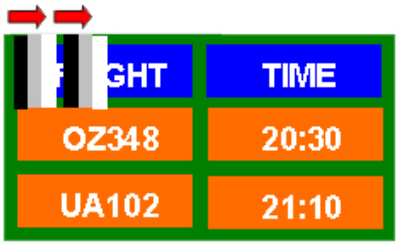
- 画面バー機能を使用する

  - 症状:黒色の水平/垂直線が上下に移動します。

製品に画面消去機能を使用する

- 画面消去機能を使用する

  - 症状:2 つの垂直なブロックが表示を消していきます。



付録

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

注意

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語

ドット ピッチ	モニターの画像は、赤色、緑色および青色のドットで構成されています。ドットの間隔が小さいほど、解像度は高くなります。同じ色の 2 個のドット間の距離を「ドット ピッチ」と言います。単位:mm
垂直周波数	ユーザーに対して画像を作成して表示するには、1 秒間当たり何回も画像を再描画しなければなりません。1 秒当たりのこの繰り返しの回数を、垂直周波数またはリフレッシュ レートと言います。単位: Hz 例:同じ光が 1 秒間に 60 回繰り返すときには、60 Hz となります。
水平周波数	画面の右端から左端を水平につなぐ直線をスキャンするのにかかる時間を、水平サイクルと言います。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。単位:kHz
インタレース法とノンインタレース法	画面の水平線を上から下に順番に表示していく方法をノンインタレース法と言い、奇数番目のラインを表示してから偶数番目のラインを表示する方法をインタレース法と言います。ノンインタレース法は、明確な画像にするために多くのモニターで使用されています。インタレース法は、TV で使用されているものと同じです。
プラグ & プレイ	コンピュータとモニターが自動的に情報を交換することにより、ユーザーに最高の画質を提供する機能です。このモニターは、プラグ & プレイ機能について国際規格 VESA DDC に対応しています。
解像度	画面の画像を構成するのに使用される水平および垂直方向のドットの数を、「解像度」と呼びます。この数は、表示の正確さを示しています。高い解像度では、多くの画像情報を画面上に表示できるため、複数の作業を実行する場合に適しています。 例:解像度が 1920 X 1080 の場合、水平方向のドットが 1920 個 (水平解像度)、垂直線 1080 本 (垂直解像度) で構成されていることを意味します。

制限事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。

© 2010 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

Samsung Electronics Co., Ltd.の文書による許可なしには、いかなる複製も堅く禁じます。

内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

Samsung は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商用です。Microsoft, Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。VESA、DPM および DDC は Video Electronics Standard Association の登録商標です。ENERGY STAR®の名称とロゴは U.S. Environmental Protection Agency (EPA)の登録商標です。そのほかこの文書に含まれるすべての商品名は、各企業・団体の商標もしくは登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般 OA 用として設計・製造されています。一般 OA 用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

TruSurround XT, SRS and the symbol are trademarks of SRS Labs, Inc.

TruSurround XT technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.